

第四十四回帝國議會
衆議院

關稅定率法中改正法律案外一件

(關稅定率法中改正法律案
製鐵業獎勵法中改正法律案)

委員會會議錄(筆記)第一回

委員會成立

本委員ハ大正十年三月十八日議長ノ指名ヲ以テ左ノ
通り選定セラレタリ

指田 義雄君 今泉嘉一郎君 鈴木 錠藏君

八田 宗吉君 廣瀬 鎮之君 北井波治目君

久下 豊忠君 永屋 茂君 門田 新松君

木下成太郎君 岩切 重雄君 矢野 丑乙君

正木 照藏君 鈴木久次郎君 定行 八郎君

星島 二郎君 山邑太三郎君 山本 藤助君

同月十九日午前十時四十分委員長理事互選ノ爲各委
員參集ス其ノ氏名左ノ如シ

指田 義雄君 今泉嘉一郎君 鈴木 錠藏君

廣瀬 鎮之君 北井波治目君 門田 新松君

木下成太郎君 岩切 重雄君 矢野 丑乙君

正木 照藏君 鈴木久次郎君 定行 八郎君

星島 二郎君 山邑太三郎君

年長者木下成太郎君投票管理者トナル

○投票管理(木下成太郎君)ハ委員長及理事ノ互選
ヲ行フヘキ旨ヲ宣告ス

○北井波治目君ハ投票ヲ用キス指田義雄君ヲ委員長
ニ推薦シ理事ハ其ノ數ヲ三名トシ委員長ノ指名ニ一

任スヘシトノ意見ヲ提出ス

○投票管理(木下成太郎君)ハ北井君ノ意見ニ異議
ナキヲ認メ指田義雄君ハ委員長ニ當選シタル旨ヲ宣

告ス

(此ノ時投票管理退席シ指田義雄君委員長席
ニ著ク)

○委員長(指田義雄君)ハ鈴木錠藏君星島二郎君及山
邑太三郎君ヲ理事ニ指名シ引續キ會議ヲ開クヘキ旨

ヲ宣告ス

會議

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 子爵高橋 是清君

農商務大臣 男爵山本 達雄君

農商務大臣 男爵山本 達雄君

農商務大臣 男爵山本 達雄君

農商務大臣 男爵山本 達雄君

農商務大臣 男爵山本 達雄君

農商務大臣 男爵山本 達雄君

出席政府委員左ノ如シ

遞信大臣 野田卯太郎君

大藏書記官 神輿 常孝君

農商務省鑛山局長 崎川才四郎君

製鐵所長官 白仁 武君

農商務省商務局長 鶴見左吉雄君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

關稅定率法中改正法律案

製鐵業獎勵法中改正法律案

○委員長(指田義雄君) 是ヨリ關稅定率法中改正法
律案、製鐵業獎勵法中改正法律案ノ委員會ヲ開會致

シマス、先ヅ政府ニ提案ノ理由ノ御説明ヲ求メル方

ガ便利デアラウト考ヘマス

○神輿政府委員 一應關稅定率法中改正法律案ノ大
體ニ互リマシテ御説明ヲ致シタイト思ヒマス、此關

稅定率法ノ方ハ、御承知ノ通りニ關稅法ニ於キマシ

テ、日本ニ輸入スル物品ハ、直ニ關稅定率法ニ依ッテ

輸入稅ヲ課ケル事ニナツテ居リマス、ソレヲ承ケテ此

關稅定率法ハ出來テ居リマス、ソレハ初ノ方ノ條文

ニアツテ、稅ノ標準デアルトカ、或ハ免稅拂戻等ノ規

定ガゴザイマス、ソレカラ別表ト致シマシテ關稅率

ガ表ニナツテ附イテ居リマス、ソレデ輸入稅率ノ改正

ハ、即チ別表ノ改正ニナツテ居リマス、數字ノ色々訂

正ト云フ様ナ形ニナツテ、今回ノ改正案ニモ載ッテ居

ル譯デアリマス、ソレデ先ヅ條文ノ方ノ改正カラ最

初ニ説明ヲ致シタイト思ヒマス、現行法ニ於キマシ

テハ、其第二條ニ於キマシテ、從價稅品ハ輸入港ニ到

著シタ時ノ價格ニ依ッテ課稅スル、斯ウ云フ現行法ノ

規定ニナツテ居リマス、其意味ハ大體ニ於キマシテ

此外國ノ例ニ依リマス、例ヘバ輸出國ニ於

ケル市場ノ價格トシテ、或ハ又内地ニ於ケル市價ト

シマシテハ、輸入港ニ到著シタ狀態ニ於テ課稅スル、

陸地ニ上ラナイデ、輸入港ニ到著シタ時ノ狀態ニ依ッ
テ課稅スル、斯ウ云フ意味デ現行法ガ出來テ居リマ

ス、所ガ其書方ガ「輸入港ニ到著シタルトキノ價格」

ト斯ウ書イテアリマス、サウ致シマスト現實ニ於キ

マシテ、輸入港ニ到著シタル後、例ヘバ實際輸入セラ

レルノハ、ソレカラ永イ後一年若クハ五年モ經ッテ後

輸入セラレルコトモアルノデアリマス、サウスルト

「輸入港ニ到著シタトキ」トアリマスレバ、現ニ今日

輸入サレル物デモ或ハ昨年輸入港ニ到著シテ居リマ

シテモ、昨年ノ價格ニ依ッテ課稅スルト云フヤウナコ

トニナリマシテ、實際ノ輸入ニ大層隔リヲ生ズル事

ガ多イノデアリマス、ソレデ殊ニ今回ノ如キハ、鐵ノ

如キハ大體ニ於キマシテ從價稅ニ致シテ居リマス斯

ウ云フ風ナ譯デ、甚シク現狀ト違ッタ標準ニ依ッテ課

稅シナケレバナラナイト云フ様ナ關係ヲ生ジマスル

ノデ、ソレデ此際ニ「輸入稅品ハ輸入ノ際ニ於ケル到

著價格ニ依リテ課稅ス」ト改メマス、其「到著價格」ト

云フ事ニ就テハ、前ト少シモ變リナイノデアリマス、

唯ダ昨年入ッテ來タ物デハアルケレドモ、今年ニ於

テ輸入手續ヲシマシテソレヲ引取ル場合ニ、輸入ヲ

シヤウト云フ意思ヲ表白シタ當時ノ價格ヲ標準トシ

マシテ、其物品ガ此ニ來タラ幾ラノ價格ト云フ到著

價值ニ依ッテ課稅スルト云フ、サウ云フ風ニ改正ヲス

ル、同時ニズツ持ッテ參リマシテ、直ニ其物ヲ引取ル

ト云フ手續ヲシテ引取ルト云フ場合ニ對シテハ、少

シモ稅ニ於テ現行法ト變ッタ所ハナイノデアリマス、

唯ダ永イ間引取ラナイデ、後ニナツテ引取ルト云フ事

ニナツテ、第二條ノ改正ガ實效ヲ生ズルト云フ譯ニナ

ルノデアリマス、ソレカラ第九條ノ改正、是ハ現行法

ニ於キマシテハ輸入原料品ヲ用キマシテ、此命令ヲ

以テ指定シタル物品ヲ製造シテ、之ヲ外國ニ輸出ス

ル時ハ、輸入稅ノ全部又ハ一部ハ拂戻ヲ爲スコトラ

得ト云フノデ、是ハ外國ヘ輸出スル様ナ物品ノ原料

ト致シマシテ、ドウシテモ外國品ヲ用キナケレバナ

ト云フ意味ヲ以テマシテ、其原料品ノ稅ノ拂戻ヲ致シテ居タルデアリマス、ソレカラ又輸入原料品ヲ用キマシテ肥料ヲ製造シタトキハ、命令ノ定メル所ニ依リテ輸入稅ノ拂戻ヲ爲ス事ニナツテ居リマス、所ガ今度ハ其拂戻ヲスルコト云フ事ハ、實際ニ於テ官民共ニ手續ノ上ニ於テモ隨分不便デゴザイマス、ソレカラ例ヘバ同ジ拂戻ヲ受ケル方カラ考ヘテモ、兎モ角一旦税金ヲ納付致シマシテ、後ニナツテ拂戻ヲ受ケル拂戻ノ請求ヲシテカラモ、都合ニ依リテ往々拂戻ガ遅延スルコト云フヤウナコトモアル、金利ダケノ問題ニ對シテモ、相當ノ利益ガアル、是ハ出來ルコトナラバ、拂戻デナシニ、初メカラ免稅ノ形ニスレバ、餘程便利デアル、其場合ニハ勿論必要ニ應ジテ擔保ヲ提供サセテ置イテ、サウシテサウ云フ物品ノ製造ニ使用シテ、ソレヲ輸出シタト云フコトヲ見届ケテ、擔保品ヲ返スト云フコトニスレバ、手續ニ於テモ簡便ニナル、又當業者ノ方カラ申シテモ、少クトモ金利ダケデモ利益ニナルト云フ關係ガアリマス、其點ヲ改正致シマシタ、今一ツハ後ニ之ヲ説明致シマス、亞鉛ノ塊及錠ト云フヤウナモノノ稅率ヲ引上ゲマシタ、併シ之ヲ引上ゲル事ハ、是ハ内地ノ亞鉛製鍊事業ノ維持發達ノ爲ニ必要デアルトシテ改正スルノデアリマスガ、ソレガ爲ニ他ノ事業ニ及ボス影響ト云フモノハ考ヘナケレバナラス、サウシテ亞鉛ノ原料トシテ亞鉛華ヲ製造スル「ペイント」ノ材料ニナルモノヲ造ルト云フ場合ニ於テ「ペイント」ハ外國トノ協定ガゴザイマシテ、稅率ヲ變更スルコトガ出來ナイノデアリマス、其結果、材料ハ上ルガ「ペイント」ノ輸入稅ハ動カスコトガ出來ナイト云フヤウナ關係ニナツテ居リマス、折角日本デ獎勵シヤウ、而シテ大部分ハ出來上ツテ來テ居ルト云フ「ペイント」事業ニ對シテ、影響ヲ及ボスコトハ大キイ、斯ウ云フ點ヲ以テ亞鉛華ヲ製造スル輸入原料品ニハ、稅ヲ唯今申シタヤウニ免除若クハ拂戻ヲスル、即チ亞鉛ノ關稅ハ引上ゲマスケレドモ、「ペイント」ノ原料ニ使フ物ニハ其稅ノ適用ヲシナイ、斯ウ云フコトニ致シタイ、サウシテ此影響ヲ緩和シタイ、又亞鉛ノ薄板デアリマス、是ハ主トシテ輸出寸ノ包裝用ニ使用サレル、是モ現

行法ニ於テハ特ニ輸出事業獎勵ノ爲ニ無稅ニナツテ居ルノデアリマスガ、是モ亦原料タル亞鉛ノ稅ヲ上ゲル爲メニ、亞鉛ノ薄板モ稅ヲ上ゲナケレバナラスガ、是ハ内地ノ亞鉛ノ薄板ヲ造ツテ居ル者ニハ影響ガ甚シイ、併シ此亞鉛薄板ト云フモノハ、今燐寸ノ輸出ガ甚シク不況デゴザイマシテ、此方面ニ對シテ及ボス影響モ亦考ヘナケレバナラス、從ツテ亞鉛ノ薄板ト云フモノモ、稅率ヲ引上ゲルコトガ出來ナイ、斯ウ云フ關係カラ、亞鉛ノ薄板ハ稅ヲ動カサナイ事ニナツテ居リマス、サウスルト亞鉛ノ製品タル薄板ノ稅ハ、元ノ通り動カサレズ、原料品タル亞鉛ノ塊錠ノ稅ハ上ルト云フコトニナル、日本ノ亞鉛ノ薄板ヲ製造スル者ニ對シテ、其原料ニ對シテハ稅金ヲ課ケナイト云フコトニスル、即チ亞鉛ノ稅率ノ改正ノ影響ハ、亞鉛ノ薄板ヲ造ツテ居ル者ニハ及ボサナイヤウナ方法ヲ執ル、サウ云フ意味合ヲ以テ第九條ノ第二項ニ於テ今マデハ「命令」ヲ以テ指定シタル肥料ヲ製造シタルトキハ「トアリマス」ノ「前」ノ「亞鉛華、厚〇、二五ミリ」メートルヲ超エサル亞鉛薄板ト云フ事ヲ加ヘマシタ、サウシテ其原料ノ輸入稅ヲ免除スルカ又ハ拂戻ヲ爲スコトヲ得ルト云フ規定ニ致シマシタ、其次ニ前二項ノ規定ニ依リ輸入稅ノ免除ヲ爲ス場合ニ於テハ輸入ノ際稅金ニ相當スル擔保ヲ提供セシムルコトヲ得「ト云フ二項ヲ入レマシタ、是ハ拂戻ニ於テハ擔保ト云フコトハ要リマセズ、一旦稅金ヲ納付シテ、然ル後ニ證據ヲ見テ其拂戻ヲスルノデアリマスカラ擔保ハ要リマセズガ、今度ハ輸入ノ際ニハ默ツテ引取ラシテシマフ、ソレガ果シテ實際ニ使用サレルヤ否ヤト云フコトヲ見テカラ擔保ヲ返ス、ソレマデハ擔保ヲ取ツテ置ク、擔保ハ必ズシモ金錢ノミナラス、有價證券ナドデモ宜シイノデアリマス、實際ニ於テハ餘程便利ニナルコトデアラウト思ヒマス、ソレカラ四項ノ「詐欺其他不正ノ行爲」ヲ以テ第一項又ハ第二項ノ拂戻金ヲ受ケ又ハ受ケムトシタル者ハ關稅法第七十五條ノ例ニ依リ處分ス」是ハ現行法ニモアリマス、規定ノ項ガ唯變タタノ、少シ書キ方モ變テ居リマス、免除ノ方ヲ僞ツテ免除ヲ受ケタト云フコトニナルト、是ハ關稅ノ遁脫ト云フコトデ、關稅法七十

五條ニ於テ其罰則ガ規定シタルノデアリマス、併ナガラ拂戻金ノ詐取ト云フコトニナルト、是ハ果シテ關稅ノ遁脫ト云フコトガ出來ルカドウカ、寧ロ遁脫トハ言ヘナイ、少シ關係ガ變ツテ居リマス、併シ性質ハ餘程事情ガ能ク似テ居リマス、寧ロ是ハ遁脫ト同様ナ級ニスルガ宜シイト云フコトニ現行法デモサウナツテ居リマス、其通り茲ニ襲用シテ居ル譯デアリマス、ソレカラ第十條、是ハ船舶ノ建造又ハ修繕ニ使用スル鐵鋼材、鐵製品、鐵製品部分品、機關又ハ機關部分品ト云フヤウナ物ハ何レモ命令ヲ以テ其詳シイ事ハ指定スル事ニナリマス、斯ウ云フモノニハ輸入稅ヲ免除スル、是ハ鐵ノ關稅ヲ引上ゲマスト云フ事ニ付テ、是ハ又表ノ方ニ付テ申上ゲル事デゴザイマスガ、ソレト共ニ造船材料ハ造船業ノ獎勵ト云フ意味カラ申シテ、輸入稅ヲ免除シヤウト云フコトニ、是ハ財政經濟調查會デモサウ云フヤウナ答申ニナツテ居リマス、是ハ元ハ造船獎勵法ト云フモノガアツテ、造船獎勵金ヲ與ヘタモノデアルガ、造船獎勵金ヨリモ、寧ロ原料ノ輸入稅免除ト云フ事ニ依ツテ、此度ハ日本ノ造船業ノ獎勵ヲ圖ラウ、斯ウ云フ事ニナツテ居ル、ソレデ現行法ニ於テ同ジク第十條ト云フノガアツテ、是ガ此ニ入レ替ッタノデアリマス、輸入製品ニシテ内地ニ於テ製造スル船舶ニ備付ケ輸入ノ日ヨリ二年内以內ニ該船舶ト共ニ輸出スルモノハ輸入稅ヲ免ス但シ輸入ノ際稅金ニ相當スル擔保ヲ提供スルコトヲ要ス「ト云フ規定ガアリマシタ、今回輸出スルモノモ内地デ使用サレルモノモ、留マルモノモ、其船舶ニ對シテハ原料ヲ免除スル、此規定ガ此ニ置キ替ヘラレタト云フ形ニナル、ソレカラ稅表中ノ改正ニナリマス、是ハ實ハ稅表中ノ改正ハ、號ヲ追ツテ説明致シマス事モ宜シイノデアリマスガ、色ノ關係ノ品目ガ飛ビ「ニナツテ居タリ、又輕重等ガ色ノアリマスノデ、大體ニ於テ大要ヲ此表ニ依ラズニ説明致シタ方ガ利便カト考ヘマス、大體ノ趣旨ヲ申上ゲマシテ、尙ホ細イ點ハ別ニ必要ニ應ジテ申上ゲルヤウニシタイト思ヒマス、大體ニ稅表ノ改正ヲ致シマシテ、其中デ一番主ナル點ハ鐵デゴザイマス、鐵ノ關稅ハ何トカ日本ノ製鐵事業ヲ獎勵スルト云フ意味ニ於テ、鐵

ノ事業ニ對シテ獎勵ノ途ヲ講ジナケレバナラヌト云フ意味ヲ以テマシテ、豫テ政府ハ色々苦心シテ居リマスノデゴザイマスガ、財政經濟調査委員會ニ付シマシテ、最近答申ガゴザイマシテ、其中ニ色々他ノ製鐵事業トカ、其他各種ノ點モアリマシタガ、此關稅ニ關シテハ、大體從價一割ノ程度ノモノヲ課ケル、先ヅ大體ニ於テ從價一割五分ノ程度ノ稅ヲ課ケル、結局從價一割カラ從價二割ノ間ニ於テ稅ヲ課ケルノデアリマスガ、大體ニ於テ從價一割五分ノ稅ヲ課ケル、サウ云フ答申ニナツテ居リマス、大體ソレデ差支ナカラウ、其位ノ稅率ヲ規定シタラ宜カラウド云フコトニナツタノデアリマスガ、唯ダ其中ニ就テ、銑鐵ニ付テ日英條約ニ於テ協定稅率ガアリマス、百斤八錢三厘ト云フ安イ稅デアリマス、今日之ヲ改正致シマシタ所デ、實際ニ適用シ得ルニハ英國ハ勿論、其協定モゴザイマス、其他ノ諸外國ニ於テモ、大體最惠國約款ガアリマシテ、皆夫ニ均霑シマシテ、手ヲ觸レナイデ來タモノデ、而シテ最惠國約款ノ無イモノハ支那方面支那ニハアリマセヌノデ、高イ稅金ヲ課シ得ルノデアリマス、御承知ノ通り支那カラ參リマスル銑鐵ハ、主トシテ製鐵所デ取ツテ居リマス、漢冶萍ノ鐵、ソレカラ滿洲ノ鞍山站若クハ、本溪湖等ノ、何レモ日本人ノ管理シテ居ル事業デゴザイマシテ、一面カラ申シマスレバ、成ベク其處ラノ事業ハ、他ノ諸外國ノ事業ニ比シマスレバ、保護デモシタイヤウニ考ヘテ居リマス、然ルニ強イテ課稅スルストレバ、他ノ印度ノ銑鐵トカ、亞米利加邊カラ來ル鐵ヨリモ、不利益ナル差別待遇ヲ受ケナケレバナラヌト云フ事ニナル、是ハ面白クナイコトデアルト云フ關係ガアルノデ、尙ホ又銑鐵課稅ト云フコトニ就テハ、多少議論モアリマセウケレドモ、此際ニ於テハ、銑鐵ニハ手ヲ觸レナイコトニシヤウト云フコトニナツテ居リマス、其他ノ物ハ、大體ニ於テ「スビーゲルアイゼン、フエロマンガニス」不可鍛性鐵合金ト云フモノハ一割、其他ノ特殊鋼ト言ッタヤウナモノハ一割二分、條竿、板其他銑鐵色々ノ形ノ物ガゴザイマスガ、大體ニ於テは一割五分、但シ現行稅率ニ於テ二割ト云フ稅ヲ課ケテ居ル物ガゴザイマス、サウ云フ物ハ此際既ニ從

價ニ割ヲ課ケテ居ルカラ、此際引上ゲル必要モナイノデ、是ハ現行通り置ク、是ハ或所ニ從價二割ト云フモノガ殘ツテ居リマス、ソレカラ尙ホ此鐵ノ稅ヲサウ云フ風ニ上ゲマシタニ就テハ、鐵製品トナツテ居リマシテ同ジ製鐵業者ガ作ルヤウナ物ガアリマス、唯ダ建築用材トカ各種ノ物ガアリマス、サウ云フ物ハ矢張鐵ト同ジヤウニ從價一割五分ヲ課ケル、又其外機械類トカ鐵製品トカ云フモノニ於テ、同ジ鐵ノ原料トシテ居リマス、此製鐵ノ原料ノ引上ゲニ依リマシテ、ドウシテモ其影響ヲ緩和シナケレバナラヌモノニ就テハ、ソレト影響ノ程度ヲ見マシテ、其金額ダケヲ稅金ニ加ヘテ引上ゲテ居リマス、是ハ今日ノ從價稅ニナツテ居リマス、換算シテ從價稅ニ引上ゲテ居ル稅ヲ引上ゲナイ結果、銑鐵カラ直グ鑄物ニ拵ヘテ居ル物ハ、是ハ關稅ヲ動シマセス、此中カラ造船材料ニナルモノガ免除サレテ居リマスガ、是ハ前ニ申上ゲマシタ全部ノ改正ニ依リマシテ免除スルコトニナリマス、次ニハ亞鉛デアリマス、亞鉛ハ是ハ日本ノ事業ヲ維持サレルト云フコトノ爲メニ、毎百斤三圓ノ從價稅ヲ課ケテ居リマス、是ハ現行稅ニ於テハ、毎百斤七十錢ヲ課ケテ居リマスガ、是ハ塊錠毎百斤七十錢デアリコトニ致シマシタ、是ハ塊錠毎百斤七十錢デアリマシタノラ、今度ハ三圓ニ引上ゲル、之ニ依リマシテ現在ヤツテ居リマスル内地ノ精鍊事業ヲ維持サセルコトデアリマスガ、戰前ニハ日本デ精鍊事業ガナクシテ、亞鉛ノ鑛石ヲ外國ニ送ツテ、外國デ精鍊シタ物ヲ日本ニ又送り返シタト云フ狀況デアッタノデアリマス、戰時中ニ發達シタ日本ノ鑛石ハ勿論、濠洲アタリカラモ入ルシ、支那方面カラモ持ツテ來テ、ソレヲ分解シテ亞鉛ニスル、ソレヲ海外ニ出スト云フ事デ、到ル處盛シデアッタノデアリマス、併シ是ハ一時ノ狀況デゴザイマシテ、亞鉛ガ非常ニ戰爭中騰貴シテ、需用ガ非常ニ増加シタト云フ關係上、特殊ニ起リマシタガ、段々平常ノ狀態ニ復スルニ從ツテ、斯ウ云フ事業ハ何レモ無クナツテ仕舞ツテ、今殘ツテ居リマスノ

ハ、其中ノ基礎ノ確實ナ極ク一部分ニ過ギナイ、然ラバト云フテ強イテ高イ戰時ノヤウナ事業ニ復シヤウト云フコトハ、連モ無理ナ話、ソレデ程度ヲ見マシテ先ヅ現狀ヲ維持セシムルト云フ意味ヲ以テマシテ、七十錢ノモノヲ三圓ト云フコトニ引上ゲマシタ、ソレデ其中ニ亞鉛ノ課稅ヲ引上ゲマスルト、即チ其製品タル板モ之ヲ引上ゲナケレバナラヌト云フ譯デアリマス、其中デ特ニ極薄イ薄板ハ、是ハ先刻申シマシタ燐寸包裝用ニ使ヒマスルヤウナ物、是ハ現行法モ無稅ニナツテ居ル、今回モ是ハ無稅ニ致シテ居リマス、サウシテソレヲ製造スル者ノ爲メニ、原料品タル塊錠ノ稅ヲ免除シヤウ、斯ウ云フ方法ニ出マシタ、其他ノ板ノ方、是ハ稅金ガ上ガリマシタノデ、其原料ガ上リマシタ結果、幾分是モ權衡上引上ゲルト云フ權衡ヲ取リマシタ、前ニハ二圓九十錢デゴザイマシタガ、毎百斤三圓三十錢ト云フコトニ改正ヲ致シマシタカラ、次ニ曹達ノ關係、曹達ハ從來モ屢々是ハ問題ニナツテ居リマス、天然曹達ト云フヤウナ物ハ、曹達灰ト同様ニ軍事的ニ使ハレルモノダト云ウ關係カラ、曹達灰ト同一ノ稅金ヲ課ケルト云フコトニ致シマシタ、又苛性曹達ハ、是ハ毎百斤一圓五十錢從價稅ヲ課ケルト云フ事ニ致シマシタ、ソレデ内地ノ事業ノ成立ツヤウニシヤウト云フノデアリマス、ソレカラ尙ホ同ジ曹達ノ關係ニ於キマシテ、苛酸化曹達ハ莫矢張生産費ノ關係カラ見マシテ、現行稅四圓六十錢ヲ十五圓六十錢ニ改正致シマシタカラ、次ニハ「グリン」關係ノ物品デゴザイマス、此「グリン」事業ハ「グリンセリン」ハ「ダイナマイト」其他火藥等ノ原料ト致シテ、戰時ニモ必要デアルシ、又無クテハナラヌ品物デアル、此事業ノ成立ヲ圖ルト云フ意味ヲ以テマシテ、政府ハ豫テ此會社ノ成立、——之ニ保護ヲスルト云フ意味ヲ以テマシテ、染料會社其他ト同ジヤウニ、「グリンセリン」會社ニ對シテ補助ヲ致シテ居リマシタ、是ハ其當時ニ於キマシテ、關稅ノ方法ニ出タ方宜カラウト云フ議論ガアリマシタ、併シ果シテ日本デドレダケノモノガ出來ルカ、其當時マダ日本デ無カッタ事業デアリマス、又「グリンセリン」ノ價值ガ上ルト云フコトニナリマス、直ニ「グ

イナマイト「其他ノ値段モ上ラナケレバナラヌ、ソレハ避ケナケレバナラヌト云フ關係ヲ以チマシテ、特ニ會社ノ補助ト云フ方法ニ從來出テ居リマシタ、併シ段々其會社ニ於キマシテ、製造ノ技術ガ發達致シマシテ、今デハ先ヅ技術上ニ於テ一向外品ニ劣ラナイ十分ナ物ガ出來ル、唯ダ經濟上ニ於キマシテ、如何ニモ成立タヌ際ニ於キマシテ、段々矢張補助ヲ與ヘナケレバナラヌト云フ事ニナツテ居リマス、サウ云フ狀態ニ於キマシテハ、假令會社ノ計算ハソレデ成立タセルニシマシテモ、矢張事業ノ發達ト云フモノハ面白クナイ、寧ろ稅ノ範圍ニ於キマシテ、關稅ノ方デ行ツタラドウカト云フ考ヲ持ツテ居リマス、ソレデ「グリスリン」ノ事業ノ成立スル様ニ按排シテ、稅率ヲ引上ゲヤウト云フ事デアリマス、所ガ「グリスリン」ノ製造ハ、御承知ノ通り油カラ分解シテ「グリスリン」ハ取リマス、ソレカラ造リマスモノハ「グリスリン」ガ百斤ノ中七斤デ、大部分ハ「スチアリン」或ハ「オレイン」其他ノ脂肪酸ト云フモノガ大部分ヲ占メテ居リマス、デ獨リ「グリスリン」ヲ上ゲタノミデハイケナイ、スチアリン「オレイン」杯ハ數量ノ上カラ言ヘバ多額ニ出來ル、ソレデ一番關係ノ多イト云フ方ノ物ヲ成立ツ様ニ捌ケル様ニシナケレバ、グリスリン「事業」ハ成立ツ譯ニ行カナイ、サウ云フ「スチアリン」「オレイン」等ノ稅ヲ引上ゲル、グリスリン「同様ニ稅ヲ引上ゲルト云フノデ、此「グリスリン」事業ヲ成立タセルト云フノガ宜イノデゴザイマス、只今申シマシタ「グリスリン」ハ、百斤ノ中僅ニ七斤半ヨリ取レナイ、而モ他ノ物ハ——他ノ物ヲ此際引上ゲテ、大體ニ「グリスリン」事業ヲ經營シテ行クヤウニスル「グリスリン」ヲ引上ゲレバ「グリスリン」ノ稅ヲ上ゲナケレバナラヌト云フコトハ、御承知ノ通り斯様ナ際ニ於キマシテ、其生産費ヲ高メルト云フコトハ面白クナイノデアリマス、デ是ハ此際上ゲテ置キ、此「グリスリン」會社ニ對スル補助ノ關係ハ、マダ將來四年間許リ續ク譯デアリマスカラ、大體ニ於キマシテ會社ノ計算ガ「スチアリン」「オレイン」等ノ保護ニ依リマシテ、餘程好イ狀態ニナツテ、而シテ此補助關係ノ續イテ居ル間ニ於キマシテ現在ノ製造狀態モ今

日ハ尙ホ改良サレルト云フヤウナ時代ガゴザイマシタナラバ、此「グリスリン」ト云フ物ニ於キマシテ、更ニ適當ノ稅率ヲ決メテ行ク事モ出來ル、現在ニ於キマシテモ、是ハ假ニ立タレトスレバ、「グリスリン」杯ニ就キマシテハ、餘程高イ稅ヲ課ケナケレバナラヌ、スチアリン「オレイン」等ニ稅ヲ課ケルナラバ、此「スチアリン」ハ主トシテ蠟燭ノ原料デアリマス、ソレニ「バラヒン」銅ガ共成品ニナツテ居リマスカラ、「スチアリン」ノミ稅ヲ課ケテ「バラヒン」ニ稅率ヲ課ケナイ譯ニ行カヌ、「バラヒン」銅ニモ稅率ヲ引上ゲルト云フコトニ致シタ、ソレカラ尙ホ又藥品ニ就キマシテ、鹽酸「コカイン」安息香酸曹達ト云フヤウナ物モ、是ハ内地デ出來ル見込ガアリマス、今少シ保護ヲ與ヘレバ成立ツト云フヤウナ關係カラ致シマシテ稅率ヲ引上ゲルコトニナツテ居リマス、又稅率ヲ下ゲマス方ニナリマスルト、砂糖ノ種、是ハ頻ニ北海道邊ニ於キマシテモ、ソレノ栽培ヲ試ミル爲メニ、外國カラ種ヲ持ツテ來テヤラウト云フ、斯ウ云フ物ハ稅ヲ免除シタ方ガ宜カラウ、又天然曹達、是ハ先刻申シマス關係デ、天然曹達ノ稅率ヲ引下ゲル、又船舶材料トシテ使フ「チイク」材ノ如キハ、從來ハ稅ガ課カツテ居リマシタガ、主トシテ船舶以外ニ使ハナイモノデアリマスガ、免除ノ方式ヲ採リマセヌ、稅率ノ方ニ於キマシテ無稅ニスル、又「ターピン」是ハ石炭「タール」ニ多少色々ナ物ヲ加ヘタ液體、道路ノ修築用ノ材料ハ、其物品カラ見テモ、或ハ其用途カラ見テモ、是ハ稅率ヲ免除スル方ガ宜カラウト云フノデ免除スルコトニ致シマシタ、以上ハ極クザツトシタ大道筋ノ話デアリマスガ、鐵製品ノ稅率ヲ動かシマシタ、是ハ改正ノ中デ、品目ノ中ニ於テハ、一番多數ヲ占メテ居リマス、是ハ技術者ノ方カラ説明スルコトニ致シマス、大體ソレダケデゴザイマス

ト、第二ハ帝國内ニ於テ造リマシタ鋼材ヲ船舶ノ建造又ハ修繕ニ使ツタ時分ニ、其鋼材ノ製造者ニ對シテ獎勵金ヲ下付スルコト、此二點デゴザイマス、今各條ニ就キ申シマスルト、第四條中「低磷銑鐵製造事業」ノ下ニ「及電氣製鐵事業」ト云フノヲ加ヘルコトニ致シマシタ、電氣製鐵事業ハ我國ニ於テハ最近數年來漸ク發達シ來ツタノデアツテ、事業ノ性質カラ申シマシテ、比較的ニ小規模ニ經營スルコトガ出來マシテ、又我國ニ於ケル豐富ナル水力ヲ利用スルノ便モアリマスルノデ、是ハ石炭節約ノ目的ニモ適ツテ居リマス、殊ニ此電氣製鐵事業ノ保護ノ値打ガアルモノト認メマシテ、電氣製鐵二千五百噸以上ノモノハ免除ノ特典ヲ與ヘルコトニシタ次第デアリマス、此改正ハ臨時財政經濟調查會ノ決議ト一致シテ居リマスノデス、ソレカラ第七條ノ二ハ、此度爰ニ提案ニナリマシタ關稅定率法中ノ造船用鋼材ニ於テ、關稅ヲ無稅ニスルコトニナツテ居リマスノデ、ソレト權衡ヲ取ツテ、帝國内デ造リマシタ鋼材ヲ造船用ニ供シマシタ場合ニハ、之ニ相當ノ保護ヲ與ヘテ、釣合ヲ取ツタ次第デゴザイマス、而シテ此獎勵金ヲ下付スベキ鋼材ノ種類品質又獎勵ノ金額等ニ就テハ、一切之ヲ命令ニ讓ルコトニシテアリマスノデ、獎勵金額ニ就テハ、確トハ申上兼ネマスガ、大體造船材料トシテ免稅セラルベキ關稅額ヲ標準トシテ定メル見込デアリマス、ソレカラ第七條ノ三デゴザイマスガ、是ハ別ニ説明ヲ要セヌカト思ヒマスガ、詐欺ノ行爲ヲ以テ獎勵金ノ交付ヲ受ケタ者ニ對シテ、其交付金ヲ償還セシムルコトヲ規定シテアリマス、其順序ト方法トヲ此處ニ規定シテアリマスガ、無論此詐欺ノ行爲其モノニ就テハ、刑法上ノ制裁ノアルコトハ申スマデモアリマセヌ、ソレカラ附則ノ方デゴザイマスガ、是ハ施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ定ムルト云フコトニナツテ居リマス、之ヲ施行スルニ就テハ、色々準備ガゴザイマスルノデ、今法律ヲ以テ規定スル譯ニハ參リマセヌノデ之ヲ勅令ニ讓ツタ次第デゴザイマス、尙ホ附則中現行法ノ第九條乃至第十一條ノ規定適用ノ件ハ、是ハ改正法施行ノ際ニ現ニ電氣製鐵事業ヲ營ンデ居ルモノニ就テモ、此特典ヲ及ボスト云フ趣意ニ出デタノ

○委員長(指田義雄君) 次ハ製鐵業獎勵法中改正法律案ノ説明ヲ願ヒマス

○崎川政府委員 製鐵業獎勵法ノ改正ニ就テ、簡單ニ説明致シマス、製鐵業獎勵法ノ改正ノ點ハ二ツデアリマシテ、其第一ハ製鐵業獎勵法ノ適用ノ範圍ヲ擴張シテ、之ヲ電氣製鐵事業ニモ及ボスト云フコト

デアリマシテ、現行製鐵業獎勵法ト鈞合ヲ取ツタ次第デアリマス、甚ダ簡單デゴザイマスガ是デ……

○委員長(指田義雄君) 是ヨリ質問ニ移リマスガ、質問ハ大體ニ於テ通告順ニ致シタイト思ヒマス、併シ國務大臣ヤ何カノ都合ニ依リマシテ、或ハ其順序ヲ變更スル必要ノアル時分ニハ、委員長ニ御任セテ願ヒタイ、御異議アリマセヌカ(異議ナシト呼フ者アリ)先ヅ第一ニ星島君

○星島二郎君 極メテ簡單ニ御尋ラシタイト思ヒマスガ、第一ニ御尋ラシタイノハ、本案ハ特別ニ專門ノ研究ヲ要スルモノデアリマス、昨日指名サレマシテ、今日此委員トシテ此所ニ出ルノモ甚ダ心坎シイ譯デ、研究ガ出來ナイ、何故政府ガ斯ウ云フ專門的研究ヲ要スル案ヲ早く出サナカッタカ、噂ニ依レバ、ズット前カラ調査ガ出來テ居ッタケレドモ、或ル一二ノ物ノ爲メニ斯ナニ延ビタト云フ事ヲ聞イテ居ルノデアリマス、一體政府ガ何時別表ノ改正ノ調査ニ著手シテ、何時調査済ニナリマシタカ、若シ一二事項ノ爲ニ斯ナニ延ビタトスルナラバ、何ノ事項カ、參考ノ爲ニ御示シテ願ヒタイ、私ハ專門外ニ之ヲ通觀シマシテモ、二ツ許リノ點ニ於テ非常ナ疑問ヲ持ツノデアリマス、是モ具サニ研究スレバ、時日ヲ要スルモノデアラウト思フ、何故斯ナニ遅レタカ、ソレデ第二ニハ、之ヲ一旦斯ク發表サレマシテ、此會期切迫ノ折柄ガ貴族院ニ廻ッテ通ラヌ場合ニハ、一旦政府ノ内意ヲ世間ニ發表シタモノデアリマスカラ、見越輸入ヲヤル者ガアリハセヌカト云フ疑念ガアルノデアリマスガ、之ニ對スル政府ノ所見ヲ伺ヒタイ、第二ニハ別表ニ移ルノデアリマスガ、其中デ御尋シタイノハ、第十條ノ中ノ四百六十二號ノ鐵ノ問題デアリマス、是ハ先刻御説明ガアリマシタケレドモ、私共非常ニ疑問トスル點ハ、日本ノ製鐵ガ、例ヘバ「タイヤ」或ハ國內デ出來ル製鐵其量ト、ソレカラ日本ノ現在ノ使用量ト伺ヒタイ、サウシテ將來之ヲ保護シテ日本ニ幾許増加スルカ、結局日本ノ製鐵ハ常ニ外國ノ輸入ヲ仰ガナケレバナラス、ソレハドウ云フ數字デ現レテ居リマスカ、若シ永久ニ到底日本ハ鐵ニ於テ獨立ガ出來ナイト云フ事デアレバ、寧羅斯ノ如ク

稅ヲ増サレルコトハ、日本ノ極ク少數ノ製鐵業者ニハ利益ガアルカモ知レマセヌガ、却テ全體ノ國策トシテ、殊ニ將來産業立國策ヲ執ル上ニ於テ、此増稅ニ依テ、當然機械工業ノ發達ヲ非常ニ殺グヤウニナリハセヌカ、此點ニ就テ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、是ハ少數ノ製鐵業者ノ保護ニナルカモ知レマセヌガ全體ノ發達ニ就テハ妨害ニナルカ知レナイト思ヒマス、此點ニ就テ徹底シタル數字ト御説明ヲ願ヒマス、次ハ「グリセリン」工業ニ關スル點デアリマス、是ハ我國防上「グリセリン」保護ハ結構ト存ジマスガ、ナゼ政府ハ一歩進ンデ「グリセリン」其物ニ對シテ課稅ヲ増サナカッタノデアリマスガ、若シ徹底的ニ「グリセリン」工業ヲ保護ナサルナラバ、此變形シテ居ル多クノル必物ガアリマセヌカ、ソレ等ニ對シテ保護ナサ要ハ無イデアリマセヌカ、此二點ニ就テ——ソレカラ「ダイナマイト」ニモ保護サレタラドウデスカ、要スルニ私ハ昨日委員ニナリマシテ今日此處ニ臨ムノデス、ソレデスラ此二點ニ氣ガ著イタノデスガ、專門的ニ研究スレバ、抽象的ノ法律論ヨリモ重要ナルモノガアルト思フノデアリマス

○委員長(指田義雄君) 一寸御相談致シマスガ、只今ノ御尋ノ御趣意ハ……主トシテ政策ニ關スル問題ガ多イヤウデアリマス、就テハ國務大臣カラ答辯サレタ方ガ宜クハナイカト思セマスガ、大臣ノ御出席ヲ要求ニナリマセヌカ

○星島二郎君 出來マスレバ結構デアリマスガ、專門ノ知識ヲ持ッテ居ラル、政府委員ガ御答辯ニナレバ満足デアリマス

○委員長(指田義雄君) ソレデハ政府委員ノ答ヘラル、範圍ノ御答ヲ聽イテ、其模様ニ依ッテ又國務大臣ノ出席ヲ求ムルコトニ致シマス

○神輓政府委員 只今ノ御質問ニ一部御答致シマス此「グリセリン」ノ説明ニ對シ重ネテ御質問ガアリマシタガ、「グリセリン」其物ヲ保護シテ、外ニ酷イ影響ガナケレバ、必ズシモソレガイケナイノデハナイ、寧ろ「グリセリン」ノ保護カラ申シマスレバ、之ニ課稅シタ方ガ效ガアルト思ヒマス、是ハ御同感デアリマスガ、唯ダ先刻申シマシタヤウニ「グリセリン」ニ課

稅スレバ、直ニ「ダイナマイト」ニ課稅シナケレバナラナイ關係ニナリマス、而モ「グリセリン」ハ只今百斤三圓二十錢デゴザイマス、併シ若シ之ヲ保護スル爲ニ課稅スルト云フコトニナレバ、ソレノ數倍以上ノ課稅ヲシナケレバナラスヤウナ計算ニナリマス、サウ致シマスルト自然「ダイナマイト」等ノ引上ゲモ是亦相當高イ稅金ヲ課ケナケレバナラスコトニナリマス、其影響ハ矢張相當ノモノガアルト考ヘラレマス、ソレカラ「グリセリン」ニ稅ヲ課ケルニ就テ、一ツハ時期ノ問題ト考ヘマス、今「グリセリン」ヲ造ッテ居ル會社ハ、其數ハ一箇所デアリマス、ソレニハ今ノ所マダ政府ハ補助ヲ與ヘテ居リマスガ、一方從事スル者ノ心理上ノ狀態カラ申シマシテモ、相當ノ損ガ行カナイデヤリ得ル程度迄往ッテ居リマセヌト、如何ニ會社ノ利益ガ保證サレタモ、其事業ハ發達致シマセヌ、ソレデ利害ノ關係ニ於キマシテ、側面カラ補助シテ「ダイナマイト」トノ關係モアリマスカラ、今少シ事業ノ計算ヲ明カニシテヤ行キタイ、斯ウ云フ希望ヲ持ッテ居リマス、是ハ絕對ニ「グリセリン」ノ稅ヲ上ゲルコトハイケナイト云フ意味デナクシテ、時期ヲ見テ計算ガ殆ド立チ兼ネルヤウナ狀態ニ高イ稅ヲ課ケルト云フコトバ、他ノ影響ノコトモ考慮シナケレバナラス、而シテ會社ノ事業トシテハ、大部分ハ側面カラノ保護ニ依ッテ損失ハ矢張緩和サレル譯デアリマス、「グリセリン」ニ就テハ其外ニ今研究中ノ物モアリマスカラ、其研究ノ模様ニ依ッテ稅率ハ「モデレート」ナモノデモ成立ツヤウナ希望ヲ持ッテ居ルノデ、此際「グリセリン」ハ除イタヤウナ譯デアリマス

○崎川政府委員 今鐵ノ將來ノ需要生産ニ就テ御質問ガアリマシタカラ、其見込ヲ御答致シマス、此需要見込ト申シマスルト、製鐵調査會ニ於テ、鐵ノ需要ノ増進歩合ヲ見テ、將來ヲ推シテ拵ヘタモノデアリマス、ソレニ一部内地ノ生産能力ヲ加ヘテ加減シタモノデアリマス、ソレヲ申上ゲマス、銑鐵ト鋼材ト兩方ニ分ッテアリマス、銑鐵ノ需要見込ガ大正十年ニ於テ百五十二萬噸——端數ハ切りマス——大正十一年ガ百七十六萬噸、大正十二年ガ百九十五萬噸、大正十三年ガ百九十八萬噸ト云フ割合ニナッテ居リマス、ソレ

ニ對スル供給ノ見込ヲ申上ゲマスルト、内地ト朝鮮トゴザイマスガ、朝鮮ノハ大概内地ノ供給ニ充ツルモノトシテノ考デゴザイマス、朝鮮ハ内地ト分ケマセンデ一緒ニ纏メテ申上ゲマス、大正十年ニ九十九万許リデゴザイマス、大正十一年ニ百三万、大正十二年モ同ジデアリマス、大正十三年モ略ボ同ジ事ニナツテ居リマス、是ハ銑鐵デゴザイマス、ソレカラ鋼材ノ方ハ、大正十年ニ於ケル見込ガ百三十八万、十一年ガ百四十七万、十二年ガ百五十六万、大正十三年ガ百六十五万、ソレニ對シテ内地ト朝鮮ト合セテ供給見込額ハ百万、是ハ大正十年デゴザイマス、大正十一年ハ百十八万、十二年ガ百三十万、十三年モ百三十万、斯ウ云フ割合ニナツテ居リマス、ソレデ大部分ハ内地產ノ銑鐵及鋼材ヲ以テ内地ノ需要ニ充テ得ルモノト見テ居リマス、是ハ現在アル製鐵所ノ能力カラ割出シテ斯ウ云フ計算ニシタノデゴザイマスガ、隨分景氣ガ好クナレバ、之カラ後デモ會社ハ起リ得ル見込ハアルト思ヒマスカラ、大シテ鐵鋼材ニ就テ悲觀ハセヌデモ宜カラウト思ヒマス

○木下成太郎君 此場合一寸一言申上ゲマス、今政府委員ノ説明ヲ承リマシタガ、是ハ工業政策ノ上ニ著シキ關係ヲ持ッテ居ルヤウニ思ッテ居リマス、私ハ當局大臣ノ出席ヲ煩ハシ、サウシテ一應其所信ノ在ル所ヲ承ッテ見タイト思ヒマス

○委員長(指田義雄君) 適當ニ取計ヒマス

○崎川政府委員 星島サンカラ何故ニ會期切迫ノ此際提案ヲシタカ、モット早く出シタラ宜イデハナイカト云フ御質問ガアリマシタガ、之ニ對シテ御答ヲ致シマス、昨年議會ニ於テ鐵、亞鉛、苛性曹達等ノ重要ナル品物ニ就テ、政府ハ成ベク速ニ關稅政策ヲ定メテ、出來得ルナラバ、次期議會ニ提案スルト云フ希望附帶決議ニナツテ居リマス、兩院トモサウ云フ事ニナツテ居リマシタモノデスカラ、政府ハ昨年ノ特別議會終了後直ニ調査ニ著手致シマシテ、ソレハ準備ヲ整ヘタノデアリマスガ、御承知ノ通り一番重要ナ關係ノ鐵問題ガ、財政經濟調查會ニ付議サレテ居タノデアリマシテ、鐵問題ハ御承知ノ通り餘程我國產業ニ重大ナル關係ヲ持ッダケニ種々論議ガ重ネラレテ

居ッタノデアリマスガ、其決議ガ遅レタノデアリマス漸ク本年ノ春ニナツテ決定致シマシタヤウナ次第デ、其他ノ物ニ就キマシテモ、大體調査ガ續イテ居リマシタガ、鐵ノ事ニ就テハ今年ニナツテ其審議ノ結果ヲ政府ノ方ヘ答申サレタモノデスカラ、ソレヲ受ケマシタカラ、能ク考慮ヲ致シマシテ、之ヲ切離シテ出スベキカ、鐵モ一緒ニ出シタ方ガ宜イカト云フ議論ガ幾ラモアリマシタ、所ガ議院ニ於テハ、鐵、亞鉛等ノ重要ナル產業ニ就テハ、速ニ調査シテ早く出セト云フ御希望モアリマシタカラ、出來ルコトナラバ速ニ此議會ニ出シタ方ガ宜カラウト考ヘマシテ、晝夜兼行デ、漸ク此頃ニナツテ成案ヲ得マシテ提出スルコトニナツタノデアリマス、時期ガ遅レタノハ洵ニ残念デゴザイマスケレドモ、是ヲ一年遅ラセルト、今日餘程困難シテ居ル我國製鐵業ニ、更ニ一層ノ惡影響ヲ與ヘルト云フ懸念モアリマシタカラ、之ヲ出シタ方ガ宜カラウト信ジテ、共ニ一括シテ出シタ次第デ、敢テ他意アルノデハナイノデアリマス、左様御承知置キヲ願ヒマス

○委員長(指田義雄君) 星島君ドウデゴザイマスカ其他ニマダ御質問ガアリマスカ

○星島二郎君 ソレハ今保留シテ置イテ、大臣ガ出席サレテカラデモ宜ロシイカラ……

○委員長(指田義雄君) ソレデハ次ノ通告者ニ移リマスガ、鈴木錠藏君ガ居ラレスカラ、今泉君見致シマシタガ、大體ニ於キマシテ現行ノ關稅法ヨリモ餘程良キ改良ト考ヘテ居リマス、又其率ノ相互ノ間ノ關係ナドモ、極メテ適當デアルト考ヘテ居リマス、唯茲ニ問題デゴザイマスノハ、薄板ハ○七

ヨリ以下及ビ電氣鍍板及錫鍍板デス、是ハ十年前ノ千九百十一年七月十七日ノ日英通商條約ニ於テ、此物ハ協定稅率トシテ現ハレタモノデ、今後尙ホ二箇年ノ間ハ、是ガ決ッテモ無効デアルト考ヘマス、詰リ其間ハドウ云フ風ナコトニナリマスガ、經濟調查會ノ方デハ此間ニ相當——稅ニ相當スルダケノ補助ヲ現業者ニ與ヘルト云フコトニナツテ居ルノデアリマシタガ、今回ノ製鐵事業獎勵法ノ方ニハサウ云フ規定

ガ見エマセサウ致シマス、矢張大正十二年七月十六日迄、矢張現行法ニ依ッテ協定稅率ノ儘デアツテ、改正ノ法律シナイト云フコトデアリマスガ、之ヲ一寸承リタイ

○神輿政府委員 只今ノ御質問ハ御考ノ通りデゴザイマシテ、協定稅率ガ存續シテ居ル間ハ、國定稅率ガ出來テモ、協定稅率ニ依ッテ輸入稅ヲ課ケルト云フコトニナツテ居リマス

○今泉嘉一郎君 ソレカラ銑鐵ノ事デゴザイマスガ銑鐵モ矢張協定稅率ハ尙ホ二箇年ノ間繼續スベキデアリマスガ、ソレ迄ノ間ハ矢張協定稅率ニ就テ御決メニナツテ居ッテモ差支ナイト思ヒマス、ソレハ先程ノ御説明デ分ッテ居リマスガ、折角銑鐵ニ稅ヲ課シタ所デ、支那方面カラ來ル銑鐵ガ大分アリマスカラ、ソレ故ニ詰リ邦人ノ經營スル所ノ外國ニ於ケル製鐵業ヲ獎勵スル意味ニ於テ、極メテ面白クナイ結果ニナルカラ、其方ハ稅ヲ課セヌ事ニシタト云フ風ナ御説明デアリマシタガ、ソレハソレデモ宜カラウト思ヒマスガ、日本ノ將來ノ製鐵業ヲ脅威スルモノハ、印度デゴザイマス、此印度ガ一體英吉利ノ植民地トシテ、英吉利本國ノ協定特惠ニ均霑シテ、矢張本國通りノ稅率ヲ應用サレテ居ルト云フコトハ、洵ニ此場合不便デアルト考ヘマス、而シテ是ハ此前ノ日英通商航海條約ノ結バレタ時ニ、初メ這入ッテ居ラナカッタノデアリマスガ、二箇年間ニ植民地ハ申出ニ依ッテ本國ノ條約ニ均霑スル事ガ出來ルト云フ通商條約ニナツテ居リマスカラ、ソレニ依ッテ均霑シテ來タノデアラウト思ヒマス、併ナガラ此條約ハ此方カラ解約ヲ申込ムコトガ出來ヤウト思ヒマス、事外交ニ關シマスカラ、或ハ外務省ノ方ニ質問スベキデアルカモ知レマセヌガ、若シ六箇月ノ間ニ交渉ニ、依ッテ條約ヲ改正出來ヌ時ニハ、更ニ六箇月ノ豫告ヲ以テ之ヲ解約改正スルコトガ出來ル、英吉利トノ條約改正ト云フコトハ容易ナラヌ事デアリマスケレドモ、英吉利ノ植民地ト云フモノハ、是ハ附帶ノ條約デアル、二箇年間ニ申込ガアツタ爲メニ、英吉利ノ本國ノ條約ニ均霑シテ來タ性質ノモノデアリマスカラ、私ハ左迄六ヶシク尊重スル必要ハナイト思フ、實際ニ於キマシテ

諸外國即チ歐米諸國ノ銑鐵ト云フモノハ、内地ノ銑鐵ヲ脅畏スルコトハナイト思ヒマス、私ハ將來ニ於テ或ル多少ノ輸入税ヲ課シマシタナラバ、日本ノ製鐵業、即チ銑鐵製造事業ハ歐米諸國ニ對シテハ、完全ニ獨立スルコトガ出來ルと思フ、支那ノ製鐵業ニ對シテハドウデアアルカト云フト、滿洲或ハ大治方面ニ於テ拵ヘラレタ所ノ、日本人ノ關係ヲシテ居ル製鐵業ト云フモノハ、其原料ノ取得ガ便利デアアル、便利ガアレバコソ出來タノデアリマス、原料ガ安イ、石炭ナリ銑鐵ナリガ安イ、是ガ日本ヘ這入ッテ來ル、此銑鐵ガ日本ヘ這入ッテ來ルト云フコトハ、確ニ日本ノ製鐵業ニ多大ノ脅威ハアリマス、只今申シタ通り、海外ニ於テ將來日本ガ發展スベキ土地ニ於テ、殊ニ日本人ガ經營シテ居ル製鐵事業デアアル、是ハ私ハ日本ヘ來ル場合ニ於テハ、敢テ脅威ニハナラヌ方法ガ付カウト思ヒマス、印度ハ亞米利加ノ「アラバマ」ト等シク世界屈指ノ銑鐵製造ノ便利ノ所デアアル、殆ド世界ニ於テ比類ノナイ安イ銑鐵ヲ造ル所デアッテ、是ハ單ニ日本ノ脅威ノミナラズ、世界各國ノ脅威デアアル、此印度ノ銑鐵ニ對スル防禦策ト云フモノハ、何レノ國ニ於テモ講ジナケレバナラス、殊ニ日本ハ講ジナケレバナラス、而シテ印度ニ對スル責任ハ、單ニ英吉利トノ通商條約ニ於ケル附帶條約ニ過ギナイノデアリマス、私ハ政府トシテハ、解約ノ出來ル權利ヲ大ニ主張サレテ、之ヲ解約出來ルモノナラシメタイト思フ、當局ニ於テハ、此銑鐵ノ税ヲ今回引上ゲラレザル場合ニ於テ、サウ云フヤウナ御考慮ガアリマシタナラバ、承ッテ置キタイ

○神鞭政府委員 只今ノ御質問ノ條約關係ニ付キテハ、御話ノ通りデゴザイマス、日英協定ノ稅率關稅ハ改正ヲ希望致シマス、六箇月間ノ豫告ヲ以テ改正ヲ希望スル、サウシテ其六箇月間ニ交渉ガ纏リマセヌ場合ニハ、其後一箇月以内ニ六箇月ノ豫告ヲ以テ廢棄ヲ申込ムコトガ出來ルト云フコトニナッテ居リマス、但シ其廢棄ノ申込ハ、日英協定稅率ノ中ノ一品々々ニ付テ廢棄ヲスルト云フコトハ出來ナイト思ヒマス、又日英協定ノ關係ニ於キマシテ、印度ダケヲ廢棄シテ、本國トノ條約ハ其儘ニシテ置クト云フコトハ、是亦出來兼ネル關係デアルト思ヒマス、一體トシマシテ——兎モ角モ屬領地ハ後ニナッテ此條約ニ參加スルヤ否ヤト云フコトハ、申込ニ依ッテ參加シ得ルト云フ事ニナッテ居リマス、既ニ參加シタ以上ニ於キマシテハ、日英通商航海條約ハ、其範圍ニ一體トシテ及ンデ居ルノデゴザイマス、印度ダケヲ廢棄スル、他ノ所ハ廢棄シナイト云フコトハ、是ハ出來兼ネル關係デアルト考ヘテ居リマス、ソレカラ尙ホ只今鐵ノ事ニ付テ色ミト御話ゴザイマシタガ、御尤ノ事ト思ヒマス、條約廢棄後ニ銑鐵ヲ如何ニスベキヤト云フコトノ問題ハ、是ハ愈々廢棄ヲ申込ミ、或ハ期限ガ出來ルト云フ時期迄ニハ、政府ト致シマシテハ當然此銑鐵ノ關稅ハ如何ニスベキヤト云フコトハ、十分考慮セネバナラヌト思ヒマス、是ハ十分政府ニ於テモ考慮スル積リデ居リマス

○今泉嘉一郎君 モウ一ツ伺ヒタイノデスガ、此全體ノ稅率ガ、銑鐵ハ只今ノ通り少シモ引上ゲナイ、現行ノ儘、ソレカラ鋼材ハ一割五分ト云フコトニナッテ居リマスガ、鋼材ノ一割五分ト云フモノハ、實際ニ於テ殆ド保護稅デハナイ位ノ程度ノモノデアリマス、今日ノ鐵ノ相場ト云フモノハ、殆ド毎日變ルモノデアッテ判リマセヌガ、歸著スル所、亞米利加或ハ歐羅巴諸國ノ鐵業ニ關スル識者ノ考ト云フモノハ、結局スル所、物價ハ如何ニ落著クカ、殊ニ鐵價ハ如何ニ落著クカト申シマス、千九百十四年、即チ戰爭開始當時ニ於ケル價格ノ五割増ニ落著クデアラウト云フコトハ、殆ド一致シテ居ル、偶然ニモ井上日本銀行總裁ノ考モ、矢張皆戰前ノ五割増位ニ落著クコトニナルダラウト云フ意見デアリマス、先ヅ其邊ガ最も多イ說ノヤウニアリマスガ、假ニサウ云フヤウニシテ考ヘテ見マスルト、諸外國ハ多クハ從價デナイ、從量ノ國ガ多ウゴザイマス、亞米利加ダケガ從價ニナッテ居リマスガ、比較スル爲メニ割出シテ見マス、一割五分日本ガ稅ヲ課シマシテモ、先ヅ亞米利加及獨逸ト同ジ位ナ譯ニナル、亞米利加ヤ獨逸ハ世界製鐵國ノ最モ先進國デアリマシテ、亞米利加ハ今日日本ガ百萬噸造ルト云フ時ニ、四千萬噸造ルト云フ力ガアル、獨逸ハ二千萬噸ノ力ガアル、而シテ殆ド世界ノ競爭ヲ

恐レヌ國ガ、尙ホ且亞米利加ハ一割五分課シテ居ル、我國ノ如キ後進國ハ、世界ニ類ヲ求メマスレバ、先ヅ伊太利、西班牙、或ハ瑞典、白耳義等ハ殆ド同様ノ地位デ、製鐵ノ方デ世界ノ第四流國ト云ッテ宜シイ、所ガ是等ノ國ハ殆ド日本ト比較ニナラヌ多額ノ稅ヲ課シテ居ル、又日本ヨリモ一層上ナル所ノ佛蘭西、奧地利等ハ我國ニ四倍ノ產額ヲ持ッテ居ル國柄デアリマスガ、是等ハ日本ガ一割五分増シタ、ソレノ尙ホ五割位ノ輸入稅ヲ課シテ居ル、私共ハ此一割五分ト云フモノハ、何等完全ナ保護稅ニハナラヌ、保護稅ト云フニハ少クトモ二割五分以上増サナケレバナラス、五分ハ一割ノ輸入稅ト云フモノハ、關稅手數料デアアル、又現行ハ五分——殆ド五分ニシカ當ッテナイ、是ハ外國ノ方ニ仰ガナケレバナラヌト云フ已ムヲ得ナイ手數料デアリマス、或ハ英吉利ノ如キハ輸出國デアリマスカラ、無稅デモ差支ナイガ、併シ一割五分ト云フノハ、非常ニ私共ハ不完全ナ保護ト思フ、之ニ伴ウテ製鐵業ハ國家的性質ヲ持ッテ居ルカラ、國家トシテ多少ノ保護ヲシナケレバナラス、又製鐵業者モ合同シテ、出來ルダケノ經費ヲ節約シテ、廉價製造ヲシナケレバナラヌト云フ意味ニ於テ、私ハ相伴フベキモノト思ヒマス、即チ一方ニ於テハ合同ヲ爲シテ、廉價製造ヲヤル、同時ニ國家ハ保護稅ヲ課スベキデアアル、斯ウ考ヘテ居リマスガ、合同ノ方ニ付テハ、政府ハ今回何等ノ御提案ガナイ、是ニ付テハ農商務大臣ニ承ッタガ宜イカ知レマセヌガ、或ハ政府ニ於テサウ云フ御研究ガアリマスカ、是ハ農商務省ニ承ッテ見タイト思ヒマス

○神鞭政府委員 唯今今泉サンカラ御質問ノ關稅定率ニ付テ申上ゲマス、關稅定率ノ高イ安イト云フコトニ付テ、是ハ其國ノ國情ト云フコトモ餘程考ヘナケレバナラヌ事ト考ヘマス、現ニ亞米利加ノ如キハ——亞米利加、獨逸ト云フ御話デアリマシタガ、兩國共、比較的稅率ノ高イ國デ、殊ニ亞米利加ノ如キハ保護稅ノミナラズ、收入トシマシテモ稅ノ高イ國デアリマス、ソレ等ノ點モ稅率ヲ比較スル上ニ於テ、當然考慮ノ内ニ入レルベキモノト思ヒマス、殊ニ鐵ニ付テ一割五分ハ保護ニナラヌ、普通ノ稅率デアルト

云フコトデアリマシタガ、是ハ見方ニ依ル事ト思ヒマス、一割五分デハ日本ノ鐵ノ事業ガ成立シ兼ネルト云フコトデアリマスレバ格別デゴザイマス、殊ニ日本ノ如キ所、主トシテ歐米方面カラ種々ノ物ガ参リマスルニ付テモ、佛蘭西ガ獨逸カラ脅威サレルト云フヤウナ状態、或ハ歐洲各國ガ互ニ接近シ合ッテ居ッテ、隣國ノ物ガ直グ自分ノ國ニ入ッテ來ルト云フ状態トハ違ッテ居リマス、向フカラ物ヲ日本ニ持ッテ参リマスルニハ、運賃ダケニ於テモ餘程開キガゴザイマス、ソレデ一面カラ申シマスルト、日本ノ物ガ向フニ輸出サレル場合ニ於テハ——歐米諸國カラ日本ニ來ルニ付テハ、運賃ト云フモノハ、自然的ニ内地ノ製造事業ノ保護トシテ、相當ニ高イ大キナ影響ヲ持ッテ居リマス、假リニ一割五分ガ足リナイトシテモ、日本ニ於テハ其上ニ外國カラ種々ノ物ガ來ルニハ、運賃ト種々ノ費用ガ要ルト云フコトモ、關稅定率ト同ジヤウニ内地ニ於ケル産業ノ保護ト云フコトニ付テハ影響ガアルノデアリマス、サウ云フヤウナ考ヲ持ッテ居リマス、唯今御話ノヤウニ、一割五分ハ保護ニナラスト云フ問題ニ付テハ、是ハ具體的ノ問題トシテ、一割デ宜イトカ惡イトカ云フ問題デナイト、抽象的ニ是デハ問題ニナラスト云フコトヲ一寸申上兼ネルコトデナイトカト思ヒマス、尙ホ後ノ方ノ御質問ニ對シテハ、農商務省ノ方カラ……

ドウカ、是ハ唯今其處ニ御居デノ政府委員ニ、當業者カラ私共モ行ッテ詳細申上ゲテアリマスカラ、御了解ニナッテ居ル事ト思ヒマス、外國品ガ橫濱デ輸入稅ヲ拂ヒマシテ十圓取ッテ居ル、ソレデ内地デ作リマス十圓デハ六ヶシイ、縱令是ニ八十錢位ノモノヲ加ヘテ保護ニナッタルコトガ——ソレハ無イヨリハ優シデスガ、或ハ微弱ニ維持スル事ハ出來ルカモ知レマセヌガ、今少シ斯ウ云フ保護政策ヲ御執リニナッテサウシテ我國ノ發達シタモノヲ保護スルト云フニハ一圓五十錢位ノモノデナクテ、今少シ當業者ノ要求ノ如ク、二圓五十錢位ノ御英斷ガナカッタカ、申ス迄モナク此曹達化學工業ト云フモノハ、實際ニ於テハ殆ド我國ニハ無ッタ、實際ニ當時ニ於テハ非常ニ困ッテ、染料ニ於テモ、曹達ハ多ク染料ノ元ニナル、幾ラ技師ヲ使ッテ發展シ掛ッタコロガ、戰爭ガ濟ムト共ニ、外國カラ斯ウ云フ品物ガ續々入ッテ、今迄ヤッテ居ル化學工業會社、個人ノモノ、多クハ會社デアルガ、破綻ノ状態ニ瀕シテ居ル、ソレデ一旦倒レタモノハ中ニ恢復ガ出來ナイ、一旦工場ガ潰レルト、再び起スト云フコトハ容易デナイトコトハ言フ迄モナイ譯デアリマスガ、ソレデハ國家ノ爲メニ必要デナイトカト云フト、戰前ニ於テ更ニ無ッタモノガ出來マシテ、而モ戰爭中ニ於テハ支那、馬尼刺等各方面ニ輸出シテ、新規ナ事業ヲ起シタノデアリマスカラ、又是ハ無ケレバナラスノデアリマスカラ、政府ハ營業ガ持續スルヤウニ保護シナケレバナラス、ドウモ八十錢ダケノ増率デハ、甚ダ少ナイノデアリマス、過酸化曹達デアリマスガ、是ハ御承知デモアリマセウガ、曹達ノ事ヲ一言申上ゲテ置キマス、苛性曹達ハ曹達ガ原トナッテ居リマシテ、曹達ニ鹽ヲ加ヘ、ソレニ熱ヲ與ヘルト、苛性曹達ガ出來ル、苛性曹達ニ電氣作用ヲ加ヘマス、金屬曹達ガ出來ル、金屬曹達ニ又一ツノ作用ヲ加ハルト、過酸化曹達ガ出來ル、所デ過酸化曹達ニ對シテ四圓六十錢ノヲ十五圓六十錢トナサツタノハ、隨分御奮發デアリマスガ、私ハ尙ホ微弱デアルト思ヒマス、之モ苛性曹達ト同ジヤウニ、二十五圓位ニ改メテ戴キタイ、十五圓六十錢デハマダ立行カヌト思ヒマス、併シ改メナイヨリハ結構デアルカ知リマセヌ

○北井波治目君 大藏省ノ政府委員デモ農商務省ノ方デモ宜イガ、私ハ曹達ニ付テ伺ヒタイト思ヒマス、今度ノ御改正ノ百六十三、百六十五、百六十七、苛性曹達、天然曹達、過酸化曹達、此率デゴザイマス、苛性曹達ト過酸化曹達ノ輸入稅ヲ増率サレタニ付テハ、誠ニ結構デアリマシテ、是ハ最モ急務デ、一日モ速ニヤルベキモノデアツテ、之ヲ研究シテ一議會延バスト云フ事ハ出來ナイト云フ急ニ迫ッテ居リマスガ、伺ヒタイノハ是ハ元ハ七十錢ヲ一圓五十錢ニシタ、成程倍以上ニシタラ宜イ様ニ御考ヘカ知レマセヌガ、甚ダ是ハ微弱デアリマス、是デハドウモ保護ニナラスト思ヒマス、ドウモ曹達工業會社ガ是デ立ッテ行クカ

ガ、之ニ對シテ何故モット御増シナリマセンデシタカ、折角御改正ノ法律モ、餘リ微弱ニ過ギハシマセヌカ、他ノ物ト比較シテドウデアリマセウカ、率ノ上方ヲモット高クシテ貰フコトハ出來マスマイカ、是ガ第一點、其次ハ屢々當業者カラ申上ゲテ居ル事デアリマスガ、今申ス金屬曹達ニ作用ヲ加ヘテ過酸化曹達ニナルノデアアルカラ、之ニモ同ジヤウナ保護ヲ加ヘテ行カネバナリマセヌ、此金屬曹達ド、モウ一ツ鹽酸加里ノ二ツハ、從前ノ通りニナッテ居リマスガ、是モ矢張り保護サレマセヌト、苛性曹達ノ課稅ヲ増率シ、ソレカラ過酸化曹達ノ方ニモ増加シテ、中間ノ金屬ナドヲ安ク輸入スルト云フコトニナリマスカラ、金屬曹達ニ對スル率ヲ上ゲルカドウカ、ソレヲ承リタイ、尤モ御承知デアリマセウケレドモ、一時亞米利加英吉利等カラ橫濱ヘ注文ガ來テ、七圓八圓ト云フ相場ノ立ッタルコトモアリマスガ、ソレモ品物ガ少シ落著キマスレバ、又ヤッテ來ルガ、今ハ一寸來マセヌ、斯ウ云フヤウナ譯デアリマスガ、金屬曹達モ率ヲ高メテ保護スルト云フ方針ヲ執ラレル御意見ハアリマセヌカ

○木下成太郎君 一寸委員長ニ申上ゲマスガ、先刻來色々枝葉ニ就テ御尋ガアリマスガ、ソレヲスルヨリモ、大臣ノ御出席ヲ求メテ、サウシテ政府ノ方針ノ在ル所ヲ伺ッテ而シテ後ニ枝葉ニ就テ御質問ヲナサツタ方ガ、却テ時間ガ手間取ラズニ、議事ガ進行スルト思ヒマス、部分的ナ事ヲ色々承ッテ見テモ、根本方針ハ何處ニ在ルカ、徹底的關稅保護ニ依ッテ産業ノ振興ヲ圖ルト云フナラバ、圖ル様ニシテ、戴カネバナラス私ハ此場合モウ時間モ切迫シマシタカラ、午後引續イテ此委員會ヲ開クコトニシテ、ソレ迄ニ農商務大臣ノ出席ヲ求メテ置イタ方ガ宜イト思ヒマス

○委員長(指田義雄君) 木下君ニ御答致シマス、私ハ斯ウ考ヘテ居リマス、出來得ルダケ此條文並ニ別表ニ關スル細カイ御質問ヲ此際願ヒマシテ、サウシテ根本ノ政策ニ關スル問題ガ大分アルヤウデアリマスカラ、ソレハ午後二大臣ノ都合ヲ問合セテ、其上開イタ方ガ便利デアラウト思ヒマス、今大臣、各委員會ヤラ貴族院ノ方ヘ行ッテ居ラレ、出席ガ出來ナイト

思ヒマスカラ、其間ニ條文ヲ別表ニ對スル御質問ダケヲ略ボ終了致シテ置イテ、午後大臣ノ出席ヲ願ッテ根本政策ニ關スル質問ヲ致シタイト思ヒマス

○神輿政府委員 曹達ニ付キマシテノ稅率ノ引上方ガ微弱デアッテ之ヲ保護ニナラナイ、モウ少シ徹底のニ何故上ゲナイカト云フ御質問デゴザイマスガ、是ハ私カラ申ス迄モナク、關稅ヲ引上ゲマスレバ、生産ヲ致シマス者ハ洵ニ結構デアリマスケレドモ、之ヲ使用スルモノハ大變ニ困難ヲ感ズルコトハ、是ハ已ムヲ得ナイコトデアリマス、關稅ノ問題ハ洵ニ此點ガ面倒デアリマス、何時モ製造業者ト之ヲ使用スル所謂消費者トノ間ノ關係ガ、餘程困難ニナルノデアリマスカラ、政府ノ考ノヤウニ決定スルニ就テハ、此兩者ノ間ヲ能ク研究シテ、我國工業ノ發達ヲ圖ッテ行カクテハナラヌノハ勿論デアリマス、又一面ニハ之ヲ利用シテ行ク人ノ利益ヲ考慮シナケレバナラヌコトデアリマス、當業者カラノ希望ガ種々出テ居ッタノデアリマスガ、之ニ就キマシテハ出來得ル限リ其希望ヲ容レタイト思ヒマシテ、色々考慮ヲ致シマシタガ、何分ニモ今申ス通り澤山上ゲマスレバ、上ゲル程當業ハ喜ビマスガ、之ヲ使用スル者ハ不利ニナルノデアリマスカラ、殊ニ曹達類ノ如キハ、非常ニ用途ノ廣イモノデ、所謂基礎工業品ノ一ツデアリマスカラ、之ヲ使ッテ色々工業ヲ營ミ、進ンデハ國益ニモ關スルコトデアリマスカラ、此消費者ノ側ヲ考慮シナイ譯ニハ行カナイノデアリマス、ソレ故ニ甚ダ當業者ニ取ッテハ不満足カ知レマスガ、吾々ノ所デハ、其業ノ立ッテ行ク處ヲ最少限度トシテ稅ヲ決メルヨリ方法ハナイ、甚ダ當業者ニ不満足デアラウト、思ヒマスケレドモ、吾々ノ所デ調ベマスルト、大體是レダケ稅率ヲ引上ゲテモ、此業ハヤッテ行ケラウト思ッテ、難デハアラウケレドモ、ヤッテ行ケラウト思ッテ、又必要已ムヲ得ザルモノトシテ、斯様ナ率ニシタノデアリマシテ、過酸化曹達ノ如キハ、非常ニ大キナ量ノ事デアリマスカラ、ソレ等モ考慮シテ定メタ譯デアリマス、第二點ノ御問ノ鹽酸加里等ニ増加ヲ加ヘナカッタト云フコトモ、是モ種々考慮シマシタガ大體是等ノモノハ皆同一ノ人ノ手デ出來ルノデアリマシ

テ、一方ノ品物ガ旨ク行ケバ、一方ハ困難ヲ致スト云フコトニナルガ、ソレニ依ッテ相助ケテ行クコトガ出來、又此工業ノ採算ノ上カラ考ヘテ見ルト、必ズシモ稅率ヲ引上ゲナクテモ、相當ニ維持ガ出來ル、困難デアルニ相違ナイガ、相當ニ維持ガ出來テ行クダラウト云フ考カラ、引上ゲナクテ次第デゴザイマス、唯ダ此機會ニ一言申上ゲテ置キタイノハ、斯ウ云フ狀態ニアル品物ガ澤山ニアリマシテ、戰時中折角ニ發達シタ所ノ工業ヲ維持發達セシムルニハ、相當稅率ノ改正ヲシナクチャナラヌモノガ、單リ曹達バカリデハナク、澤山他ニモアルノデアリマスカラ、ドウカシテ十分調査ヲ遂ゲテ、根本的稅率ノ立直シヲヤリタイト云フ考ヲ持ッテ、頻リニ此頃ハ調査ヲ致シテ居ル次第デ、今日出シマシタノハ、已ムヲ得ズ打捨テ、置クコトノ出來ナイモノヲ出シタヤウナ次第デゴザイマス、大體是程ノ稅ヲ引上ゲ、相當ノ保護ヲ加ヘタナラバ、斯業者モ立ッテ行クシ、又之ヲ使用スル者モ相當ニ利益ヲ享クルモノト考ヘテ、斯様ニ致シタ次第デアリマス

○北井波治目君 能ク判リマシタガ、今ノ御答辯ニ無イノデスガ、同ジ物ト云フ中ニ這入レバ、這入リマスカ、金屬性曹達——是ハ苛性曹達又ソレニ電化作用ヲ加ヘテ金屬性曹達ガ出來ル、金屬性曹達ニ又作用ヲ加ヘテ、過酸化曹達ガ出來ル、斯ウナリマスカラ中間ノモノダケガ輸入サレテ來タラドウデアルカ、中間ノモノヲ落シタ理由ヲ伺ヒタイ、モウ一ツ大體ニ於テ是デ立行クダラウト思ヒマスガ、此案ノ中デモ安息香酸曹達ガ三割五分デアル、是ハ以前ニ於テコンナ突飛ナ輸入稅ヲ課サレテ居ル例ハ無イ事ハナイノデアリマスガ、百斤ニ付テ——頻ニ需要者ガドウダト云フ事ノ御説明デアリマスガ、百斤ニ付テ五十錢ヤ一圓高クナッテモ響カス、染料ノ原料デアリマシテ、ソレヲ大キナモノニシテヤルノデスカラ、需要者ノ方ハ廉イニ越シタ事ハナイガ、餘リ響クコトハ無イノデス、御考慮ヲ願ッテ置キタイ

○矢部政府委員 御答ヲ致シマスガ、只今鶴見政府委員カラ御答ヲ致シマシタ如ク、曹達ハ各種ノ工業ノ原料ニナルモノデスカラ、成ベク稅率ヲ低クシテ

保護ヲ加ヘタイ考デアリマス、昨年此調査ニ從事シテ居ッタ時分ニ、色々當業者カラ希望ガアッテ、二圓五十錢ト云フヤウナ稅率ノ提唱ガゴザイマシタ、併シ其後鹽ガ非常ニ下リマシテ、昨今一圓以下デモ買ヘル様ナ有様ニナッテ來マシタ、其等ヲ考慮シマシテ、尙ホ紐育ノ相場ナドモ考ヘマシテ、苛性曹達ハ一圓五十錢デアルナラバ成立ツト云フ見込ガ付キマシタ尙ホ金屬性曹達ニ就テハ御話ノ如ク中間物デアリマスノデ、色々研究ヲ致シマシタ所カラ見マスルト、ドウヤラ斯ウヤラ成立ッ事ガ出來ルヤウニ見ヘルノ一點、尙其所ニソレヲ出スヨリモ、續ケテ往ッテ過酸化曹達ニスルナラバ、尙餘裕ガアルト云フ見込ガ付キマシタ、ソコデ金屬性曹達ノ稅率ヲ引上ゲナケレバ、外國カラ脅威ヲ受ケルデハナイカト云フ御話デアリマシタガ、今輸入ハ無イノデス、又早晚輸入ガアルト云フ考モ浮バナイノデス、尙金屬性曹達ハ包裝費ニ非常ナ金ガ掛リマスカラ實際ニ輸入シテ來ルト云フ狀況ニナッタナラバ、其時ニ能ク考慮シテ稅率ヲ定メル事ガ宜イト思ヒマス、次ニ鹽性ノ曹達ニ就テモ、色々當業者カラ希望ガアリマスガ、是等ニ就テモ細カイ算盤ヲ取ッテ種々研究ノ結果、引上ゲルニ就テハ損ヲスルヤウナ事ナク、總體ニ利益ヲ以テ成立ッテ行ケルヤウニシナケレバナラヌ、斯ノ如キモノハ尙ホ低イ稅率デ置クコトヲ要スルモノデアルカラ、當分見合ハセテ置カウト云フ考カラ、今回ノ案ニハ載ラズニ居ル譯デアリマス

○岩切重雄君 政府委員ニ御尋ラシタイト思ヒマス是ハ私ノ郷里ノ方ニ關係シタ問題デアリマシテ、此改正ノ法律案ノ中ニハ這入ッテ居ラヌヤウデアリマスカ、電氣化學工業トシテ「カーブランダム」アランダム「ガ私ノ方デ漸次發達シテ參ッタノデス、是ハ軍事上其他ノ點ニ於テ必要ナ品物デハナイカト思フノデス、是ハ外國ノ製品ナドニ比シテ大分マダ生産費ガ高ク掛ルヤウデス、品物トシテハ今日御當局ハ既ニ御存ジノ事ダト思ヒマスガ大分發達シテ居リマスカ、此際相當ノ保護ヲスルニアラズンバ到底完全ナ發達ヲ期スルコトハ出來ナイ、併シ品質其他ノ點ニ於テハ洵ニ順調ナル發達ヲ來シテ居リマシテ、吾々

トシテハ之ヲモウ少シ保護シテ戴キタイト思ヒマス
ガ、此點ニ對スル御見解ヲ承リタイ
○神輦政府委員 御答ヲ致シマス「カーブランダム」

「アランダム」ハ御話ノ如クニ機械工業其他金屬工業
ニ於テハ洵ニ必要ナル研磨材料デアリマス、獨リ軍
事上ノミナラズ、平時ニ於テモ極ク必要ナルモノデア
リマス、是ハ鹿兒島縣下ニ於テ段々製造ガ發達シテ
居ルコトハ、洵ニ喜ブベキ狀態デアルト考ヘテ居リ
マス、唯ダ幾分經濟狀態ニ於キマシテ、マダ外國品ヨ
リモ生産費ガ高ク要スルヤウナ點ニ就テ、實ハ調査
シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、併ナガラアレ
ハ大體ニ於テ其儘用キル部分モゴザイマスガ、要ス
ルニ人造砥石ノ材料デアリマスノデ、是ハ人造砥石
トシテ造ルコトモ中々相當ノ技術ヲ要スル點ナンデ
ス、此點モ内地ニ於テ現ニ鹿兒島ノ電氣會社ニ於テ
ハ相當ノ成績ヲ擧ゲテ居ルヤウナ狀態ナンデス、然
ルニ此「カーブランダム」アランダム「モ、其儘ニ稅
ヲ課シテ行キマス、他ニモ砥石ヲ製造シテ居ル者
モゴザイマス、此製砥事業ノ方カラシマシテ、砥石モ
矢張稅ヲ上ゲナケレバナラス」「カーブランダム」
「アランダム」ノ材料ノ稅ヲ上ゲレバ、當然ニ砥石ノ
輸入稅モ引上ゲナケレバ、鈎合ガ取レナクナル、却テ
サウ云フ高イ原料ヲ用キテ砥石ヲ造ッテハ引合ハス
ト云フ狀態ニナリマス、所ガ砥石ノ稅ヲ引上ゲルト
云フ事ハ、是ハ實ハ甚ダ考物デアラウト思フノデス、
マダ鹿兒島縣下デ出來マス砥石ダケデハ、連モ日本
ノ需要ヲ充ス譯ニ行キマセヌ、今ノ所デハ砥石トシ
テハ大分外國ノ輸入品ヲ用キナケレバナラス狀態ニ
ナッテ居リマス、之ニ對シテ稅金ヲ高クスルト云フ事
ハ、一般工業ノ上カラ言ッテモ餘程考ヘナケレバナラ
ヌ、此點カラ申シマス、砥石ノ方ハドウモ今ノ所デ
ハ稅金ヲ上ゲタクナイ、サウシテ見ルト材料ノ「カー
ブランダム」「アランダム」ノ方モ一寸手ヲ著ケ兼
ネル、而モ「カーブランダム」「アランダム」ノ製造ト
云フモノハ、餘程發達シテ良イモノガ出來テ、軍需
ノ方ノ規格ナドニモ合フヤウナモノガ出來ル事ニナ
ッテ居リマスケレドモ、マダ此上ニ餘程發達ノ餘地ガ
在ルヤウニ實ハ考ヘテ居ルノデス、電氣會社等ニ於

テモ頻ニ其點ヲ研究シテ、外國ニ技術者ヲ派遣シテ
研究シテ居ル様ナ狀態デゴザイマス、稅率ノ點ニ於
テ今之ヲ動カサウトスレバ、成立ツヤウナ計算デ稅
率ヲ決メヤウトスルト、大分高イ稅率ヲ編マナケレ
バナラス、サレバトテ此際稅率ヲ直ス、成立ツ迄ニ稅
率ヲ中途デ動カスト云フコトモ困難デ、今少シ狀
態ヲ見マシタナラバ技術モ今ヨリ發達致シマセウ、
適當ナ稅率ヲ見出スコトガ出來ルダラウト考ヘテ居
リマス、尙ホ今原料ノ「カーブランダム」「アランダ
ム」ニ稅ハ課ケズトモ、其物ヲ用キテ砥石ヲ造ッテ行
キマス、今ノ所デサウ損ハナシ、ドウヤラヤッテ行ケ
ルト云フヤウナ狀態ニ考ヘラレマス、ソレデアリマ
スカラ、此際ニ於テハ手ヲ著ケナイ、今少シ狀態ヲ見
送ルコトニシタイト考ヘテ、此際手ヲ著ケナカッタノ
デアリマス
○岩切重雄君 吾々ハマダ發達ノ道程ニ在ルノデア
リマスカラ、サウ云フ事モ御意見ノ通りデアラウト
思ヒマスガ、併シ折角發達シテ來マシタノデアリマ
スカラ、若シ之ガ中途デ挫折シテ、完全ナ最後ノ發達
ヲ見ルコトガ出來ナケレバ遺憾ト思ヒマス、若シサ
ウ云フドウシテモ外國ノ市場ト、日本ニ輸入品其他
ノ物ヲ比較シテ、是ガイカナイト云フコトガ、御研究
ガ出來ルト云フコトデアリマス、云フコトデアリマ
スレバ、相當ニ考ヘナケレバナラスト思ヒマス、サウ
云フ事ハ一ツ希望ト致シマシテ、十分ニ私ハ考ヘテ
戴キタイモノダト思ヒマス
○神輦政府委員 只今ノハ御希望ト云フコトデゴザ
イマシタガ、政府モ勿論其點ニ付テハ十分考慮致シ
テ居リマス、矢張事業ノ發達致シマスコトハ、誠ニ好
マシイコト、思ッテ居リマス
○岩切重雄君 若シ最近ニ於テ——或ハ數年掛ルカ
知レマセヌガ、ドウ程度迄達シタナラバ、サウ云フ稅
率ナドヲ取ッテ下サルコトニナリマスカ
○神輦政府委員 今ノ御質問ハ一寸御答ニ困リマス
ケレドモ、要スルニ砥石ノ稅率ヲ餘リ上ゲナイデモ、
原料ノ方ノ稅ヲ上ゲテ、宜イ位ナ所デ保護ガ成立ッ
ヤウナ見込ガ付キ、或ハソレハドウシテモイケナイ
デ、砥石ヲ上ゲナケレバナラスト致シマシテモ、ソレ

ニ依ッテ砥石ノ稅率ヲ上ゲマシテモ、大概内地品デ間
ニ合フヤウニナリ、外國品ノ輸入ガ或ル程度迄宜シ
イト云フコトニナリマスレバ、是ハ動カシテモ宜イ
コト、思ヒマス
○委員長(指田義雄君) ソレデハ是デ休憩致シマシ
テ、午後一時半カラ國務大臣ノ出席ヲ請ヒマシテ質
疑ヲ致シマス
午後零時十四分休憩
午後一時三十九分開議
○委員長(指田義雄君) 午前ニ引續キ開會致シマ
ス、鈴木錠藏君ノ質問ガ殘ッテ居ルヤウデアリマスカ
ラ是カラ始メマス、鈴木君
○鈴木錠藏君 御尋致シマスガ、此關稅定率法ノ制
定サレテカラ大分經テマシテ、之ニ就テハ根本的ノ
關稅改正ノ必要ノアルト云フコトハ、何人モ認メテ
居ルノデアリマスガ、政府ニ於テハ何カ常設委員ト
カ何トカ云フモノヲ設ケテ、是等ノモノヲ研究セラ
レテ居リマス、カドウカ、ソレヲ第一ニ伺ッテ置キタイ
○神輦政府委員 現行法ガ大分現在ノ事情ニ適合シ
ナイモノガ澤山出來テ來テ居ルト云フコトハ政府モ
豫テ氣ノ付イテ居リマス、ソレデ一般のニ是
ガ改正ヲシナケレバナラスト云フコトモ、亦豫テ考
ヘテ居ル所デアル、如何セン戰後ノ經濟事情ガ如何
ニモ安定シテ居リマセヌ、物價等ノ關係ニ於キマシ
テ、今日ニ於テ直グ之ヲ決定スル事ガ出來ナイト云
フヤウナ狀況デアッタガ爲メ、延引シテ今日ニ及ンデ
居ル次第デアリマスガ、今回提案シマシタモノハ、特
ニ重要ナル點、緊急ナルモノダケヲ擇ンデ出シタト
云フ様ナ事ニナッタ次第デアリマス、ソレデ一般改正
ニ就キマシテハ、政府ハ相當考慮致シテ居リマス、ソ
レデ今ノ所デ、特殊ナル常設委員ヲ設ケテヤルト云
フヤウナ事マデニハ運ンデ居リマセヌケレドモ、差
當リ財政經濟調查委員會ト云フモノガゴザイマシテ
現ニ今日茲ニ問題トナッテ居リマス製鐵事業、若クハ
造船業政策等ニ就テモ、財政經濟調查委員會ニ付議
致シマシテ其答申ヲ得マシテ、大體其答申ヲ取リマ
シテ、茲ニ改正案ヲ出シタヤウナ次第デアリマス、一

般改正ニ就テモ、亦財政經濟調查委員會ト云フタヤ
ウナモノヲ利用致シマシテ、其所ニ付議スル積リデ
アリマス

○鈴木錠藏君 政府ハサウ致シマス云フト、根本
的改正ノ考ヲ持ツテ居ラル、ケレドモ、ソレハ財政經
濟調查會ニ讓ツテ、先ヅ纏々モノカラ順次ニ御出シ
ニナルト云フ様ナ御意見デ、ソレハ諒承致シマスガ、
然ラバ四十三議會ニ染料工業藥品ニ對スル關稅ノ改
正案ガアリ、又今回ハ此法案ガ提出サレテ居リマス
ガ、サウスルト來期議會ニモ、亦今日マデ調査未了ノ
分ハ進ンデ御出シニナルト云フ順序ニナルノデアリ
マスカ、此點ヲ豫メ伺ツテ置キマス

○神輓政府委員 大體主ナル物ニ就キマシテハ
前回ニ於キマシテ、染料其他ノ藥品等ニ就キマシテ
モ改正案ヲ提出致シマシタ、ソレカラ鐵、亞鉛其他ニ
就テモ、今回ノ此改正案ガ幸ニシテ通過致シマス
ハ、是亦既ニ改正ガ出來上ルト思フ、其他尙ホ各種ノ
物品ニ就キマシテハ、勿論重要ナルモノガ澤山ゴザ
イマスケレドモ、併ナガラ其中デ特ニ必ズ此次ノ議
會ニ提案スルト云フ迄ニ、爰ニ御答スルコトハマダ
調査ノ模様等モアルコトデゴザイマスカラシテ、御
約束ヲ致スト云フ譯ニハ行カナイコト、思ヒマス、
尤モ一般改正ガ非常ニ手間取ルト云フヤウナ模様デ
アリマスレバ、是ハソレヲ待ツコトガ出來ナイ、其間
ニ必要ノ物ニ對シテハ、事情ニ應ジマシテ一部分デ
モ改正スルコトハ、是ハアルデアラウト思ヒマス、先
ヅ今ノ所デハソレヨリモ一般改正ヲ急ギマシタナラ
バ、先ヅサウ長ク掛ラナクテモ、大體改正案ヲ得ルコ
トガ出來ハシナイカト考ヘテ居リマス

○鈴木錠藏君 關稅ヲ改正サレマシテモ、一方ニ於
テ此不當廉賣ノ防止ト云フコトヲ排除ナサラスト、
其效果ガ舉ラスト思ヒマスガ、豫テ勅令ヲ以テ審査
會ヲ設ケラレルト云フコトデアッタノデアリマスガ、
何時頃ハ實現サレノデゴザイマスカ
○神輓政府委員 是ハ農商務省ニ其委員ヲ置クコト
ニナツテ居リマシテ、是ハ不日發表ニナルコト思ヒ
マス

○鈴木錠藏君 元來輸入稅ヲ増シマシテ、内地ノ產

業ヲ保護スル場合ニ於テハ、勢ヒ消費者ノ不利ト云
フコトハ忍バネバナラスト思ヒマスガ、若シ此消費
者ニ對シテドウシテモ課ケルト云フト、ソレダケノ
不利ガアルト云フコトヲ餘リ懸念シマス、遂ニ關
稅改正ノ時機ハ無クナルダラウト思ヒマス、政府ハ
産業獎勵ノ爲メニハ、多少此消費者ノ不利ヲ忍ンデ
モ——不利ヲ犧牲ト致シマシテモ、改正スベキモノ
ダト云フ根本ノ御趣意ガソコニ存シテ居ルノデアリ
マスカ、之ヲ伺ヒタイ

○神輓政府委員 此保護稅ト消費者ノ利害ト云フモ
ノガ、往々ニシテ一致シナイト云フコトハ、御話ノ通
リデアリマス、此點ニ就キマシテハ、餘程慎重ニ考慮
致シテ、其產業ノ必要ノ程度需要、又ソレヲ保護シタ
ナラバ、ドノ程度ニ於テ發達シ得ルモノデアアルカド
ウカト云フヤウナ點モ、十分ニ考慮致サナケレバナ
ラス次第デ、此所デ抽象的ニ唯ダ何方ヲ重ク視ルカ、
唯ダ保護ノミノ見地カラ、消費者ノ利害ト云フモノ
ヲ考ヘナイデ行クカドウカト云フコトニ就テハ、サ
ウ保護ノミノ見地カラ進ンデ行クト云フコトニハ參
リ兼ネルト斯ウ考ヘマス、例ヘバ其事業ニシテ必要
ナモノデアアル、又ソレヲ内地デ保護スルトキニハ相
當ニ發達シテ、其結果ハ外國物ヲ買フヨリモ、内地ニ
於テ殆ド同ジ様ナ價值段、若クハ却テ發達シタ結果ハ、
廉價ノ物ヲ得ラレルヤウナモノト見マスレバ、是ハ
保護シタト云ウテモ一時的ノ關係デアリマシテ、一
時的ニ消費者ノ不利ヲ忍ビマスレバ、却テ消費者ノ
爲メニモ利益デアアルト云フヤウナ物モアルノデアリ
マス、其等ノ點ハ十分各件ニ就キマシテ、考慮ヲ加ヘ
ナケレバナラスト斯ウ政府ハ考ヘテ居リマス

○鈴木錠藏君 歐洲諸國ノ關稅政策ノ狀態ヲ見マス
ルト、中ニ徹底的ニヤルヤウデアリマスケレドモ、日
本デハ兎ニ角此關稅ト云フト、餘リニ遠慮ガ過ギテ
居ルヤウデ、先般來關稅改正ニ手ヲ染メラレマシタ
ガ、是マデハ兎ニ角腫物ニ手ヲ觸レルヤウナ考デア
ツタノデアリマス、今回ノ改正デモ餘リニ微温的デ、
却テ毒ニモ藥ニモナラス、寧ろ消費モ迷惑シ、生産者
ニモソレダケノ效能ヲ與ヘナイト云フヤウナコトニ
見受ケルノデスガ、之ニ對スル御見解ハ如何デスカ

○神輓政府委員 只今ノ御批評ハ、是ハ御意見デアリ
マシテ、色々見解ノ違ハゴザイマセウガ、歐米諸國
ニ於ケル實際ノ狀況ト致シマシテモ、是亦兩面カラ
シテ隨分賛成ノ意見モアリ、反對ノ意見モアル、現ニ
英國ノ如キモ戰爭中ニ於キマシテハ、一時保護ノ論
ガ非常ニ熾ニ起ツテ居リマシタヤウデスガ、戰爭
ガ濟ンダ後ニナリマス、又餘程狀況ガ變テ來テ
居ルヤウナコトデ、稅ヲ課スルニシテモ、所謂或ル程
度ニ限ル方ガ相當ダラウト云フヤウナ議論ナドモ、
勢力ヲ得テ居ルヤウニ考ヘラレルノデアリマス、一
概ニ保護ノミニ陷ルト云フコトハ、政府トシテハ餘
程考ヘナケレバナラスト思ツテ居リマス、現行ノ改正
案ガ微温的デアツテ、效果ガ有ルカ無イカト云フコ
トニ就テハ、是ハ政府トシテハ、此程度ニ改正スレバ
相當ニ效果ガアリ得ルモノデアアルト、斯ウ考ヘテ本
案ヲ提出シタ次第デアリマス

○委員長(指田義雄君) 鈴木君、一寸跡ノ質問ハ留
保サレテ——野田國務大臣ガ今本會議ニ行カレル都
合ガアルサウデスカラ、此際ニ正木サニ御質問ヲ
許シマスガ、ドウゾ成ベク要點ダケヲ……

○正木照藏君 只今審議サレテ居リマス兩案ノ根柢
ハ、私ガ申スマデモナク、製鐵ノ獎勵ト造船ノ獎勵ガ
二ツノ根柢ニナツテ居ル、ソレニ就キマシテハ此鐵
造船トニ就キマシテ、政府ノ大體ノ御見込ヲ承リタ
イ、斯ウ考ヘテ大臣ノ御出席ヲ煩シタノデアリマス、
第一遞信大臣ガ御出席ニナツタナラバ御尋致シマス
ガ、政府ハ造船獎勵ハ、最早此材料輸入ニ對スル輸入
稅ノ免除ヲ以テ打切ツテ、別ニ方法ハ御立テニナラス
ト云フ御考デアリマスカ

○國務大臣(野田卯太郎君) 今日ノ所ハ御尋ノ通り
デス

○正木照藏君 ソレデ如何ナモノデゴザイマセウ、
日本ノ造船ノ發達ガシテ行クデアリマセウカ、戰爭
ノ間ハ私ガ申スマデモナク非常ナル好景氣デ、大變
ナ發達ヲ致シテ居リマシタガ、平時ニ復シマスト廉
ク出來マスマイト思ヒマス、ソレニ就テノ御考ハド
ウデスカ

○國務大臣(野田卯太郎君) 其廉ク出來ルカ出來ヌ

カト云フ結論デスカ

○正木照藏君 平時ニナリマシテハ、英吉利アタリノ方ノ船ガ廉ク出來マスカラ 日本ノ造船ヲモウ少シ發達セシムルニ就テハ、モウ少シ厚イ保護ヲ要スル御考ハ持チマセスカ

○國務大臣(野田卯太郎君) ソレハ先刻御答シマシタガ、今日デハ持チマセス

○正木照藏君 政府ノ方デ其造船獎勵ハマア今ノ程度ニ置テ、造船獎勵ノ趣旨ヲ御立テニナル御趣意ハ何處ニ在ルカ、船ガ國內ニ於テ貴重デアルト云フ點カラ此獎勵法ヲ行フノデアルカ、又之ヲ日本ノ國ノ一ツノ工業トシテ——造船ヲ一ツノ工業トシテ、日本ノ國デ澤山船ヲ拵ヘテ、餘所ヘ成ベク賣出ス、既ニ今日ハ三百万噸ゴザイマシテ、國內ノ需要ニ餘ッテ居ル、年ニ三百万噸四十萬噸出來マス事ニナッテ居リマスガ、ソレダケ内地ニ要ラスト思ヒマス、サウスルト一ツノ工業ニナルト思ヒマス、此工業ヲ助長スルト云フ御趣意デアルカ、又日本ニ於テ五百万噸モ六百万噸モ拵ヘナケレバナラヌト云フ所カラ、獎勵ナサル御趣意デアリマスカ

○國務大臣(野田卯太郎君) 船舶ノ事ニ就キマシテハ、正木君ハ僕ヨリモ少シ能ク精通サレテ居ルト思フ、今日日本ノ船ハ三百万噸デアルガ、今日ノ場合船ノ多過ギルト云フコトモ事實デアリマス、然ルニ正木君ハ大ニ船ヲ造ッテ、外國ヘ賣出サナケレバナラヌト言ハレバ、日本ヨリ何所ニ此高イ船ノ捌場ガアリマスカ、倫敦ノ相場ハ日本ヨリ非常ニ廉イ、却テ日本ニ船ノ入用ガアッタナラバ、倫敦カラ仕入レル方ガ宜カラウト思フ、今日大ニ獎勵シテ日本ノ造船ヲ外國ニ賣ルトカ、賣ラヌトカ云フ事ハ問題ニナラヌノデス、ドウモ政府ガ三百圓掛ルモノヲ五百五十圓モ補助シテ、五百五十圓位ニ賣ラセタナラバ賣レルカモ知ラヌガ、サウ云フ事ハ毎々議會ニ於テ稅ガ重イトカ、豫算ハドウシテ實行スルカ、公債ハドウシテ募ルカト云フ場合ニ於テ、船ノミ之ヲ保護スルト云フコトハ不可能デス、又前段ニ御尋ガアリマシタ、船ガ必要ダカラ保護セニヤナラヌガ、ドウカト云フヤウナ語氣ガアリマシタガ、船ハ必要デス、民間デ持テルナラ

バ成タケ多イガ宜イ、併シ今日故ラニ保護シテ船ヲ多クナサウトハ、今日ノ場合思ッテ居リマセス、又サウ云フ時機ガ來タラ其時デアリマセウガ、今日ハサウ思ッテ居ラヌト云フコトヲ爰ニ申上ゲテ置キマス

○正木照藏君 御承知ノ通り、戰爭ノ爲ニ隨分日本ニモ造船業者ガ殖エテ居ル、今日ハ優勝劣敗大分潰レタ所モアリマスガ、色々造船ノ設備モ殖エ、之ニ當ノ仕事ヲ與ヘルト云フコトモ、矢張社會政策ノ一ツノ問題デアアルヤウニ思ハレル、故ニ造船業ヲ一ツノ工業ト見ルト云フ事ハ必ズシモ惡イコトハ無イト思フ、成程英吉利ノ船ハ廉イ、ケレドモ日本ニ於テモ保護ノ仕様ニ依ッテ、必シモ日本ノ船ヲ保護シテ賣レルヤウニナラヌトハ言ハレヌト思フ、ソレニ對スル政府ノ方針ハドウカト云フノデアアルガ、今遞信大臣ノ御説明デハ、今日賣レル所モ無イカラ、成行ニ任シテ置クト云フヤウナ御答デアリマスガ、左様ニ丁承シテ宜シイノデアリマスカ、サウスルト御考ガ少シ水臭クナリハセヌカト思フ、國策カラ言ヘバサウナ

ルガ、遞信省ハ御所管デアリマスカラ、モウ少シ御深切ナ御考モアルカト思ッテ承ルノデスガ、無イトアレバソレ迄デアリマスカ、何分ニモ抛ッテ置イテハ困ル、前ノ造船獎勵法ノ如キハ隨分厚イ保護ラシテ居ッ

タ、私ノ御尋スルノハ、日本ノ工業トシテ之ヲヤルト云フ事ニナレバ、大分保護ノ仕方モ違ハナケレバナラヌト云フコトヲ頭ニ持ッテ居ルカラ、此事ヲ御尋スルノデアリマス

○國務大臣(野田卯太郎君) 無愛想デゴザイマシタガ、決シテ等閑ニ附シテハ居リマセス、御承知ノ通り幸ニ昨年ノ議會デハ八艦隊ト云フモノガ、所謂海軍ノ補充ガ成立チマシタノデ、今日ノ造船所ハ固ヨリ十分トハ云ヘマセヌケレドモ、是ハ造船業ニ取ッテハ幸デアルト云フコトヲ思ッテ居リマス、小サナ造船所ハ其恩惠ヲ受ケルコトモ薄イガ、間接ニ受ケテ居ル、ソレデ今日鐵ノ免稅ノ案ヲ出シマシタガ、是ハ色々議論モゴザイマスケレドモ、是モ苦心ノ結果、何トカシテ積極的ノ保護ハ出來ヌケレドモ、造船所ハ維持セネバナラヌト云フ主義カラ、遞信省ハ大ニ努メテ

居ル次第デゴザイマス、此事モ御質問モゴザイマシタケレドモ、此場合申上ゲテ置キマセウガ、一昨年ノ二月ト思ヒマスガ、造船業者ニ私ノ官邸ニ來テ貰ヒマシテ、一昨年迄ハアノ造船法ガアッタデス、アレヲ繼續スルカセヌカト云フ話モアリマシタガ、之レヲ唯ダ空ノミデ宜イカラ繼續シテ呉レト云フ事デアッタ、其當時ハ丁度保護法ハアッタケレドモ、獎勵ハヤラナイ事ニナッテ居ッタガ、親シク協議シタ結果、ドウ

セ今日此法ガアッテモ、獎勵金ヲ取ルト云フコトハ、一般ノ趨勢カラ見テモ出來ナイ問題デアアルカラ、寧ろ其造船材料ヲ總テ免稅ニシテ呉レト云フ事ニ、其相談ガ歸著シタ譯デス、ソレニ基ヅイテ一昨年ノ何月デアリマシタカ、内閣ニ此論ヲ出ス前ニ大藏省ト屢々協議ラシマシテ、大藏省モ此取扱ニ餘程骨ヲ折ッテ遂ニ話ガ纏マリマシタカラ、内閣ニ出シテ、是ガ經濟調查會ノ問題ニナッテ、今日ノ成案ガ出來タト云フコトハ、大藏省カラ説明ノアッタ通りデアリマス、決シテ私共ハ——遞信省ハ造船ノ事ニ就テ、水臭イ冷淡ト云フ如キ考ヲ持ッテハ居リマセス、此上ニモ豫言ハ出來マセヌケレドモ、其必要ヲ感ズレバ、是ハ復タセニヤナラヌ時ガアルト思ヒマス、今デモ造船ノ方カラ云ウタナラバ、必要デアリマセウケレドモ、ヨリ必要ノ物ガ外ニアル以上ハ、唯ダ此造船々々トバカリ、誰ガ國政ヲ執ッテモ言ヘヌ問題デヤラウト思ヒマス、昨年ノ海軍ノ豫算ノ如キハ、一方カラ言ヘバ造船ノ補助ラシタ様ナモノデアアル、造船ト云フテモ商船デハナイケレドモ、造船所ハ確ニ恩惠ヲ受ケテ居ル、ソレデ此場合先ヅ此免稅ラシテ貰ヘバ、遞信省トシテハ、今日更ニ造船保護ノ案ヲ出シテスルト云フコトハ希望ハゴザイマスケレドモ、ドウモ如何セン國家全體ノ趨勢ヨリ是ハ不可能ト思ッテ居リマス、ドウカサウ御諒承下サレルヤウニ

○正木照藏君 成程八八艦隊ヲ拵ヘルニ就テハ、造船所ハ仕事ノ分前ニ預ルト云フコトモ承知シテ居リマス、之ニ就キ私ハ此間ノ吃水法案ノ委員會ノ時分ニ、海軍大臣ノ御出ヲ願ッテ御尋申上ゲタ通りデ、八八艦隊ヲ拵ヘマスレバ、之ニ附屬スル所ノ色々ノ船ガ必要ニナッテ來ル、是非附屬スル色々ノ船ガ入用

デアル、政府ハドウ云フ御考ヲ持ッテ居ルカ、海軍大臣トシテハ之ニ就テ其等ヲ獎勵シテ行クト云フ御考ハナイカト云フ事ヲ御尋シタ、海軍大臣ハソレハ成程尤ナ話デ、サウ云フ船ヲ拵ヘテ貰ハナケレバ困ルト云フ御答ガアツタ、併シ國務ノ緩急モアルトノ話デアルカラ、サウ無暗ニ望ム所ガ得ラレナイ、斯ウ云フ御答辯ガアリマシタ、是ハ本會ニ於テモ私ハ述ベマシタ通りニ、矢張特殊ノ船ト申スモノハ、ドウシテモ拵ヘテ置カナケレバナラヌモノト考ヘテ居ル、政府ニ於テモ其邊ニ就テ御考ガアルト申シマスレバ、ソレハソレデ宜シウゴザイマス、唯ダ前ノ御答ノ如ク是デ宜イノデアルカラト斯ウ申サレト、モウ少シ深ク御答ヲ得ナケレバナリマセヌガ、是ハ政府ニ於テモ其御考ガアルト云フ……

○國務大臣(野田卯太郎君) 特殊ノ事ハ別ニ考ヘテ居リマス、是ハ曩ニ豫算會ノ時ニ答ヘテ置キマシタカラ、今日ハ申上ゲマセヌ

○正木照藏君 ソレカラ造船ニ對シテ輕微ナガラモ獎勵ヲ行フコトニ致シマスレバ、ソレニ關シテ其造ツタ船トカ何カニ責任ヲ負ハス御考デアリマスカ、ソレハ如何デスカ

○國務大臣(野田卯太郎君) 何デスカ

○正木照藏君 國ガ此通りニ輕微ナガラモ材料ノ輸入税ヲ免除シテ、サウシテ造船ノ獎勵ヲスルト云フ事ニ就テハ、其出來上ツタ船ニ對シテ、何等カノ責任ヲ負ハス御考デアルカ、即チ國トシテハソレダケ其造船獎勵ノ爲メニ輸入税ヲ免ジテ、相當ナル取扱ヲ爲ス以上ハ、其出來上ツタ船或ハ船ノ持主等ニ就テ何等カノ責任ヲ負ハス御考デアルカ否カト云フ……

○國務大臣(野田卯太郎君) 今日迄ハ其事ハシテ居リマセヌ、一般ニ獎勵スルコトニシテ居リマス

○正木照藏君 今後此案ガ通過スルト、何等カ御考ガ有ルノカ無イノカト云フコトヲ御尋シタノデス

○國務大臣(野田卯太郎君) 今後篤ト考慮スル積リデス

○正木照藏君 先ヅ遞信大臣ニ對シテノ御尋ハ此位デ止メテ置キマス

○委員長(指田義雄君) 一寸伺ヒマスガ、遞信大臣

ニハ他ニハ質問ナサル御方ハゴザイマセヌカ
〔アリマセヌト呼フ者アリ〕

○鈴木錠藏君 私ハ鐵亞鉛等ノ方面ニハ關係ナクシテ、主ニ化學工業ノ方面ニ就テ御尋致シタイノデスガ、政府ハ前議會ニ於キマシテ、所謂本議會ニ曹達ト加里、亞鉛、鐵ニ關スル關稅改正ノ事ヲ約束サレタノデアリマシタガ、今回ハ曹達ト亞鉛ト鐵ダケノ關稅ノ改正案ガ爰ニ議題ニ上ツテ居リマスガ、加里ヲ除カレタノハドウ云フ理由デアルカ、一應御説明ヲ願フテ、更ニ之ニ就テ御質問ヲ申上ゲタイ

○神輿政府委員 加里ニ就キマシテハ、保護ノ爲メニ關稅ヲ此際改正セズトモ、相當ニ事業ハ成ッテ行ク計算ニナツテ居リマス、サウシテ加里ニ對シテ關稅ヲ高メルト云フ事ニナリマス、之ヲ使用致シマスル側ノ影響モ考慮シナケレバナラナイ、此二點カラ致シテ、此際加里ニハ稅ヲ高メルト云フ事ヲシナイト云フ考デ、此所ニハ提案シナカッタ次第デアリマス

○鈴木錠藏君 加里ト申シマシテモ大分種類モアリマスガ、先ヅ吾々ノ承知シテ居ル所ハ四ツアリマシテ、鹽化加里、是ハ肥料用ニナルモノデアリマス、硝酸加里、是ハ火藥ノ重要ナル原料ニナルモノデアリマス、鹽素酸加里、即チ鹽酸加里デ、燐寸藥用其他ノ用ニナルモノ、重クロム酸加里、即チ媒染劑、其他重要ナル酸化劑デアリマス、只今ノ御話ニ依リマスルト、二ツノ理由デアアルラシク思ハレル、即チ加里ハ保護稅ヲ課ケナケレバ、生産費ガ價ツテ詰リ成立ツモノデアルト云フコト、第二ハ加里ニ保護稅ヲ課シマスレバ、重要輸出品ナル所ノ燐寸ニ影響スル、斯ウ云フ二ツノ理由デアアルヤウニ伺ッテ居ルノデスガ、ソレガ即チ加里業者ノ立場カラ申シマスルト、大分政府ノ御意見ト違ッテ居ルヤウニ思ハレル、先ヅ第一ニ此加里ガ引合フ引合ハナイカト云フ問題ニ就テ、吾々ノ調査ニ依テ見マスルト云フコト、ドウモ此關稅ニ依テ保護サレルニ非ズンバ、此加里工業ハ持續スルコトガ困難デアラウト思ハレマス、マア論ヨリ證據、此加里ノ工業ニ從事シテ居リマシタ所ノ、北海道房總、相州等、此各海岸ニ於ケル各工場ト云フモノガ今日一ツモ煙ヲ揚ゲテ居ルモノガ無イ、又隨分戰爭

中ハ儲カッタ所ノ重要ナル工場モ、今日ハ殆ド瀕死ノ狀態デ、唯ダ從來ノ行掛カラシテ、積立金ヲ食ツタリ、色々蟬配當ナドヲシテヤツテ居リマスケレドモ、到底是ガ永續スベキモノデハナイ、伺ヘバ政府ハ各加里工場ニ向ツテ生産費ノ調査ヲ徴セラレテ、ソレデハ生産ガ相償フト云フヤウニ聞イテ居リマスケレドモ併シ加里工場主ハ何レモ異口同音ニ今日ノ窮況ヲ訴ヘテ居リマシタ、實際ニ於テハ中ノ政府ノ見ラレルヤウナモノデハナイ、若シ其調査ナルモノガドウ云フモノデアアルカ吾々ハ存ジマセヌケレドモ——アリトスルナラバ、所謂ソレハ餘リニ理想ニ過ギタ、實際ヲ離レタ問題デアツテ、事實上ニ於テ彼等ハ今日此生産費ヲ償フコトガ出來ナイ、若シ此儘デ置キマスナラバ、他日加里工業ナルモノハ、殆ド日本ニ全滅スル時ガ來ハシナイカト云フコトヲ私共ハ憂ヘルノデアリマス、ソレカラ第二ハ消費者ニ關スル御心配デアアルノデスガ、此消費者ト云フモノハ、即チ政府ノ見ラレル所ノ燐寸以外ノ物ニ就テ、消費者ト云フノデハナカラウト思フノデスガ、燐寸ニ影響スルト云フウテモ、其影響ト云フモノハ極ク微々タルモノデアツテ之ガ爲メニ燐寸業者ガ非常ナル影響ヲ被ルト云フコトハナイト云フコトヲ、數字ノ上カラ吾々ハ承知シテ居ル、殊ニ今日燐寸ノ輸出ガ衰頹シテ居ルト云フコトハ、決シテ其原料ノ高イ爲メニ衰頹シタノデハナクシテ、即チ需要先ナル所ノ南洋トカ、印度トカ支那、此所等ニ於ケル銀貨國ノ銀貨ガ低落シタ爲メニ、所謂購買力ガ低下シタト云フコトガ一大原因デアアルヤウニ思ハレル、故ニ此消費者ノ關係カラシテ、此加里ニ向ツテ保護關稅ヲ課ケルコトガ出來ナイト云フ議論ハ私ハ立ツマイト思フ、若シサウシタナラバ、他ノ物デモ悉ク消費者ニ對スル懸念カラシテ、課ケル譯ニ行カナクナツテ來ル、即チ私ハ此點ニ就テ、政府ハ消費者ト云フコトヲ絕對ニ考ヘルナラバ、到底關稅改正ノ時機ハ無カラウ、故ニ或程度マデハ消費者ニ對スル所ノ利益ヲ犧牲ニシテモ保護スルニ非ズンバ、關稅政策ハ立行カヌダラウト云フコトヲ申上ゲタノデ、即チ或ハ是ハ政府ト私共トノ見解ガ違フカ知レマセヌケレドモ、第一生産費ノ關係、第二消

費者ノ關係カラ見マシテ、私共ハドウシテモ今日加里ニ向ッテモ、相當ノ保護關稅ヲ課スル必要ガアルト思ヒマスガ、尙ホ之ニ就テ——或ハ是ハ關稅課長ニハ御無理カモ知レマセスカラ、農商務省ノ責任者カラ御説明ヲ煩シタイト存ジマス

○鶴見政府委員 鹽酸加里ノ關稅ノ事ニ就キマシテハ、今大藏省 政府委員カラ御答致シマシタ通りニ、大體農商務省モ同様ニ感ジテ居リマス、加里ニ付キマシテハ、前ノ特別議會ニ於テ兩院カラモ御希望ガアリマシタノデ、政府ト致シマシテハ、決シテ此問題ニ就テハ輕ニ視テ居ラスノデアリマス、慎重審議致シマシテ、幾度カ當業者ニモ來テ貰ッテ、種々會見ノ上ニ相談モ致シマシタ、結局要スルニ今日ノ加里業者ハ隨分其營業ハ困難デハアラウガ、ドウカ斯ウカ關稅ヲ上ゲナクトモ其事業ハヤッテ行ケナイコトモナカラウ、而シテ一面此關稅ヲ引上ゲルコトニ依テ、燐寸業者ガ非常ナ打撃ヲ受ケル、是ハ只今鈴木君ヨリ支那ニ於ケル狀態ヲ御話ニナリマシタガ、併ナガラ我國ノ燐寸ノ輸出狀況ハ、獨リ銀貨國バカリデナク、戰時中ニ殆ド三千万圓ノ輸出ガ殖ヘマシテ、亞米利加或ハ進ンデハ英吉利迄モ出テ居ルヤウナ次第デアリマス、今日ノ狀態デハ殆ド歐洲ノ大陸ヲ除イテハ、世界ノ各地ニ輸出ヲ見ル様ニナッテ居ッタノデアリマス、不幸平和克復後ニハ、列國ノ競争力激シクナッテ參リマシタ爲メニ、大分打撃ヲ受ケマシテ、今日ハ燐寸業者ハ非常ナ打撃ヲ被ッテ居ルノデアリマス、今日デハ燐寸業者ハ少シデモ其生産費ガ高マルト云フコトニ依テ、打撃ヲ受ケルコトヲ非常ニ考慮致シテ居リマス、御承知ノ通り燐寸ニ對シテハ、政府ハ此所殆ド二三十年ノ間、非常ナ保護ノ途ヲ盡シテ居ッタノデアリマス、出來得ルダケ燐寸業ト云フモノヲ保護シマシテ、輸出ヲ盛ニシタイト云フ考カラシテ、常ニ其障礙トナルコトハ避ケテ居ッタノデアリマス、ソレ故ニ今申上ゲタ通り其效果ガ現ハレテ——戰時中外國ノ競争ガ無クナッテ關係モアリマセウケレドモ、非常ナ輸出額ニ達シタヤウナ次第デゴザイマス、ソレガ今日列國ノ競争ニ於テ、或ハ今御話ニナッタ通り、銀貨ノ下落ニ依テ、銀貨國ニ對スル輸出ガ

困難ニナッタリ、又是迄出テ居ラナカッタ所ノ亞米利加等ニ於テハ、列國ノ競争ノ爲メニ、非常ニ困難ヲシテ居ルサウデゴザイマスカラ、出來ルダケソレノ生産費ヲ高メルト云フコトハ避ケタイト云フノガ、當局ノ趣旨デアリマス、大體ソレヲ採用スルノガ宜イカドウカ、或ハ又鹽酸加里モ燐寸業ニ打撃ヲ與ヘテモ構ハナイ、ソレハ上ゲテモ宜イデヤナイカト云フコトニナルト、是ハ御見解ノ相違デアリマスカラ、幾ラ申上ゲテモ致方ガナイ事デアリマスガ、大體政府ノ見ル所ハ、今申上ゲタ様ナ考カラ、鹽酸加里業者ハ困難デハアラウガ、ドウカ斯ウカヤッテ行ケル、サウシテ一面前ニ大藏省ノ政府委員カラ御答致シマシタ通り、關稅ノ改正ハ根本的ニ近クヤラナケレバナラヌノデアリマスカラ、其際ニ總テノ產業關係ヲ見テ、適當ニ之ヲ安排シテ行クノガ適當デアラウ、今斯ウ云フ一方ニ困難ナ狀況ヲ呈セントシツ、アルモノヲ無理ニ上ゲルコト云フコトハ如何デアラウカ、是ハ餘程產業上考ヘナケレバナラヌト云フ見地カラ、斯ウ云フ斷定ヲ致シタ次第デアリマス

○鈴木錠藏君 只今政府ノ見ル所ト私共ノ考ヘル所ハ、ドウモ一致シマセスケレドモ、是ヨリ申上ゲルコトハ、數字ニ涉ッテ餘程御互ニ議論ヲ圖ハセナケレバナリマセスカラ、是ハ政府ノ御意見ニハ一致スルコトガ出來ナイト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、次ニ伺ッテ置キタイノハ、今回亞鉛ガ上リマシタガ、此亞鉛ノ關稅ガ上ッタト云フコトハ、燐寸ニハ影響ナイト云フ御見込デスカ、或ハ是モ多少ハ燐寸ニ對シテ影響ガアルト云フ御認メデアリマセウカ

○鶴見政府委員 亞鉛ノ塊錠其他厚イ板等ニ對シテハ、關稅引上ヲ致シマシタガ、其他ノ薄イ板ニナリマス、燐寸ノ包裝等ニナルヤウナモノニ對シテハ、關稅ヲ引上ゲヌコトニ決定ヲ致シテ居リマス、隨テ今回ノ關稅改正ニ依テモ、燐寸業者ニハ影響ハ與ヘナイ考デアリマス

○鈴木錠藏君 此加里ガ產業上及軍事上重要品デアルト云フコトハ申スマデモナイノデ、歐洲大戰勃發ノ當時ニ於キマシテ、鹽酸加里ノ輸入ガ杜絶致シマシタ時ニ、農商務省ハ全國ニ於ケル主ナル當業者ヲ

御呼寄ニナリマシテ、陸海軍及內務ノ當局者モ亦御參列ノ上デ、國家ガ需要スル數量ト云フモノハ、少クモ一萬噸以上要ルカラ、ドウシテモ鹽酸加里ヲ永久ニ内地ニ於テ自給スル方法ヲ立テタイ、若シ戰後ニ於テ外國カラ輸入デモアッテ脅威ヲ受ケル場合ニハ、此事業ノ保護トシテ、政府ハ關稅定率ヲ增加スルト云フコトヲ言ハレタト云フコトガ、當業者間ノ記錄ニ殘ッテ居リマスガ、果シテ斯ウ云フコトヲ當時ノ當局者ガ申サレタカドウカ伺ヒタイ

○鶴見政府委員 當時サウ云フコトヲ言ヒマシタカドウカト云フコトハ、今日ハ其當時ノ人ガ居リマセヌ爲メニ、茲ニ明言スルコトハ出來マセヌガ、併ナガラ戰爭中ニ御承知ノ通り、出來ルダケ自給自足ノ方法ヲ執リ、又我國ノ產業ヲ此際勃興セシメテ、是迄出來ナカッタ物モ、出來ルダケ我國デ出來ルヤウニ致サウト云フ政策ヲ採ッテ事ハ、恐クハ獨リ此鹽酸加里バカリデナカッタラウト思フノデアリマス、隨テ今私ガ明言申上ゲル事ハ出來マセヌガ、當局ニ於テハ、或ハサウ云フ方針ヲ持ッテ居ッタカモ知レマセヌ、併ナガラ私ガ前カラ申述ベル通り、鹽酸加里ハ今日ノ狀況ニ於テハ、ドウカ斯ウカ採算ガ取レルト云フ見込デアリマシタ、且又是モ永久ニ此儘ニシテ置イテ、如何ナル打撃ヲ受ケテモ、ソレニ對シテ考慮スル考ガ無イト云フヤウナ感ジハ持ッテ居ラスノデ、今申上ゲタ通り、早晚根本的ノ調査ヲシテ改正スベキモノハ、其時改正シヤウト云フ考ニナッテ居ルノデアリマス、此鹽酸加里ニ對シテ惡影響ヲ與ヘテモ、一向構ハヌト云フ感ジハ毛頭持ッテ居リマセヌ

○鈴木錠藏君 加里ニ就テハ質問ハソレダケニ致シマシテ苛性曹達ニ就テ伺ヒタイ、今度ハ苛性曹達ニモ一圓五十錢ノ重量稅ヲ課シテゴザイマスガ、是ハモウ少シ課サナケレバ目的ヲ達シナイト思ヒマスガ併シ課セザルヨリモ課スル方ガ保護ノ途ニハ適ッテ居リマスカラ、此點ニハ異議アリマセヌガ、併シ苛性曹達課稅ノ結果、影響ヲ被ルモノハ何デアルカト云フト、之ヲ原料トシテ生産スルモノノ、詰リ加里ニ於ケル燐寸ノ如キ物、即チ石炭酸、石鹼、グリセリン「スチアリン」、オイレン、ダイナマイト、パラフ

インワクス、斯ウ云フ物ハ苛性曹達ヲ大分原料トシテ製造シテ居リマス、其「スチアリン」、「オイレン」、「バラフィンワクス」ハ今度相當ニ課税ニナツテ居リマスガ、肝腎ノ「グリセリン」、「ダイナマイト」此二ツノ物ガ、此中カラ省カレテ居リマス、是ハドウ云フ風ナ御考デアルカ、「グリセリン」ハ政府ニ於テモ、既ニ藥品ノ獎勵法ノ中ニゴザイマシテ、政府ハ其缺損ヲ填補シテ、更ニ資本ニ對スル八朱ノ保護サヘ與ヘテ居ル、前期ニ於テハ百三十萬圓ノ缺損ヲ補ツテ居リマス、半期デ百三十萬圓デアル、一箇年ニ於テ二百六十萬圓程ノ缺損ヲ填補シテマデモ此「グリセリン」工業ニ對シテ保護シテ居ルノデアリマス、今日「グリセリン」ノ輸入税ニ就テ何等考慮ヲ拂ハナカッタト云フハ、私ハ政府ニ於テ御見落シニナツタノデハナイカト思ヒマス、即チ丁度染料ニ付テ三割五分ノ保護税ヲ課セラレ、一方ニ於テ彼ノ日本染料會社ニ對シテハ、矢張「グリセリン」工業ノ會社ト同様ニ、八朱ノ配當補償ヲ爲シテ居ル、一方ニ於テ關稅ニ依テ保護シ、一方ニハ其會社ヲ補給シテ居ルノデアリマスガ、「グリセリン」ニ對シテハ、一方ニ於テ百三十萬圓モ半期ニ重大ナル國家ガ負擔ヲシナガラ、其外來品ニ向ツテハ保護關稅ヲ課セナイト云フ事ニナルト、「グリセリン」工業ハ成立タナクナルト思フ、看スミ大ナル損害ヲ年々國家ガ負担ヲ行カナケレバナラス、是ハ今日「グリセリン」工業ノ會社ニ取ツテハ、假令關稅ニ依テ保護サレズ、或ハ補給ニ依テ保護サレバ、會社ハソレデ宜イカモ知レマセヌケレドモ、併ナガラ之ガ及ボス影響ハ中ニソシナモノデハナイト思フ、詰リ「グリセリン」工業ガ政府ノ補給ニ依ラズシテ獨立ガ出來ルヤウニナレバ、其影響ハ即チ「グリセリン」ハ脂肪工業デアリマシテ、最モ之ガ原料トナル所ノ石鹼ノ廢液ト云フモノガ使ハレテ居ル、サウスルト石鹼業者モ、一方ニ於テ原料ナル苛性曹達ガ關稅ニ依テ保護サレテモ、石鹼カラ生ズル副產物、即チ廢液ト云フモノガ「グリセリン」ノ關稅法ニ依テ「グリセリン」製造ニ使ハレルト云フコトニナルト一舉兩得ニナル、即チ國家ガ「グリセリン」ヲ保護スル目的ニ對シテ首尾一貫スルト思ヒマス、此「グリセリン」ヲ

今回關稅ノ中カラ除カレタコトニ就テハ、ドウ云フ御考デアッタカ、先般來伺フ所デハ、矢張「グリセリン」ハ此中ニ加ハルヤウニ承知シテ居リマシタガ、御手落デアッタノカ、或ハ次マデ研究中デアルノカ、必要ガ無イト云フノカ、此三點ヲ承リタイ

○神輿政府委員 只今「グリセリン」ノ御質問ニ就テハ、午前二一寸星島君ノ御質問ニ對シマシテ御答ヲ致シテ置キマシタ、鈴木君ハ御出ニナラナカッタカト思ヒマスカラ、重ネテ申上ゲマス、「グリセリン」ノ事業ハ御承知ノ通り、脂ヲ分解シテ「スチアリン」トカ、「オイレン」トカ、其他ノ脂肪酸類ガ取レマス同時ニ「グリセリン」モ取レルノデアリマス、「グリセリン」ノ特有ハ、原料ノ中ノ僅カ百斤ニ對シテ、七斤半カラソコラデアリマシテ、大部分ハ「スチアリン」トカ其他ノ脂デ、ソレガ大多數ヲ占メルノデアリマス、ソレデ今同ハ此產業ノ經濟上ノ計算カラ申シマスレバ、主ナル分量ヲ占メテ居ル所ノ其「スチアリン」トカ、「オイレン」トカ、其他ノ物ヲ保護致シマシテ「グリセリン」ニ就テハ、モウ少シ「グリセリン」工業ノ狀況ヲ見タ上デ稅率ヲ確定致シタイ、斯ウ云フ意味デ延バシタノデアリマス、其影響ハト云フ「グリセリン」ノ影響ハ、御承知ノ通り「ダイナマイト」ニ及ンデ來マス、サウシテ銅トカ、石炭トカ、其他鑛山業ガ甚ダ悲況ノ際ニ、斯ウ云フモノニ影響ヲ及ボスヤウナコトハ成ベク此際避ケタイ、而モ「グリセリン」ノ事業ハ此「グリセリン」ニ對シテ稅ヲ課ケタラ、ソレデ直グ成立ツカドウカト云フコトニナルト、餘程高イ稅ヲ課ケマセスト、今日「グリセリン」會社ノ計算等カラ見マスト、餘程是ハ高率ヲ要スルコトナル、其點ニ就テ餘程考慮ヲ拂ハナケレバナラスト云フ關係ガ起リマス、先刻モ御話ガアリマシタ通り「グリセリン」會社ノ成績ハ甚ダ惡クゴザイマシテ、半期ノ缺損ガ資本總額ノ半額近クモアルト云フヤウナ狀態デアリマスカラ、其探算ハ此際ニ於テ税金ヲ直シテ、サウシテ獨立ガ出來ルト云フコトニシヤウト云フニハ、政府ノ計算致シマシタ所デハ、餘程高イ稅率ヲ要スルコトニナルノデス、其等ノ關係ガアリマシタノデ、「スチアリン」トカ、「オイレン」ト

カ、サウ云フ方面カラ側面カラシテ此產業ヲ助成シテ行ク、サウ致シマスレバ、大體ニ於テ損失ノ大部分ハ補フコトガ出來ルデアラウ、尙ホ「グリセリン」工業ニ就キマシテ、其當務者ニ於テモ種々今研究ヲ重ネテ居リマス、又技術上ノ關係ニ於テモ、今ノ狀態ヨリハマダ改良ガ出來ルダラウト考ヘテ居リマス、其等ノ模様ヲ見マシタラ、甚シク高率デナイ點ニ於テ、相當ノ稅率ヲ見出シ得ルコトニナルダラウ、ソレモウ少シ待ツテ置キタイ、而モ此保護會社ノ方モ今後五年間許リ續キマス、今之ヲバ此際ニ於テ動かサズトモ、サウ云フ事情モアリマスノデ、此事業ガ成立タナクナルト云フ迄ノ事ハ、無カラウデハナイカト考ヘテ居リマス、尙ホ石鹼ノ廢液ノ方ニ就キマシテハ、石鹼ノ事業ハ主トシテ石鹼ノ方ノ事業デ成立スルカ否カガ決マルノデアリマシテ、「グリセリン」ニ依テ石鹼ガ成立ツトカ、或ハ「グリセリン」ノ廢液ハ今棄テテ居リマスガ、其等ヲ漸ク成立タセル程度ニ於テ之ヲ保護致シマシタ所デ、之ニ依テ餘程ノ利益デモ得テ來ルノデナケレバ、其「グリセリン」ノ廢液ヲ取ツテ「グリセリン」ヲ拵ヘタカラト云ウテ、石鹼工業ノ方ノ補ニシヤウトスルニハ、餘程其方面カラ利益デモ上ル計算ガ立タナケレバ、サウ云フ事ニハナラスノデアリマス、「グリセリン」ト云フモノハ、主トシテ石鹼工業ノ發達如何ニ依ルコトデアル、「グリセリン」保護ノ方面ヨリ、寧ロ石鹼業自體ノ盛衰ト云フ方面カラ考ヘナケレバナラスト思ヒマス、サウスルト此際其爲メニ「グリセリン」ノ方ノ稅ヲ引上ゲルト云フ事ハ、他ノ一面デ前申シマシタ關係ガゴザイマスカラシテ、今暫ク見合シテ置キタイ、斯ウ云フ意味デ此際ハ之ヲ除イテ置キマシタ、尤モ是ハ今申シマシタヤウデアリマスカラ、「グリセリン」ヲ抛ツテ置イタラ、ソレデ宜イト云フノデモナク、狀況ヲ見テ現在ノ關稅定率ハ、早晚大ニ改正ヲ要スルモノデアリマスカラ、其等ノ場合ニ於テ一般的ニヤツテモ宜イデナイカ、斯ウ云フ意味デ此際提案シナカッタ次第デアリマス

○委員長(指田義雄君) 鈴木君ハ此程度デ後ハ保留サレルト云フ——農商務大臣ガ出席デアリマスガ、

矢野君、農商務大臣ニ御質問ガアリマスカ

○矢野丑乙君 農商務大臣ガ御見エデアリマスカラ御尋致シマスガ、先程カラ政府委員ノ御説明ニ依リマシテ、本改正案ハ化學工業ニ關係ガアリマスガ、大部分ハ製鐵保護ト云フコトカラ起テ居ルヤウデアリマス、又其改正案ノ中ニ現ハレタル事柄ヲ見テモ、サウ云フ風ニ見ルノデアリマス、サウシテ何レ完全ナ調査ヲ遂ゲテ更メテ一二年ノ近イ中ニ出スト云フ事デアリマス、シテ見マスルト此改正案ノ骨子ハ、大部分製鐵ノ保護カラ來テ居ルト思ヒマス、サウシマスルト此改正案ノ骨子ハ、製鐵保護、サウシテ銑鐵ニハ觸レナイ、鋼レナイト云フノデアリマセヌガ、仕方ガナイト云フコトデアリマス、鐵ヲ一割五分ニ上ゲルト云フコトデスガ、一割五分デ製鐵ノ保護ガ出來ルカドウカ、私共製鐵保護ハ極力賛成シマスガ、關稅デ製鐵ヲ保護スルト云フコトニ就テハ、少シク異論ガアル、假リニ關稅保護デ製鐵保護ノ目的ヲ達シヤウトシテモ、果シテ一割五分デ行ケルモノカドウカ、是ハ餘リ少ナイト思ヒマス、何ガ爲メニ一割五分ト云フモノヲ案出シタルノデアアルカ、此目的ヲ之デ達スルト云フ御考デアアルカト云フコト、ソレカラ軍事上産業上必要ナ製鐵ヲ保護シナケレバナラスト云フガ、一割五分デ目的ヲ達スルトハ出來ス、此外ニ製鐵保護ト云フコトニ就テノ何等カノ御考ガアリマスカ、本改正案ガ製鐵保護デアルト云フ以上ハ、製鐵保護ニ對スル、根本的ノ農商務大臣ノ御考ヲ聽イテ置ク必要ガアル、數字ニ涉ルヤウナ細カイ事ヲ御尋スルノデアリマセヌカラ、根本ノ御趣意ヲ此際能ク諒解スルヤウニ御説明ヲ願ヒマス

○國務大臣(男爵山本達雄君) 此製鐵保護ニ就テハ、政府ニ於テモ餘程苦シダ問題デアリマシテ、單ニ製鐵ヲ保護スルト云フコトニナリマス、又今度製鐵原料トスル機械類、又一方ニ於テハ内ニ於ケル造船業、色々ナ事ニ就テ、一方ニ宜ケレバ一方ニ惡イト云フガ如キ理由ガ、ドウモ一致シナイヤウナ事ガアリマシテ、ソレヲ彼方此方ヲ見廻シテ適當ニスルニハ、ドウシタル宜カラウカ、ソコデ昨年種々ノ方面ヨリ成立チマスル經濟調査會ニ於テ——其中ニ鐵

山、製鐵業、造船業、種々ナル經歷ヲ持ッテ居ル人々、色々研究調査ヲ致シマシテソレデ成案ガ出來マシタ、ソレニ基ヅキマシテ、多少ノ取捨ヲ致シテ出シタ案デアリマシテ、先づ此位ノ程度ニ於テ致シタラバ、製鐵業モ追々自給自足ノ進ム段階トシテ、先づ此位ナ所ガ關稅トシテハ適當デナイカ、併シ一方又造船ナゾニ要リマスル材料ニ於テハ、又後ニ鐵ヲ使フトキニ——一割五分位ナラ適當デアラウカト云フ事デ爲シタル次第デアリマス、唯ダ鐵保護一方ニ行クト聊カ物足りナイ事ガ起ルダラウト思ヒマスガ、サウ云フヤウナ方面カラ種々考慮ヲ致シマシタ結果、サウ云フ風ニナッタ次第デアリマス、隨テ或程度迄ハ、矢張鐵ノ事業ヲ保護スル上ニ就テヤルト云フ考デアリマス

○矢野丑乙君 一割五分ト云フ關稅ノ御方針ハ大體判リマシタ、併シ製鐵保護ト云フコトニナリマス、其目的ヲ達スルトスレバ、製鐵事業ヲ盛ンシナケレバナラヌケレドモ、今日ノ場合引合ハナイカラ盛ンニナラナイ、是ハ六ヶシイ事ト考ヘマスガ、此銑鐵ノ關稅ヲ上ゲルコトガ出來ナイト云フコトニナッテ居リマス、ソレモ諒ト致シマスガ、サウシマスルト、製鐵保護ノ目的ヲ達スル爲メニ、内地ニアル鐵ノ鑛石ヲ使フ様ナ事、銑鐵ニ日本デ造ルト云フヤウナ方針ヲ執ル見込ハ無イ、幸ニ平時デアレバ支那邊リニ相當ニアル、其鑛石ヲ取ッテ來ルカ、若クハソレデ鋼ヲ造ルト云フ御方針デアルト考ヘマスカラ、日本ノ鑛石デ鐵ヲ造ルト云フコトハ、是ハ日本人ノ製鐵事業トシテハ、斷念セザルヲ得ナイト云フ御見込ミデアリマセウカ、日本ノ鑛石デ鐵ヲ造ルニ就テ、ドウ云フ御見解ヲ持ッテ居ラレマスカ、ソレヲ簡單ニ伺ヒマス

○國務大臣(男爵山本達雄君) 今日日本ノ鐵材料ニ於テハ、御承知ノ通り支那ノ銑鐵モ大分盛ッテ居リマス、又此鐵ガ來ナケレバ、十分ナル需要ヲ充タスニ足ラナイコトニナッテ居リマス、ソコデアリマスルカラシテ、之ヲ全然喰止メルト云フコトニ方針ヲ定メルト云フコトハ、餘程考慮シナケレバナラヌコトデアリマスルカラシテ、是ニハ餘リニ響ノ行カヌヤウナ

コトト同時ニ、又内地ニ於テハ原料モ相當ニアルノデアリマスカラシテ、内地、朝鮮——日本ノ版圖内ニ於テ、相當ナル鐵ノ材料ガアルノデアリマスカラシテ、ソレモ追々獎勵シテ、サウシテ爰ニ成立ツト云フ方ニ行カナケレバナラヌ、絶對ニ日本ノ内バカリニ依ルト云フコトニナリマス、又此稅ニ就テ餘程寬嚴ノ區別ガアリマスケレドモ、先づ今申ス所ノ原料ヲ、支那邊リカラ仰ガナケレバナラヌヤウナル關係ヲ持ッテ居リマスカラシテ、ソレニ就テ餘リ又妨ノナイヤウナ、ソレト同時ニ又内ニ於キマシテモ追々之ガ充實サレテ、サウシテ行クヤウニト云フ間ヲ行クノデアリマスカラシテ、洵ニ一方カラ論ズルト云フト、利キガ乏シイヤウナルコトニナルノデアリマスガ、先づ此位ナルモノガ適當デハナイカト云フ方針デ、斯ク改正ヲ見タ所以デアリマス

○矢野丑乙君 鐵ノコトハソレデ了解シマシタガ、次ニ一般ノ工業ノ基礎ハ機械ニ在ルト云フコトハ申スマデモナイコトデ、一方ニ稅ヲ保護ノ爲メニ原料ガ一割五分上ルト云フコトハ、機械製造業者モ國家ノ爲メニ忍バザルヲ得スト云フコトハ、私モ了承シテ居リマス、併シナガラ原料ガ一割五分上ル、ソレニ對シテ外國カラ入ッテ來ル所ノ、鐵及機械、即チ機械製造業者ノ競争ト云フモノガ同ジク一割五分ノ課稅ガ増スト云フコトデ、權衡ガ取レテ居ルヤウニ考ヘラレマスガ、併シナガラ原料ノ一割五分ト機械ノ一割五分ハ、同一ノモノデハナカラウト思フ、製品ハ——サウ致シマススト云フト此内地ノ機械製造業者ハ、輸出ト云フ事ハ假リニ措キマシテ、内地ニ於テ機械ヲ賣ルト云フ事ニ於テ、外國カラ壓迫ヲ受ケルダラウト考ヘル、一割五分ガ二割五分モ課ケレバ、權衡ガ得ラレマセウガ、原料ノ一割五分製品ノ一割五分デハ、甚ダ困難ノ位置ニ立ツヤウナコトニナル、即チ原料ノ一割五分ハ丁承致シマシタ、之ガ動カスト假定致シマスレバ、機械ノ一割五分ト云フ課稅ハ少イ、之ガ爲メニ機械製造業者ガ非常ニ迷惑スルコトガ無カラウカ、其邊ニ就テハドウ云フ御見解デアリマセウカ

○國務大臣(山本達雄君) 大分御尋ガ細カク相成リ

マスルガ、何シロスノ如キ事ハ比較ニ於テ起ルコト
デアリマシテ、初メ申シマスル通りニ、此鐵ヲ持ッテ
居ル鑛山師ト、又ソレヲ原料トシテ造ル機械師ト、又
之ヲ使フ者トハ、大ニ利害ノ一致シナイ所ガアリマ
ス、ソコデアリマスカラシテ、其經驗ノ上ニ就テ之ヲ
申シタナラバ、此方ノ害ガドノ位アルカ、其害ハ忍ベ
ルカ、又此方ニ斯ウスレバ、此方ニハ利ニナルガ此方
ニ不利ニナル、其不利ハ國家ハ忍ンデモスベキモノ
カドウカ、斯ウ云フ事ノ其程度ヲ決メマスルノガ、非
常ニ困難スル譯デアリマス、ソコデアリマスル故ニ、
是ハ政府獨リ決メマスルバカリデハアリマセズ、經
濟調査會ニ於キマシテモ、色々其道ニ堪能ナル人ノ
十分ナル研究研究ヲ求メタノデアリマス、ソレデシ
テ根拠ト致シマシテ、今日ノ此稅ガ出テ來タノデ
アリマス、大體ニ於テハサウナツテ居リマス、ナツテ居
リマスガ、倍テ原料ノ鐵ニ於テ一割五分、機械ト云フ
モノハ精巧ナモノデアツテ、ソレニ就テ一割五分ト云
フコトニナルト、今度機械ヲ造ル者ハ、所謂少ナ
シハサウ云フ事モアルカモ知レマセズガ、ソレ
ハ矢張私カラ大體ノ方針ヲ申述ベルヨリモ、政府委
員ノ其方ノ研究サレタ方ノ者ニ答ヘサセタ方ガ、却
テ適當ナル御答ガ出來ルダラウト思ヒマス

料ヲ買フ、ソレガ關稅ノ手續ヲシテ置クト云フコト
ニ先ヅ過ギナイトシナクテハナラヌ、シテ見マスル
ト機械ヲ外國ニ輸出スル場合ニ、原料ガ幾ラ使ッ
タ云フヤウナ事ハ甚ダ六ヶシイ爲メニ、手續ヲドウモ
省略シテ、僅許リノ戻稅ヲ貰フ爲メニ、非常ナ繁雜ナ
手續ヲシテ、稅關ト喧嘩スルヤウナ事ハ、ドウモナ
ラヌト抛ッテシマウト云フヤウナコトガ今日ハ往々
アル、スルト是ハ重大ナ問題デアリマスカラ、農商務
大臣トシテ無論能ク御研究ニナツテ居ルト思フ、日本
ノ機械ノ外國ニ輸出スル所ノ物デ殆ドドウナルダラ
ウト云フコトハ、其邊ニ就テ御考慮ヲ爲サツタ思ヒ
マスガ、其邊ヲ御尋致シマス

タコト、思フ、併シソレハ意見ノ差異ニナリマスカ
ラ申上マセズガ、更ニ伺ヒタイノハ石炭酸デアリマ
ス、四十二議會ニ於テ私ガ石炭酸ノ課稅ニ就テ御尋
シタラ、內務省ノ野田君デアリマシタカ、貿易上ノ關
係カラ反對サレマシタガ、今日ニ於テハ大分御意見
ガ違ッテ來テ居ルヤウニ思ハレル、即チ貿易上ニ要ス
ル石炭酸ハ極ク微々タルモノデ、其大半ハ工業上ニ
使ハレルト云フコトガ、今日ハ御諒解ニナツテ居ルヤ
ウニ承知致シマスガ、果シテ前ト同ジヤウナ考ヲ持ッ
テ居ラレマスカ、ソレヲ承リタイト思ヒマス

○矢野丑乙君 ソレデハソレハ後トニ譲リマス、モ
ウ少シ——私ハ能ク知リマセズガ、此經濟財政調査
會ト云フ方ノ者ハ、遺憾ナガラ造船業者トカ、製鐵業
者ト云フ様ナ者ノ立派ナ人ヲ寄セテヤツテ居ッテ、ド
ウモ機械製造業者ヲ代表スルヤウナ人ガ甚ダ數ガ少
イ、隨テ此調査會ノ意見ナルモノハ、製鐵トカ造船ト
カ云フコトニ重キヲ置イテ、機械ノ製造者ノ利害ヲ
餘程閑却シテ居ルト云フ事ニ聞イテ居リマス、其不
平ヲ今日此所デ申上ゲル譯デハナイガ、其結果トシ
マシテ此外國ハ機械ガ出ル——日本ノ機械ヲ外國ヘ
輸出スル場合ニハ、第九條ニ依リマシテ、原料ノ輸入
稅ヲ一時保留シテ置ク、或ハ跡カラ戻スト云フコト
ガアリマスガ、大體ニ於テ一定不變ノ或ル機械ヲ造
ルナラバソレハ宜イデセウ、併ナガラ機械ト云フモ
ノハ種々雜多ナ物ガアル、初メ原料ハ鐵デアリマス
ガ、鐵屋カラ矢張買フノデ、直接ニ機械製造業者ガ原

○委員長(指田義雄君) 農商務大臣ハ貴族院ノ方ヘ
行カレナケレバナラスサウデ、後カラ直グ來ラレル
サウデス、農商務大臣ニ對スル質問ハ、此程度ニ於テ
置イテ、鈴木君ノ質問ヲ繼續致シマス

○委員長(指田義雄君) 野田技師ガ技術上ノ説明ヲ
スルト云フコトデアリマスカラ、政府委員デハアリ
マセズガ、之ヲ許スコトニ致シマス

○矢野丑乙君 ソレデハハ是デ切リマス
行カレナケレバナラスサウデ、後カラ直グ來ラレル
サウデス、農商務大臣ニ對スル質問ハ、此程度ニ於テ
置イテ、鈴木君ノ質問ヲ繼續致シマス

○鈴木錠藏君 ソレデハハ更ニ御尋致シマスガ、グリ
スリン「原料トシテ製造スル」ダイナマイト「ニ就
テノ課稅ハ、鑛山業者ノ影響アリト云フコトヲ伺ヒ
マシタガ、是亦實際問題カラ申シマスレバ、其影響ト
云フモノハ頗ル微々タルモノデ、此數字ヲ一寸調べ
テ見マス、僅ニ千分ノ一以內位ニシカ過ギナイノ
デ、詰リ鑛山業者ノ生産費中千分ノ一位キニ過ギナ
イノデ、決シテ此點ニ就テ政府ノ案ゼラル、ヤウナ
コトハナカラウト思フ、既ニ政府部內ニ於テモ、一方
ニ於テハ之ニ對シテ賛成ノ意ヲ表セラレ、一方ニ於
テハ反對ノ意ヲ表セラレ賛否相半バスルト云フコト
ヲ承リマシタガ、此點ニ就テモ十分御考慮ヲ爲サレ

○內務省技師野田忠廣君 只今鈴木君カラ石炭酸ニ
就テノ御尋ガアリマシタ、成程前々議會デアリマシ
タカ、之ニ對シテ內務省ノ意見ヲ申上ゲタ記憶ガア
リマス、其當時私ノ申述マシタノハ、當時ノ保護會社
デアリマシタ、內國製藥株式會社ノ生産費ノ數字ヲ、
祕密ヲ御要求シテ申上タノデアリマス、其當時ニ於
テハ、中々三割ヤ四割ノ課稅デハ引合ヒマセズノデ、
確カ其當時ノ計算デハ、十割或ハ十割以上デナケレ
バ引合フ稅度ニ至ラヌノデアリマシタ、其課稅ノ程
度ノ非常ニ高イノト、一面內務省ノ側デモ一番多ク
用キルノハ、各市町村デ傳染病流行ノ際ニ用キル量
ガ、比較的多イノデアリマス、其二ツノ理由ヲ以テ申
述ベタノデアリマス、其後實際ノ製造ニ當ッテ居リマ
ス他ノ工場等ノ狀況ヲ調べテ見マス、例ヘバ三井

○國務大臣(男爵山本達雄君) ソレハ今申シマスル
如ク、ソレハ政府委員ガアリマシテ、サウシテ調べ
タコトデアリマス、其邊ノ事ハ——問題トシテ今日
マデ聞イテ居リマセズ

○委員長(指田義雄君) 矢野君、一寸御相談デアリ
マスガ、國務大臣ノ時間ノ都合ガアリマスカラ、成ベ
ク政府ノ根本政策ノ點デケラ、國務大臣ヨリ御問ニ
ナルヤウニシタイト思ヒマス

○委員長(指田義雄君) 野田技師ガ技術上ノ説明ヲ
スルト云フコトデアリマスカラ、政府委員デハアリ
マセズガ、之ヲ許スコトニ致シマス

工場等ノ之ニ要シマス苛性曹達トカ、或ハ硫酸トカ、
段々原料生産費ヲ調査シテ見マス、以前調べタ時
ヨリ比較の廉ク出来ルヤウナ見當ガ付イテ參リマシ
タ、鈴木君モ或ハ其意嚮ヲ御察シニナッテ居ルカ知リ
マセヌガ、丁度此案ヲ議スルトキニハ、或ル場合ニハ
成立ツカト云フ考ガ、私及ビ同僚數氏ノ間ニ現レマ
シタガ、併シ其後ノ狀況ヲ見マス、近來石炭酸ハ非
常ニ低落シテ參リマシテ、例ヘバ最近ノ調ニ依レバ
亞米利加ノ相場ハ非常ニ下ッテ參リマシテ、其數字ヲ
計算致シマス、矢張以前ト略々同ジヤウナ所ヘ來
テ、到底三割ヤ三割五分ノ課稅デハ、ドウシテモ收支
償フ計算ガ出テ參リマセヌ、ソレデ遺憾ナガラ又今
同モ提案スルコトヲ延期致シマシタ、尙ホ石炭酸ノ
市價ノ略々安定スル狀況ヲ見マシタ上デ、後日ノ問
題ト致シタノデアリマス、貿易上使フ分量ノ少イト
云フノミヲ以テ考ヘテハ居リマセヌ、昨年ノ暮及本
年ノ春ニ掛ケテ吾々ノ調査致シマシタトキニハ、石
炭酸ノ市價ハ日本ノ市價トシテ、五十錢若クハ五十
錢餘ニ算定致シマシタ、然ルニ昨今デハ日本ニ著シ
テ二十四五錢デアリマス、ドウシテモ計算上收支相
償フコトハ出来マセヌノデ、遺憾ナガラ後日ノ問題
トナツヤウナ次第デアリマス

○鈴木錠藏君 只今ノ野田君ノ御話ニ依レバ、四十
二議會ノ當時ノ狀況トハ違ッテ、日本ニ於テモ相當ニ
廉ク石炭酸ノ產出ヲスルヤウニナツタラ、或ハ三割、
三割五分ノ保護稅ガ成立ツカト思ツタ所ガ、亞米利加
ニ於テ非常ニ廉クナツタ爲メニ、サウシテ見ルト三割
ヤ三割五分デハ、到底引合ハヌカラ、見合ハスト云フ
ヤウニ聞キマシタガ、亞米利加ニ於テ、今日石炭酸ノ
廉イノハ「ダンピング」ト云フヨリハ、寧ロ色々ナ狀
態カラ賣崩シテ居リマシマス、日本ノ酸類デモ
生産費ノ以下ニ下ッテ居リマシマス、是ハ決シテ永久
ニ續クモノデハナク、一時ノ變態デアリマスガ、之ニ
驚イテ永久ニ成立ツベキ所ノ業務ニ對シテ保護關稅
ヲ躊躇ナサルト云フノハ、國家ノ經濟政策カラ申シ
テモ、間違ッテ居リハシナイカト思フノデアリマス、
一時ノ賣崩シヲ土臺トシテ、ソレニ驚イテ斯様ナ事
ヲナサルト云フコトハ、誤ッテ居ル政策ト思ヒマス、

野田君ハ技術家デアリマスカラ別カモ知レマセヌ
ガ、是ハ寧ロ農商務大臣、大藏大臣ガ御出ニナッテ御
答シタラ宜カラウト思ヒマスガ、如何デアリマスカ
○神鞭政府委員 只今ノ點ニ就テ私カラ一言御答致
シマスガ、最近大牟田工場邊リノ見込デアリマスガ
新式ノ製造法ニ依ルト、從來ノ物ヨリモ餘程廉ク出
來ルト云フ事デアリマス、ソレデ先刻野田技師カラ
御話致シマシタ通り、從來トモ此石炭酸ガ内地デ
廉ク出來レバ、何トカシテ成立タセタイト、云フ考ヲ
政府デモ持ッテ居ルノデアリマスガ、何分ニモ之ニ稅
ヲ課ケル事ニナリマス、非常ナ高稅ヲ課スル事ニ
ナルト云フ所カラ、手ヲ著ケル事ガ出來ナカッタノデ
アリマス、然ルニ最近ノ新規ノ方法ニ依ルト、比較的
廉ク出來ルノデアリマスカラ、若シ之ガ或ル程度迄
ノ課稅デ成立テ得ルモノデアッタナラバ、是ハ保護シ
テ内地ニ於テ成立タセル事ヲ否ム譯ノモノデハナイ
ト思ヒマス、併ナガラ只今ノ野田技師ヨリ御話ノア
リマシタ通りデアリマス、是ガ五十錢以上モシ
タト云フコトデアラナラバ、或ハ三割五分或ハ其程
度位キナモノデ、成立ツ計算ニナルカモ知レヌト云
フ譯デアッタノデアリマス、併ナガラ今行ッテ居ル新
規ノ製造法ト云フモノハ、實ハマダ試驗中デアリマ
スノデ、工業的ニ實際ニヤッテ居ルト云フ狀態デハナ
イノデアリマス、ソコデ鈴木君ノ御話ノ通り、今廉
クナツテ居ル價值ガ、何時マデ其通り續クカト云フコ
トハ疑問カモ知レマセヌケレドモ、ソコガマダシカ
リシタ事ヲ知ルコトガ出來ヌノデサウスルト爰ニ新
規ノ事業ニ對シテ、率ヲ確定シテ、出スト云フ事ハ、
早計デハナイカト思ヒマス、要スルニ、是ハ時期ノ問
題デアリマスカラ、狀況ノ如何ヲ察知シ、物價ノ安定
ト云フコトヲ考慮シテ、相當ノ時期ニ於テ稅率ヲ定
メルコトニシタイト云フコトデ、此際出サナカッタノ
デアリマス

○鈴木錠藏君 戰爭當時ハ自給自足ノ聲ガ盛デアッ
テ政府ガ當業者ニ向ッテ無理ニ斯ウ云フ物ヲ產出シ
ト云ウテ獎勵サレ、或ハ保護政策等、種々ナル方法
ニ依ッテヤッタノデアリマスガ、加里工業ニ對シテモ、
戰後ニ於テ引合ハナケレバ、關稅政策デ保護シテヤ
ルト云フ事ガ事實アッタノデアリマス、然ルニ今日異
議ガ起ッテ、脂肪ノ分解工業ニ就テモ、今日關稅ニ依
テ保護スル機關ガ立ッテ居ラヌ、立ッテ居ッテモ躊躇サ
レルノハ、色々ナ事情ガアラウト思ヒマスガ、要スル
ニ根本的關稅政策ノ樹立ト云フ事ニ就テ、政府ガ想
ヒ到ラヌカラデアラウト思ヒマス、ソレデ是以上政
府委員諸君ニ向ッテ難題ヲ呈シタ所デ、御迷惑デアラ
ウカラ質問ヲ打切りマスケレドモ、是ハ國家經濟上
カラ致シマシテモ、此點ニ就テハ十分注意スルコト
ヲ希望致シマス、毎回關稅問題ノ出ル毎ニ斯ル質問
ガ起リマスカラ、此點ヲ御考慮願ヒマス

○神鞭政府委員 只今ノハ御希望デアッテ、御質問デ
ハナカッタヤウデゴザイマスケレドモ、一言申述ベテ
置キマス、政府トシマシテハ必要ナル事業ニ對シテ
ハ、保護政策ヲ執ルト云フコトハ、決シテソレヲ否ム
モノデハアリマセヌケレドモ、亦消費者ノ利益ヲモ
考慮シナケレバナラヌト云フ關係モアリマス、
此點ダケヲ申シテ置キマス

○委員長(指田義雄君) 正木君

○正木照藏君 製鐵所長官ニ御尋ネテ致シマスガ、
此鐵ノ問題ハ極メテ重大ナル問題デアリマスガ、ソ
コデ承リタイノハ鐵ノ價格ガ下ッテ參リマシテ、殆ド
四五年前ト比較ニナラヌヤウナ今日デアリマスガ、
就キマシテハ此國家ノ經營シテ居ラル、所ノ製鐵所
ノ前途デアリマス、是ハ如何デアリマセウカ、此經營
上ニ就テノ概略ノ御意見ヲ御聽申シタイ

○白仁政府委員 鐵ノ生産問題ニ就キマシテ、製鐵
所ノ將來——謂ハハ生産費ガドウナルカト云フ御尋
デアラウト存ジマスガ、此問題ニ就キマシテハ色々
考ヘテ居リマシテ、其考ヲ一歩々々進メツ、ア
ルヤウナ狀態デゴザイマス、畢竟致シマスルト云フ
ト、安定ヲ得ル費用ハ、英米諸國ニ於ケル製鐵生産費
ノ將來ヲ豫想致シマシテ、英米ニ於ケル生産費ノ安
定ヲ得ラル所ノ生産費ニ、我製鐵所ニ於キマスル
所ノ生産費ガ比較出來レバ、先ヅ我製鐵所ニ於テモ、
安定シタモノト考ヘテ宜シイカト存ジマス、例ヘバ
亞米利加ノ製鐵地方ニ於ケル所ノ各製鐵所ノ礦石ノ
代價ハ、平常ノ場合ニ於テ、何弗カラ何弗ノ間ニ得ル

コトガ出来ルカ、又「コークス」ハ何弗カラ何弗ノ間ニ於テ得ルコトガ出来ルカ、而シテ又二ツノ材料ヲ使用致シマシテ加工スル所ノ賃金ハ、ドノ位カラドノ位デアルカ、ソコヲ所ヲ睨ミ合セマシテ、サウシテ其實費ニ運賃及輸入ノ諸手数料ヲ加ヘテ、其運賃ト申シマシテモ、既往三四年ノ所ノ金額デハイケナシ、極ク平常ノ時ニ於ケル場合ノ例ヲ取ツテ算當ヲ立テナケレバナラヌ、サウ云フ謂ハバ平時ニ於ケル所ノ、極ク「リーゾネブル」ノ諸材料ヲ集メマシテ、サウシテ其金額ハドノ邊ナレバ宜イカト云フコトヲ、算盤ヲ立テタイト思フノデアリマス、ソレデ今日ノ場合ハ、官立ノ製鐵所ハ御承知ノ通りニ、専ラ鐵礦ノ材料ハ支那ニ得テ居リマス、而シテ其代價ハ十四五年前ニ於テ契約致シマシタ所ノ代價ハアリマス、ケレドモ、何分近來世界ノ動搖ニ依リマシテ色々ノ影響ガアル、例ヘバ支那ノ弗相場ガ非常ニ高クナルトカ、或ハ又ウン卜下ツテ來ルトカ云フヤウナコトデ、唯ダ其契約ニ依テバカリ取引スルコトガ出来ナイヤウナ場合ガ起ルノデ、據ロナク既往三四年ノ所ハ、生産費ニヒドイ狂ガ起リマシテ、毎々申上ゲマス通りニ、鐵礦ノ如キモ七十五圓トナリ、八十圓トナリ、甚シキ時ニハ九十圓臺ヲ越シタヤウナ場合モアリマス、一體サウ云フ生産費ヲ掛ケマシテ、サウシテ之ヲ亞米利加或ハ英吉利ニ於ケル所ノ生産費ト較ベマスレバ、是ハ到底比較ハ取レナイコトニナツテ、一モ二モナク參ルヨリ外ハナイノデアリマス、然ルニ一旦戰爭ガ熄ミ、世界ノ動搖モ段々落付クニ從ヒマシテ運賃ハ廉クナル、又鐵礦石モ廉クナルト云フ様ナ現象ガ段段現ハレマシテ、今迄ノ相場トハ打ツテ變々相場トナツテ來ツツアルノデアリマス、ソレ故ニ私共ハ生産費ノ安定ヲ著々圖ランガ爲ニ、礦石ノ代價ノ取入ニ就キマシテ新タナル約束ヲ結び、始メテサウシテ既往ノ如キコトニ出遭ツテモ成ダケ其影響ヲ受ケナイデ、生産ノ安定ヲ得ルヤウニシタイト思ツテ居リマス、ソレデ昨今ノ契約ニ依ツテ想像致シマスルト、鐵礦ノ生産費ノ如キモ、或ハ六十圓以内五十七八圓位デ產出スルコトガ、出來得サウナ狀況ニナツテ居リマス、若シ果シテ五十七八圓ノ生産費デ鐵礦ガ得ラル

ルナラバ、之ヲ亞米利加ノ製鐵地方ノ生産品ヲ日本ニ輸入致シマシタ場合ノ代價ニ較ベテ見マスルト、稍々匹敵スルコトガ出來ル算盤ニナリマス、是ハ餘計ノ事デアラウト思ヒマスガ、私共ノ算盤ヲ採リマシテ數字ヲ一寸此所ニ申上ゲテ置クノデアリマス、ソレカラ又此間カラ衆議院貴族院等ニモ段々御質問ガアリマシタガ、鹿町ノ炭山ノコトトカ、或ハ二瀬ノ「コークス」材料ノ一部ニナリマス炭山ヲ買ヒマシタリ致シマシタノモ、是亦材料ノ安定ヲ得、隨ツテ又製鐵ノ生産費ノ安定ヲ得ンガ爲ニ外ナラヌノデアリマス、ソレデ石炭ノ如キモ、是モ五六年前迄ハ七圓カ六圓デ購入スル事ガ出來タ所ノモノガ、一昨年アタリ又昨年ニナリマシテモサウデアリマスガ、二十二圓二十三圓ト云フ様ナ代價トナリ、鹿町ノ炭ノ如キモ、製鐵所ガ自分ノ物ニ致シマスルト云フモノハ、二十五圓二十六圓ノ代價ヲ拂ツテ買ツテ居リマシタ様ナ次第デアリマス、カ、ドウモサウ云フ高イ石炭ヲ買ヒマシテ「コークス」ヲ造ツテ居リマシテハ、何分ニモ亞米利加英吉利ノ生産品ニ對抗スルト云フ事ハ出來マセヌ、然ルニ只今申上ゲマス様ニ、段々ト材料ノ山ヲ買込ミマシテ、自家經營ニ移シマシテ努力ヲシテ、成ダケ廉ク生産シ得ルヤウナ方針ヲ立テマシタナラバ世間デハ如何ニ石炭ガ高クナルモ、ソレニ關セズ一定ニ致スコトニナリマス、カ、世間デハ材料ノ代價ガ高クナリマシテモ、製鐵所ニ於テハ世間ノ動搖ヲ受ケマセズニ、安定シタル所ノ生産費ヲ以テ製出スルコトガ出來ルデアラウト云フ考デアリマス、ソレデ今日ノ所、石炭モサウ云フ風ニ段々自家ノ所有ニ移シ、又鐵礦モ新シク搜シ得マシタナラバ、鐵礦ノ生産費ハ、五十七八圓ノ間ニ於テ產出スルコトガ出來得ルト云フ考ヲ持チマシタ、若シサウデアラナラバ、先ヅ々々近キ將來ニ於テ、輸入品ニヒドイ脅シヲ受クルト云フ事ハナクシテ、製鐵所ダケハドウカカウカ行キハセヌカト思ヒマス、況ヤ茲ニ製鐵保護ノ案ガ出來マシテ、從價一割乃至一割五分、物ニ依テ二割ト云フヤウナ關稅ノ引上ニナリマスレバ、丁度ソレダケガ利得ト云フヤウナ事ニナルデアラウ、斯ウ云フ風ニ想像致シテ居リマス、先ヅ非常ナ不安ナ念ハ

持ツテ居ラヌノデアリマス

○正木照藏君 大分詳シク説明ヲ承リマシタガ、要スルニ日本デ製鐵所デドレダケ出來ルカト云フノガ、確ニ問題デアリマスガ、今御話ノ五十幾圓カデ出來ルト云フ御話ハ、例ヘバ製鐵所ヲ拵ヘルニ就テモ、國ガ澤山資本ヲ入レテ居ル、前カラ申スト固定資本ニナツテ居ル、ソレニ對シテ相當ノ利子ヲ拂ハナケレバナラヌ、其邊ノ資本ニ對スル公債デゴザイマスレバ、公債ノ利子ヲ拂ハナケレバナラヌ、サウ云フモノマデ御見込ニナツテ御計算デアリマス

○白仁政府委員 成程少シハ固定資本ガ入ッテ居リマシテ、又少シハ運轉資本ヲ國庫ニ仰イデ運轉致シテ居リマス、カ、其等ノ利子ヲ普通世間並ノ利息デ以テ見マスレバ、或ハ其利ハ十分ノ上リヲ見ルコトハ出來ヌカモ知レマセヌ、左リナガラ四十三年来ノ製鐵所ノ利益ハ御承知ノ通りニ初メ三百五十萬圓カラ段々上リマシテ、大正七年度ニ至ツテア、云フ不時ナ出來事ノ爲メニ、五千八百五十萬圓ガ大藏省ニ納メタ所ノ利益ガアリマシテ、若シソシナモノヲ皆一切合切ニシテ、固定資本ヲ償却シ盡シテ居ルト見ルコトガ出來マスレバ、モウ是カラハ、運轉資本ノ利子ダケ舉ゲテ行ケバ宜イヤウナモノデアリマスガ、只今申シマシタ所ノ計算ノ中ニハ、運轉資本ノ利子モ固定資本ノ利子モ計算致シマセヌデ、計數ヲ取ツタ次第デアリマス

○正木照藏君 私共ノ心配致シマスノハ、先刻ドナタカ御質問ガアッタヤウデゴザイマスガ、今多少ノ關稅ヲ引上ゲマシテモ、能ク外國ノ鐵ニ對抗シ得ルヤ否ヤ、之ヲ心配スルノデアツテ、ソレニ就テハ製鐵所ニ確ナ御見込ガアルダラウ、斯ウ云フ所カラ御聽スル次第デ、是ガ日本ノ製鐵ノ前途ガドウナルカト云フコトノ見据ヲ付ケルニ、最モ必要ナ事ト考ヘマス、今承ルト弗々ドウカ行キサウダト云フ御見込デゴザイマスガ、或ハ資本ニ利子モ掛ケズニヤルト云フコトデナク、モウ少シ何カ詳シイ御調ハアリマセヌカ

○白仁政府委員 只今ノハ實ハ官立製鐵所ノ將來ハ、ドウナルカト云フ御尋デアリマシタカラ、ア、云フ長々シイ諒イコトヲ申上ゲタノデアリマスガ、鋼

材ニ對シテ一割五分ノ輸入税ヲ課シタ場合ニ於テ、製鐵所ノ製品トドウ云フ脱合ニナルカト云フ御質問ト致シマスレバ、少シ御答ヲ變ヘザレバナリマセヌ、尤モ其場合ニ於テハ、製鐵所ハ英米ノ輸入品ニ運賃諸掛リ費ヲカケ、且又商人ガ輸入スルニ就テノ三箇月間乃至四箇月間ノ運轉代金、其代金ノ利子ヲ見マシテ、サウシテソレニ輸入從價ノ一割五分ヲ加ヘマシタ金額ガ、即チ日本ノ輸入鋼材ノ代價トナリマス、ソコデ製鐵所ニ於キマシテハ、其代價マデハ賣拂フ事ガ出來ルト見テ居リマス、ソコデ其代價マデ賣拂ツタ場合ニ於テハ、製鐵所ノ生産費ト其代價トノ間ニ、ドウ云フ開キガ付クカト云フ御尋ト見テ宜シイカト思ヒマス、ソレハ一寸此所ニ調ガアリマスガ、物ニ依テ色々違ヒマスガ、普通ノ寸法ノ棒類又型類、及飯類、普通寸法ノ物ヲ取合セマシテ、睨ミテ付ケタ調ガ一ツゴザイマス、夫ニ依ルト亞米利加ノ「ビツバ」ノ向フノ停車場渡ノ代價ノ昨今ノ相場ハ、五十五弗トナツテ居リマス、ソレカラ假リニ五弗ダケ下ッ

安全ヲ見ル爲メニ高ク見積ツテ居リマス、今日ノ船賃ノ如キモノハ、此計算ヲ致シマシタ時ヨリモ餘程廉クナツテ居リマス、併シ是モ只今ノ船賃ガ果シテ將來續クモノデアルカ、續カヌモノデアルカ、是モ大事ナ數字デアリナガラ、定ニ確實ニ考テ付ケルコトガ出來マセヌ、昨今ノ實際ノ狀況ニ依テ、成タケ將來動カヌ所ト踏シデヤリマシタノハ、只今申上ゲタヤウナ所デアリマス

ガ、極メテ簡單ナル問答ヲ満足シテ戴カヌト
○正木照藏君 私ハ高イ廉イト云フ議論ヲシテ居ルノデハナイ、唯ダ自分デ御道リニナルカナラヌカト云フ問題デス
○白仁政府委員 成程官業ト民業ト孰レガ利益カト云フコトハ多年議論ノアルコトデ、多クノ實例ニ於テハ、官業ノ方ガ不經濟ノ實例ガ多イト思ヒマス、ソレデ私共ノ方デモ嚮ニ申上ゲマシタヤウナ案ヲ立テマシテ、外國品ニ匹敵スルコトノ出來ルヤウニ努メント欲スル以上ハ、努メテ官業ノ弊ヲ避ケルヤウニ致シマシテ、成タケ民間ノ事業ノ振合ニ倣ツテ、願クハ其石炭ノ採掘實費ノ如キモノ、世間ノ歩合デ仕上ゲルヤウナコトニスルヤウニ努メテ居リマス、又將來ト雖モ此點ハ十分注意ヲシテ、努メテ行カナケレバナラヌ點ト考ヘマス、開平炭ノ御話デアリマスガ、開平炭ニ依テ製鐵所ノ「コークス」ハ出來テ居リマス、然ルニ既往ノ代價ト云フモノハ、非常ニ騰貴致シテ居リマシテ、一噸二十八圓デ引受ケテ居ル、ソレヲ少シデモ値切ラウトシマス、ソレデヤ斷ルト云フヤウナ態度ニ出ル、勿論サウ云フ狀態ハ是ハ平常ニ於テ有り得ナイ事ト思ツテ、暫ク我慢ヲシテ二十八圓デ——一昨年ハ二十六圓デゴザイマスガ、昨年ハ二十三圓デ十萬噸カ十三萬噸、若クハ十五萬噸位キ買ツテ居リマシタガ、此間モ申上ゲマシタガ、開平炭坑ノ株主ガ製鐵所ニ來マシタノデ、彼地ニ於テ吾々ノ得ントスル所ノ石炭ハドウナルカ知ラヌト思ツテ先方ニ相談シテ見マス、中々怪シイコトヲ言ツテ居ルノミナラズ、本日外務省ヨリノ情報ニ接シマスレバ、天津方面ノ商業會議所カラハ、北京政府ニ向ツテ、開平炭ノ輸出ヲ嚴密ニシテ貫ヒタイト云フ意見モ出テ居リマス、サウ云フヤウナ狀態ニ開平炭ハ進ミツ、アレノデ、ドウシテモ是ガ何時實施スルカ判リマセヌケレドモ、之ニ對シテ相當ノ手當ハ致サナケレバナラヌ、然ルニ只今マデ鹿町ノ炭ハ、私共ノ方デ取引シタ會社ハ小サクテ、中々要求スルダケノ炭ヲ出スコトガ出來マセヌノデ、屢々是ニハ手古摺ツタコトガアル、ソレデ多年鹿町ノ如キ炭質ヲ有ツテ居ル所ノ石炭山ヲ買ヒタイト云ツテ、段々調査ノ結果ヤツト實現シ

タモノトシテ五十弗トスル、ソレカラ運賃ヲ二十二弗ト見テ居リマス、現今ハ二十五弗若クハ二十八弗トナツテ居リマスカラシテ、少々、安全ヲ取リマシテ二十二弗ト見ル、之ヲ合セマス、七十二弗、此七十二弗ガ横濱ナリ神戸ナリノ沖著ノ値デゴザイマス、之ニ今度改正ニナリマス所ノ、從價一割五分即チ二十二圓五十錢ヲ加ヘマシテ、サウシテ陸揚費用ヲ噸五圓、金利ヲ年一割二分、之ヲ三箇月ノ計算ニ致シマシテ四圓五十錢、サウシテ輸入者ノ手数料ヲ一分ト見テ一圓五十錢、此合計ガ將來米國カラ本邦ニ輸入致シマスル理想的ノ價格デ百八十三圓五十錢、斯ウ云フ事ニナリマス、ソコデ之ヲ百八十三圓五十錢ヲ製鐵所ノ生産費ニ較ベテ見マス、製鐵所ノ生産費ガ、原料ガ噸ニ付テ百二十圓八十錢、勞銀ガ六圓、諸雜費ガ四十五圓掛ルモノト致シマシテ、百七十一圓八十錢ト云フ實費ニナリマス、之ヲ百八十三圓八十錢カラ引キマシタノガ、詰リ製鐵所ノ利得ト斯ウナリマス、總テ此比較ヲ致シマスニ就テノ數字ハ、只今申上ゲマスルヤウニ米國ノ物ハ一割乃至八分安全ニ見積リマシテ、製鐵所ノ方ハアベコベニ、ソレダケ

○正木照藏君 序デゴザイマスカラ承リマスガ、今御話ノ中ニ「コークス」ノ原料タル石炭ニ就テ非常ニ重キヲ措カレテ、二瀬或ハ鹿町ト云フ炭礦ヲ御買ニナツタ、此事ニ就テハ衆議院ニ於テモ質問ガ出テ居リマシテ、鹿町炭礦ヲ買入レタ計算ガ高イト云フコトヲ言ツテ居リマスガ、私共ハ其方ハ幾ラスルモノカ存ジマセヌガ、大體ニ於テ製鐵所ニ於テ石炭山ヲ持ツト云フ事ハ、果シテ利益デアアルカドウデアアルカト云フコトハ問題デアアルト思フ、之ヲ御話ノ通りニ手放シテ置イテ他カラ買フ時分ニハ、高イ石炭ヲ買ハナケレバナラヌト云フ場合モアルニハ相違アリマセヌガ、一面カラ言ヘバ、官業ト私業トハドウシテモ費用ノ掛リ方ガ違フノデアアルカラ、之ヲ政府デ持ツノガ果シテ利益デアアルカドウカ、多クノ場合ニハ是マデノ色々ノ歴史ヲ見マスルト、官業ガ失敗ヲシテ居ル、或ハ資本ノ利子ヲ勘定セズシテヤレバ、利益ガ出ルカ知レマセヌガ、大抵ハ失敗ニナツテ居ル、ドウ云フ御計算カラアレヲ御買収ニナツタカ、從來開平炭ヲ御使ニナツテ、大分長イ契約ガアツタ様ニ思ヒマスガ、開平炭其他ヲ他カラ御買入ニナルト、自分デ御經營ニナルト執レガ利益デアアルカ、之ニ就テ議論ハシマセヌガ、決算委員會ニ於テモ申シマシタガ、鐵道院デ船船ヲ三萬圓デ拵ヘタモノガ、二十八萬圓ニシカ賣レナカッタト云フヤウナ事モアルノデ、官業ハ餘程六ケシイ事ト思ヒマスガ、其邊ニ就テノ御見込ヲ大體デ宜シウゴザイマスカラ伺ヒマス

○委員長(指田義雄君) 正木君、一寸御注意シテ見タイト思ヒマスガ、今何ヤラ云フ炭坑ノ値段ガ廉イトカ高イトカ云フ問題ハ、此法案ト少シ關係ガ遠イヤウニ思フノデスカラ、其御問ヲ止メハ致シマセヌ

テ、五百萬坪近イ所ノ炭山ヲ得タト云フヤウナ譯ニ
ナツテ居リマス、ソレデ之ニ十分ノ資本ヲ卸シマシテ
設備ヲ善クシテ、二十萬噸、二十五萬噸ノ炭ヲ掘ルヤ
ウニナリマシタナラバ、炭價モ二十五圓ダ二十六圓
ダト云フヤウナ炭價デナクシテ、十二三圓以内ニ於
テ彼ノ得難イ炭ヲ得ルコトガ出來ヤウト思フノデア
リマス、ドウシテモ大體ニ於テ、鐵ト炭トハ自家所有
ノ經營法ヲヤラナケレバ、製鐵ノ安定ト云フコトハ
餘程難儀ナコトデアッテ、亞米利加地方ニ於キマシテ
モ、彼ノ無數ノ製鐵會社デレガ利益ヲ餘計舉ゲテ
居ルカト云フト、總テ鐵山ト石炭山ヲ自家ニ所有シ
テ經營シテ居ル製鐵家ガ、何時モ買ッテ經營シテ居
ヨリモ二倍三倍ノ利益ヲ舉ゲテ居ルヤウデアリマ
ス、ソレデ只今御意見ノヤウナ官業民業ノ間ニ起ル
所ノ損得ノ差ハ、實ニ大切ナ問題デアッテ、私共モ官
業ノ弊ニ陷ルヤウニ十分ニ努メテ行ク積リデゴザ
イマス、若シ之ガ出來マシタナラバ、前ニ申上グルヤ
ウニ製鐵ノ安定ヲ得テ、米國英國ノ輸入品ニ、可ナ
リ敵對致シテ行クコトガ出來ヤウト思フノデアリマ
ス

○委員長(指田義雄君) 一寸議事ノ進行ニ就テ御相
談ヲ申上ゲタイト思フノデアリマス、先刻何方カカ
ラモ、今朝議案ヲ受取ッタノデ、マダ能ク見ル暇ガナ
イト云フ御話デアリマシタカラ、明日明後日ヲ議案
ヲ御覽下ル時間トシテ、委員會ヲ開ク事ハ見合セマ
シテ、來ル二十一日、午前十時半トシテ正刻ニ開ク
コトニ致シマシテ、二十二日ハ國務大臣ニ對スル、政
府根本政策ニ關係シタ質問ノ範圍デ質問ヲ終了致シ
マシテ直チニ討論採決マデ進ミタイト考ヘテ居リマ
ス、但シ今日マダ政府委員ニ對シテ御質問ノ御有リ
ニナル方ハ、繼續ヲ願ヒマシテ宜シウゴザイマス
(「贊成賛成」ト呼フ者アリ)

○委員長(指田義雄君) 御異議ガナケレバサウ云フ
コトニ決シマス

○矢野丑乙君 先程農商務大臣ニ對シテ御尋シマシ
タガ、尙ホ細カイ事ハ保留シテアリマス、ソレハ機械
製造業ハ、鐵ノ關稅ヲ上ゲルト云フコトハ甚ダ苦痛
デアル、假リニ輸入スベキ機械ヲ防遏スルコトハ出

來テモ、輸出スル所ノ機械ニ於テ、大變不利ヲ來スト
云フコトデ、非常ニ八釜シク言ッテ居ル、之ニ對シテ
此度ノ關稅法ニ就テハ、非常ニ農商務大臣ニ伺フト
御考慮ガアッタコトト考ヘマス、ソレデ一番紡績機械
ニ就テ、紡績業者ニ反對ガアッタト云フコトヲ聞イテ
居リマス、ソレデ此度ハ關稅ガ上ゲテナイト云フ事
ニナツテ居ル、成程紡績業者カラ異議ガアリマセウガ
機械製造業者カラ見ルト、同率ニ上ゲテ貰ヒタイト
云フ希望ハ勿論ノ事ト思ヒマス、之ニ對スル農商務
省ノ政府委員ノ御意見ヲ聽キタイ

○鶴見政府委員 先刻農商務大臣ニ御尋ニナリマシ
タ點ト併セテ御答申上ゲマスガ、第一點ハ今回ノ機
械ノ關稅ヲ上ゲタガ、其上ゲ方ガ少ナイ爲ニ機械工
業者ガ困リハセスカ、モット餘計ニ上ゲルノガ適當デ
ナイカト云フ御尋デアリマス、是ハ御承知ノ通り是
迄ノ關稅ノ立方ハ、成ベク工程ノ少ナイ簡易ナモノ
ニ對シテハ、極メテ少ナイ稅ヲ課シテ居ッタノデアリ
マス、其工程ノ進ムニ從ッテ重イ稅ヲ取ッテ居ッタノデ
アリマス、今回モ矢張其主義ヲ執リマシテ、外國ノ原
料ヲ用キテ造ル機械ニハソレデヤッテ居ルノデアリ
マス、即チ是迄一割シカ取ッテ居ラナカッタ機械ニシ
テ、其原料ガ外國ノ鋼材ヲ用キナケレバナラヌモノ
デ、外國品ガ一割五分カ課ッテ居レバ、元ノ稅ニ之ヲ
加ヘタモノヲ課稅スル方針ヲ執ッテ居ル、大體ニ於テ
サウ云フ方法デ緩和サレル事ト當局ハ信ジテ居ルノ
デアリマス、尙ホ一ノ品目ニ就テ御希望ガアルナ
ラバ、詳シクソレヲ申上ゲテモ宜イノデアリマスガ、
大體ハサウ云フ考デアリマス、第二ノ機械ノ輸入稅
ガ上ルコトハ宜イトシテ置イテ、鐵ナリ鋼材ノ關稅
ガ上ルト云フコトニナルト、ソレヲ用キテ造ッタ機械
ノ輸出ニ困リハセスカ、是ハ御尤ナ御質問デアリマ
ス、當局ト致シマシテハ、其點ニ就テハ非常ニ考慮ヲ
拂ヒマシタ、將來我國デハ是非機械ノ製作業ヲ盛ニ
起シマシテ、進ンデ内地ノ需要ニ應ズルノミナラズ
海外輸出ヲ圖ラナケレバナラヌノデアリマス、支那
ナリ近傍ニ對シテ輸出ヲ大ニ増進シテ行ク上カラ
云ヒマス、此點ハ餘程考慮シナケレバナラヌノデ
アリマス、併ナガラ一面ドウシテモ内地ノ鐵ノ稅ヲ

上ゲマスレバ、ソレニ對シテ機械ノ輸入稅モ上ゲナ
ケレバナラヌ、ソレデ今回ハ上ゲテ居ルノデアリマ
ス、將來ノ輸出ハ此稅ガ上ツタ爲メニ困難スル所ハ、
他ノ方面デ之ヲ補ハナケレバナラヌト思ヒマス、即
チ製作費其他ノ方面ニ於テ、出來ルダケ能率ヲ上ゲ
ルヤウニスル、或ハ賣捌ノ方法デアルトカ云フコト
ニ努力ヲ致シマシテ、之ヲ補ッテ行ク方針ヲ執ル外ナ
イト思フ、是ハ甚ダ遺憾ナコトデアリマスケレドモ、
鐵ヲ保護スルト云フ政策ヲ執ル以上ハ、己ムヲ得ヌ
事カト思フノデアリマス、大體政府ハ斯様ニ感ジテ
居リマス

○矢野丑乙君 只今ノ御答辯ハ甚ダ徹底ラセヌ様ニ
思ヒマスガ、今日製鐵保護ノ上カラ申シマシテ、先ヅ
已ムヲ得ヌモノトシテ諒解ヲ致シマスガ、併ナガラ
此機械ヲ輸出スル場合、鐵ト云フ原料ヲ直接ニ買フ
ト云フ事ハ少ナイモノト見ナケレバナラヌ、先ヅ市
場ニ輸入シタモノヲ買ッテ、其原料デ之ヲ製造スルコ
トガアルヤウデゴザイマスガ、其戻稅ヲ請求スルト、
頗ル繁雜ナヤウニ聞イテ居リマス、之ニ對シテ特別
ノ規定ヲ設ケルト云フコトデゴザイマスガ、此點ヲ
餘程徹底シマシテ、當業者ノ御迷惑ニナラヌ様ニ、速
ニ勘定ノ出來ルヤウナ事ニ十分御考慮ヲ願ヒタイト
思ヒマスガ、之ニ對スル御意ヲ此際承ッテ置キタイ

○神輿政府委員 只今ノ御質問ハ、大藏省ノ關係ガ
主デゴザイマスカラ、私ノ方カラ御答シテ置キマス
ガ、戻稅ノ手續ハ甚ダ煩雜デアッテ或ハ又之ガ爲メニ
種々輸出ノ際ニ時機ヲ失スルトカ云フヤウナ、色々
ノ苦情ガアリマス、之ヲ何トカ改メタイト云フコト
ハ、他ノ物品ニ就キマシテモ色々聞クコトデ、ソレガ
爲メニ今回ノ改正案ニ於キマシテモ、初メカラ外國
品ヲ用キルコトハ、成ベク戻稅ノ方法ニ依ラスデ、免
稅ノ方法ニ依テ、幾分デモ其手續ヲ簡單ニシタイト
云フ考ヲ持ッテ居リマス、ソレデ自然今御話ノ通り、
外國カラ直接原料ヲ輸入スルノデナクシテ自己ガ輸
入スル物ヲ買ッテ使フ者ニ對シテ、是ハ初メカラ免除
ト云フ手續ハ出來マセヌ、ドウシテモ戻稅ノ手續ヲ
シナケレバナラヌノデアリマス、ソレヲ致シマスニ、
政府トシテハ出來ルダケ簡單ニ、出來ルダケ便利ニ

出來ルヤウニスル、尤モ一面ニ弊害ヲ防グト云フ點モゴザイマスガ、唯ダドウデモ宜イ、簡單ニスルト云フ譯ニ參リマセスカラ、出來ルダケ其道ハ講ジタイト考ヘテ居リマス

○矢野正乙君 機關の方ハ其位ニシマシテ、先程鈴木錠藏君カラ質問ガアリマシタ、稍々二重ノ感ガアリマスカラ成ベク省略シマスガ「グリセリン」ノ關稅ノ事ハ此度ハ觸レテ居ナイ、尤モ農商務省大藏省アタリデ初メ御調査ノ時分ニハ、相當考慮ノ中ニ入ッテ居ッタヤウデゴザイマスガ、是ハ除外シテゴザイマス「スチアリン」トカ「オレイン」ト云フモノデ、輸出工業ヲ保護スルト云フ御答辯ガアリマシタ、其方ハ了承致シマシタ「グリセリン」ト云フモノガ若シ日本ニ起ラナクナッテ、今有ルノガ潰レマス場合ニハ、海軍或ハ陸軍ニ於ケル火藥製造業ガ非常ニ困ルト云フコトハ、明カナ事實ト聞イテ居リマス、サウ致シマスト假リニ此關稅保護ヲシナイデ、近キ將來ニ於テ「グリセリン」會社ガ潰レントスルト、陸海軍ハ自力デ「グリセリン」ヲ製造スル手段ヲ執ラナケレバ、平生ハ宜イガ事ガアッタ時ニ困ルト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、「グリセリン」ノ製造ヲ保護スルコトニ就テ、陸海軍ト交渉ガアッタコト、思ヒマスガ、「グリセリン」ノ稅金ヲ上ゲナイト云フコトニ就テ、何カ陸海軍ト御交渉ガアッタカソレヲ承リタイ

○神鞭政府委員 「グリセリン」ノ稅ヲ此際引上ゲルノヲ見合シタト云フコトニ就キマシテハ、先刻申シマシタ通り、其結果トシテ内地ニ於テ「グリセリン」ノ製造會社ガ潰レタラ、輸入品ノ關係上、輸入ノ方カラ申シマシテモ困ルデアラウト云フ御話デアリマスガ、ソレハ潰レタラ洵ニ困ラウト思ヒマス、併ナガラ此際ニ「グリセリン」ノ關稅ヲ改正シナカッタト云ッテ今御懸念ニナッテ居ルヤウナ狀態ガ直グ到著スルトハ實ハ考ヘテ居リマセヌデ、一面ニハ昨午カラ輸入ヲ禁ジテ居ル、一面ニハ從來ノ保護指導モゴザイマス、是ハ連續スル次第デゴザイマスカラ、之ニ依テ「グリセリン」ガ此際關稅ヲ動カサヌ爲メ、「グリセリン」ガ日本ニ於テ絶滅スルトハ考ヘテ居リマセヌ、併ナガラ万一サウ云フ危イ事情ニ立至ルト云フ

ヤウナコトニナリマスレバ、是ハ無論別ノ考ヲシナケレバナリマセヌ、此點ニ就キマシテハ勿論陸海軍トモ相談ノ上デ、議案ヲ提出シタ次第デアリマス

○今泉嘉一郎君 簡單ナ事デスガ、第二條ノ解釋ニ就テ先程御説明ガアリマシタガ、尙ホモウ少シ詳シク御説明ヲ聽キタイノデ、是ハ「インボイス」ニ依ル譯ニ行カナクナッテ、新タニ價格ヲ作ラナケレバナラヌ、標準價格ト云フモノヲ他ニ求メテ、計算シナケレバナラヌコトニナランカト思ヒマスガ、先程ノ御説明ニ依ルト、サウ云フ風ニ例ヘバ、去年到來シタ品物デアル、然ルニ之ヲ今日ノ到著價格ニ直スノハドウバナラヌト云フコトニナルダラウト思ヒマスガ、サウ考ヘテ宜シイカ

○神鞭政府委員 第二條ノ解釋ハ、普通ニ輸入サレマシテ、其場デ普通ノ狀態ニ於キマシテ引取ラレマシタ物品ニ就キマシテハ、從來ト少シモ變リハナイ譯デゴザイマス、併シ今例ニ御引キナリマシタ、長イ間掛ッテ引留メタ、而シテ其間ニ何カ變動ガ著シカッタ場合ニハ、自然其物ノ「インボイス」値段ノミニ依ル事ハ出來ヌノデ、其當時ノ價格ト云フモノヲ、豫メ其時ニ到著シタナラバドウ位ノ値段デアッタラウト云フコトヲ定メテ、課稅シナケレバナラヌ狀態ニナリマス、御考ノ通りト思ヒマス

○今泉嘉一郎君 サウシマスト反對場合、即チ大ニ價格ガ前ヨリモ騰貴シタ場合ニ於テハ、矢張其騰貴シタ場合ノ價格ニ換算シテ課スル、斯ウ云フコトニナルト考ヘテ宜シイカ

○神鞭政府委員 左様デゴザイマス

〔指田委員長長席ヲ退キ鈴木理事代リ著席〕

○定行八郎君 一寸製鐵所長官ニ御尋シマスガ、東洋製鐵株式會社ガ、鐵管暴落ノ爲メ頗ル經營難ニ陥ッタ爲メニ、ドウモ工場ノ維持ガ出來ヌト云フヤウナ狀態カラ、製鐵所ニ其工場ヲ其儘提供シテ買ッテ呉レト云フヤウナ相談ガアッタヤウニ聞イテ居リマスガ、果シテ左様デアリマスカ、其内容ト經過トヲ御尋シタイ

○白仁政府委員 東洋製鐵ノ問題ハ、確カ只今御尋ノ様ニ會社ノ方デ公然株主總會ノ議決ヲ經テデアルカドウカ存ジマセヌガ、委任經營ヲ願出テ參リマシタ所ガ、製鐵所ノ方デハ、御承知ノ通り六本ノ爐ガ三本シカ働イテ居ラス爲メ、熔鐵材料ト申シマスガ、平爐ニ使フ鐵ノ湯ガ足ラス、銑鐵ハ買ヘバドレダケデモアリマスガ、熔鐵ヲ買フ事ハ外デハ得ラレス、ソコデ東洋製鐵ガサウ云フ風ニ困ッテ、委任經營ヲ願フト云フ様ナ狀況デアラナラバ、製鐵所ノ方デハ進ンデ之ヲ借りヤウ、斯様ナ意見ヲ私ハ立テマシテ、サウシテ之ヲ政府ニ持出シタ所ガ、借りテモ宜カラウト云フ話ニナッテ、段々其相談ヲ致シツアルノデアリマス、昨今ノ交渉ノ程度ハ、製鐵所ヨリ契約諸案ヲ會社ノ方ヘ廻シテ居ルノデアリマス、果シテ會社ガ其契約通りデ承知スルカシナイカト云フコトハ、マダ不明デアリマス、恐ラクハ重役會議ヲ開イタリ、株主會議ヲ開イタリ、或ハ株主總會ヲ開クト云フヤウニ色色ナ手段モアッテ、中ニ急ニハ運バナイト思ヒマス、經過ハソレダケノコトデアリマス

○鈴木久次郎君 大分皆サンノ御質問デ略々分リマシタガ、尙ホ私ハ皆サンノ御質問ニナラス點ニ就テ二三御尋シテ置キタイ、此國稅定率法ノ改正ニ就テハ増率ヲ致ス譯デアルガ、此收入増加ノ見積額ノ金額ハ何程デアリマセウカ、伺ッテ置キタイト思ヒマス

○神鞭政府委員 今回ノ改正案中ニハ、大分増率スルモノハアリマス、併ナガラ多少其中ニハ率ノ廉クナルヤウナ物モアリマス、殊ニ第九條ノ改正デアリマス、是ハ大キイ眼カラ見マス、從來關稅ヲ取ッテ居ッタモノヲ一旦收入ニ立テテ、ソレカラ之ヲ別途トシテ拂出スト云フ關係デアリマスカラ、結局ノ所ハ取ラヌト同ジデアリマスガ、豫算面上一旦收入ニ立テ、又支出ニ立テテアルノデアリマス、所ガ第九條ヲ改正スルトシテ、戻稅ノ方法ニモ出來ルカ、又豫メ輸入ノ際ニ關稅ヲ免除シテ貰フト云フ方法モ取ル事ニシヤウト云フ事ニナリマスカラ、此點ニ於テ從來戻稅ヲヤッテ居タ收入ガ、此年度ニ於テハ歲入ノ方ニ於テ減ルト云フ形ニナルノデアリマス、ソレト同時ニ一

面ニハ、戻税ノ支出額モ幾ラカ減ツテ來ルノハ當然デア
アツテ、兎モ角モソレハ、減ル形ニナリマス、ソレデ只
今斯様ナ計算ニナツテ居リマス鐵材其他鐵製品、鐵關
係ノ商品ト云フヤウナ物ヲ合シテ見マス、尙ホ一
言附加ヘテ置キマスガ、此法律ノ施行期日ハ、勅令ヲ
以テ之ヲ定ムル事ニナツテ居リマス、此施行期日ガ
イツ定マルカト云フ事ニ依テモ、多少ノ差違ガアラ
ウト思ヒマス、極ク大體ニ於テ鐵及鐵關係品ノ關稅
改正ニ依テ、收入ノ増シマスルモノハ七百六十七萬
圓ト思ヒマス、ソレカラ其他ノ商品其他色ノ合セマ
シテ、約百三十萬圓位デアラウト思ヒマス、然ルニ戻
税ノ免稅ニ變更スルト云フコトノ爲メニ減ルモノガ
アリマス、是ガ四百萬圓位減ルト思ヒマス、結局約九
十萬乃至百萬ノ程度ニ於テ關稅ノ增收ニナルノデア
ラウ、是ハ十年度ノ計算デアリマス

○鈴木久次郎君 此見越輸入ト云フヤウナモノハ、
無イノデアリマセウカ、只今御話ノ本法施行ノ期日
ト云フノハ、勅令定マルノデアリマスガ、イツ頃之
ヲ實施スルト云フ御見込ガ立ツテ居リマス、若シソ
レガ立ツテ居レバ、承リタイ、見越輸入ニ就テハ、大分關
係ガアルト思ヒマスガ、是等ニ就テハ、敢テ懸念ハナ
イト云フ御考デアリマス

○神輿政府委員 此施行期日ニ就テハ、從來從量稅
ノモノガ從價稅トナルト云フ關係ニ於テ、稅關トシ
テハ多少其準備ガ要ル次第デアリマス、ソレデ之ガ
爲メニハ人モ幾分増サナケレバナリマス、又
差當リ此課稅ヲ致ス上ニ於テ、價格ノ調査モ多少準
備ヲ要スル次第デ、ソレハ是ヤデ或ハ此法律ガ通過
致シテ公布サレマシタ際ニハ、從來ノヤウニ公布ノ
日ヨリ之ヲ施行ストカ、或ハ四月ノ何日カラ、之ヲ施
行スルト云フヤウニナツテ居タ例モアリマスガ、是ハ
稍々關係ガ大イノデ、稅關トシテ準備モ必要デア
ルト云フヤウナ關係デ、幾分後レルダラウト思ヒマス、
併シ今御話申上ゲル通り、色々ノ關係ヲ持ツテ居リマ
スカラ、出來ルダケ早ク實施致シタイト考ヘテ居リ
マス、イツト云フコトハ申ス譯ニ參リマセウカ、餘リ
遠クナイ間ニ之ヲ實施シタイト考ヘテ居リマス
○鈴木久次郎君 此關稅定率法ノ第十條ニ依テ、船

舶ノ建造又ハ修繕ニ使用スル鐵鋼材部分品、機關又
ハ其部分品、是等ニ向ツテハ獎勵金ヲ與ヘルト云フ必
要ハ無イト云フ御見込デアリマス、尙ホ附加ヘテ
同ヒマスガ、命令ノ定ル所ニ依ルト云フ此命令ハ大體
ドウ云フコトデゴザイマセウカ、餘程面倒ナル命令
ガ規定サレルノデアリマス

○神輿政府委員 命令ヲ以テ定メマスルモノハ、第
一此種類デアリマス、鐵鋼材、鐵製品、部分品、機關又
ハ其部分品ト云フモノニ就キマシテハ、先ヅ第一ニ種
類ヲ限定シナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、次ニ
之ヲ免除スル手續ヲ定メタイト考ヘテ居リマス、是
ハ御尋ガアリマシタカラ、此際ニ尙ホ申述ベテ置キ
マスガ、丁度第九條ノ方ニ於キマシテ、亞鉛華デア
ルカ或ハ亞鉛ノ薄板トカ云フモノニ付テハ、原料品
ノ輸入ニ就テハ免除拂戻ヲスルト云フコトガアリマ
ス、一寸考ヘマスルト、是ハ似寄ツテ居リマスガ、船舶
ノ建造等ニ就テハ、實際工程上趣ガ異ツテ居リマス
デ、相當取締ガ必要デアリマス、實際實施ノ方法トシ
テハ、先ヅ輸入スルトキニ此物ハ斯ウ云フ船ニ使フ
ノデアルト云フ事ヲ屈ケ出サセテ、其船ハドウ云フ
物ヲドウ云フ計畫デ、何噸位ノ船デドウ云フ物ガ要
ルト云フコトヲ豫メ見テ置イテ、其範圍内ニ於テ免
稅シテ行ク、ソレデ船ガ出來上ツタトキニソレヲ檢
査シテ、前ノ届出ト大差ガ無イカドウカト云フ事ヲ
見テ、大シタ差ガ無ケレバ、其物ガ使ハレタト云フコ
トニナツテ完了スル、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデ
アリマス、尙ホ其工程中ニ於テモ、多少ソレニ取締ノ
事ヲスル必要ガアラウト考ヘマス、其等ノ事ヲ此命
令ニ於テ定メタイ、斯ウ云フ考デアリマス

○鈴木久次郎君 此製鐵獎勵法中ノ第七條ノ二ノ獎
勵金ヲ交付スルト云フ此獎勵金ハ、ドノ位ノ金額ヲ
交付スルト云フ御見込ガ立ツテ居リマセウカ、此金額
ニ就テノ豫算ガアリマス、ソレヲ伺ヒマス

○委員長代理(鈴木錠藏君) 今鑛山局長ガ居リマセ
ウデスカラ、其御質問ハ御留保ヲ願ヒマス

○星島二郎君 本改正案提出ノ主ナル目的ハ、民間
ノ製鐵業者ヲ保護スルニ在ルト思ヒマスガ、如何デ
アリマス、尙ホ現在ニ於ケル民間ノ製鐵業者ノ製

造能力及資本ハドノ位デアリマス、概略デ宜シ
ゴザイマス、數字デ御答ヲ願ヒマス

○鶴見政府委員 只今ノ御質問モ今鑛山局長ガ居
リマセウカ、參リマシテカラ前ノト一緒ニ御答ス
ルトニシタイト思ヒマス

○矢野丑乙君 昨年ノ九月頃ト聞イテ居リマスガ、
軍需評議員總會ニ於テ、鐵、亞鉛、グリセリン等ノ
關稅引上保護ト云フコトヲ決議シタト云フ事ヲ聞イ
テ居リマスガ、此亞鉛工業ナルモノヲ保護シナケ
レバナラヌト云フコトハ私モ諒トスル、然レバ此亞鉛
ト云フモノ、鑛石ガ幾ラアリ、又此鑛石ノ輸入原料
デ亞鉛ヲ製造スルト云フコトニナリマス、輸入時
期ノ如何ニ依テハ、戰時ノ如キ間ニ合ハヌコトニ
ナルト思ヒマス、若シ戰時中ニ此原料ガ取レナイト
シテ見レバ、之ヲ保護シテモ何ニモナラヌ、却テソレ
ケノ金デ平素亞鉛ヲ貯藏シテ置イタ方ガ宜クハナ
イカト思ヒマス、ドウモ鐵ト亞鉛ト同一視スルコトハ
出來ヌト思ヒマス、ソレデ日本ニハ此亞鉛鑛石ノ產
額ガ幾ラアリマス、又之ニ對シテ保護スル根本ノ
御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○神輿政府委員 鑛石ノ輸入ニ就キマシテハ只今表
ヲ差上ゲマス、ソレカラ内地ニ於ケル亞鉛ノ生産額
ハ是ハ戰時中ニハ非常ニ多ク、タノデアリマスガ、先
刻モ申シタ通り、是ハ殆ド一時ノ現象デアツテ、戰
ガ平和ノ局ヲ結ブニ從ツテ衰退シテ參リ、只今存在
シテ居ルノハ主トシテ自分デ山ヲ有ツテ居ツテ、其山
ノ鑛石ニ依テヤツテ居ル、斯ウ云フモノデアリマシ
テ、三井ノ鑛山部デアルトカ高田トカ、其他一二アリ
マセウガ、是トモ主トシテ自分ノ山ヲ以テヤツテ居
ルノデ、多少賣鑛モ致シテ、電氣精鍊ヲシテ居ルヤウ
デアリマスガ、聞ク所デハ三井アタリハ八千噸位、又
田ノ方モ電氣亞鉛デアリマスガ、是モ戰時中ナドハ
一時三千噸ヲ超エタト云フ事デアリマス、今日ニ於
テモ二千數百噸ト云フモノガ出テ居ルト思ヒマス、大
體ソノ事デアリマス、亞鉛鑛ハ一時ハ非常ニ多ク
タノデアリマスガ、其後段々少ナクナリマシテ、金額
ト數量トアリマスガ、大正七年ハ四百八十八萬圓九
十九萬擔、大正八年ニハ二百二十五萬圓四十六萬擔、

大正九年ニハ僅ニ十萬圓デ四萬一千擔、此頃ハ外國カラ持ッテ來テ精鍊スルモノハ極ク僅カデアリマス
○矢野丑乙君 稍々諒解致シマシタガ、サウスルト亞鉛製造所ヲ保護スル目的ハ、外國カラ買鑛シテ積極的ニ保護スル意味ト考ヘマスガ、現在ノ者ガ困ッテ居ルカラ、成立ッ位ヲ保護スルノ御趣意デアリマスカ、其程度ヲ伺ヒタイ

○神輦政府委員 大體御意見ノ通りデアリマス

○委員長代理(鈴木錠藏君) 鈴木君、星島君ハ鑛山局長ガ見ヘマシタカラ、先ヅ鈴木君ニ發言ヲ許シマス

○鈴木久次郎君 製鐵業獎勵法中ノ第七條ノ二ノ獎勵金ヲ交付スル、其額ノ見積總額ヲ承リタイ

○崎川政府委員 交付致シマス獎勵金ハ、其輸入稅ト受クベキ者ノ順序ト權衡ヲ見テ定メルノデ、只今デハ約一噸ニ付テ二十二圓位ト考ヘマス、併シ是ハ從價輸入稅ニ伴ッテ、時ニ變ヘナケレバナラヌト思ヒマス

○星島二郎君 速記ハ要リマセスガ、先刻御尋シタ

○崎川政府委員 製鐵所ノ數ハ百五十程モアリマセウ、其中デ製鐵業獎勵法ノ適用ヲ受ケルモノハ五十許リデゴザイマス、其名ハ大分ゴザイマスガ、大阪製鐵株式會社、株式會社大島製鐵所

○星島二郎君 書類デモ戴キマセウ、其民間ノ製鐵事業ヲ保護スルト云フ御説明ノヤウデアリマスガ、現在ノ時勢ニ於テ、民間デドノ位打撃ヲ受ケテ居ルカ、其打撃ヲ受ケタモノヲ特ニ救済シタイト云フ見込ガアッテ、此提案ガアッタノデアリマセウカ

○崎川政府委員 民間ノ製鐵業者ガ、物價ガ暴落以來ドノ位打撃ヲ受ケテ居ルカト云フ事ハ一寸判リマセヌ、多クハ届出ニ依リマスカラ實際判リマセヌケレドモ、休業其他デ事業ヲヤッテ居ナイ者ハ、届出ニ依ルト餘リ餘計アリマセヌ、實際窮地ノ者モ幾ラカアラウト思ヒマス、ソレカラ關稅ノ事ハ、是ハ關稅ヲ上グルヤウニシタノハ御話ノ通り製鐵業ノ保護ト云フノガ、勿論其意味デ出來タノデアリマスガ、其結果トシテ官設製鐵所モ恩典ニ浴スル譯ニナリマス

○鈴木久次郎君 先程此第十條ヲ御尋シタノデ「鑛製品、部分品、機關又ハ機關部分品」ト云フモノハ、内地ノ工業ヲ保護獎勵スルモノデハナイカト云フコトヲ承リタイ

○神輦政府委員 是ハ其物品ガ船舶ノ建造、若クハ修繕ニ使用セラルルモノトシテ、作ラルル場合ニハ、自然内地デ造リマシテモ其材料ハ免除セラレル、即チ此所ニ「鐵鋼材」トゴザイマシテ、鐵鋼材ヲ輸入致シマシテ、内地デ船舶ヲ造ルトキニソレガ使用サレ、バ、船舶建造ノ一部トシテ免除致シマス、又サウ云フ物ヲ造ルトキニ内地ノ鐵材料トシテ使ッタ場合ニハ、只今問題ニナリマシタ製鐵業獎勵法ノ改正ノ方ニ、其材料タル鐵デ日本ノ鐵ヲ買ッタ場合ニハ、相當ノ交付金ヲ與ヘルコトニナッテ居リマス

○矢野丑乙君 鑛山局長ニ伺ヒマス、此鐵又ハ亞鉛ハ現實日本ニドノ位ト云フ、的確ノ數字ヲ御示シテ願フ譯デアリマセスガ、斯ク此金屬ヲ保護スルナラバドノ位發達ガ出來ルカ、今後はタケ獎勵スルナラバ、ドノ位ニ發達スルコトガ出來ルト云フヤウナコトニ就テ、相當ノ御意見ガ無論アリマセウ、ソレヲ參考ノ爲メ伺ヒタイト思ヒマス

○崎川政府委員 秩序の調査ハ致シタモノハアリマセヌケレドモ、大體見當著イテ居リマス、又秩序のニ調ベルト云フコトデアリマスレバ、非常ニ炭礦ナドハ手ガ掛ッテ到底出來マセヌ、大體ノ事ヲ申上ゲマスト、内地ニ六十パーセント以上ノ鐵鑛ガ、約七千萬噸アラウ、朝鮮ノ方ニ五千萬噸位ハアル、ソレカラ三十五「パーセント」内外ノモノデアレバ、其量ハマダ大分多クアリマス、ソレハ一寸分リマセヌ、今六十「パーセント」トシテ極ク良イ方ガ其位アラウト思フ、ソレカラ亞鉛ニ就テモ、是モ的確ニハ申サレマセヌケレドモ、年々約六萬噸位ノ產額ハ大分長ク續キ得ルコトト考ヘテ居リマス、是ハ亞鉛モ鐵鑛モ同ジ事デス、ソレハ可ナリ長ク續ク見込デゴザイマス

○矢野丑乙君 内地ノ鑛石デ製造スルト致シマシテ、現今ノ七十錢ノ關稅ヲ三圓ニ上グルト云フコトニナリマスカラ、相當ニ引合フコトニナリマスカ

○崎川政府委員 此近頃ノ値段ト申シマスノハ始終

變リマシテ、恐シクヒドイ値ガ出ルカト思フト、又ヒドク値ガ下リマス、大體ノ見積ヲシテ將來ノ落付ヲ考ヘ、外國ノ輸入品ノ是マデノ値段ヲズット考ヘテ將來ヲ推シテ見マスレバ、略々ソレデ立行クカト云フ積デ出來テ居リマス

○委員長代理(鈴木錠藏君) ソレデハ、本日ハ是ニテ散會致シマス
午後四時四十二分散會